第２章 誘導区域等の設定手順

1. 居住誘導区域の設定

（１）区域設定の考え方

都市基盤の整備状況、公共交通や生活サービス施設の利便性、災害リスクの有無等を勘案して区域を設定します。

① 都市基盤が整備済みである地区、公共交通の利便性が高い地区、日常生活サービスが多く集まるなど、生活利便性が確保される区域

② 災害に対するリスクが低い、あるいは今後低減が見込まれる区域

③ その他、良好な住環境の形成に適さない地区の除外

＜区域設定の手順＞

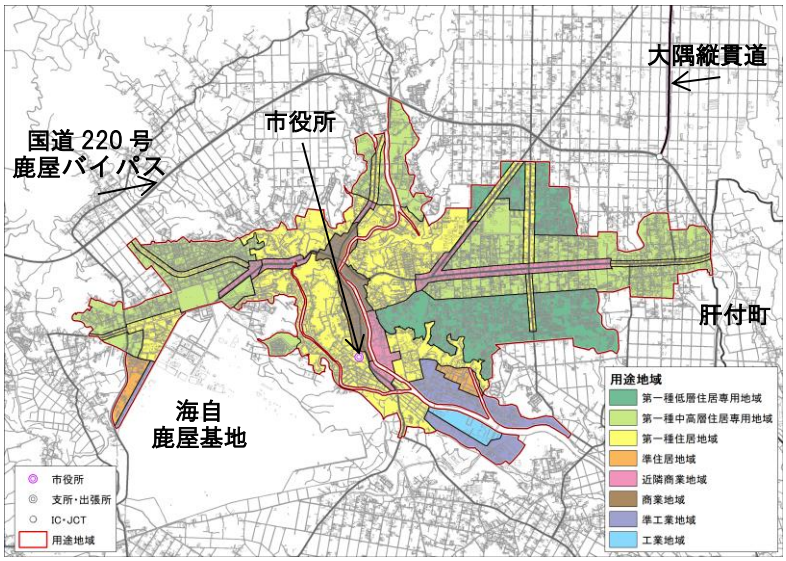
ステップ1	都市計画マスタープランの中心拠点 ・ 鹿屋都市計画区域の用途地域
ステップ2	生活利便性が確保される区域（上記①関連） ・ 都市基盤整備済又は計画されている ・ 公共交通の利便性が高い ・ 日常生活サービス施設が多く集まる徒歩圏域
ステップ3	誘導に適さない区域（上記②③関連） ・ 災害危険性が高い ・ 良好な住環境の形成に適さない
ステップ4	居住誘導区域境界の設定 ・ 地形地物等で明確化

（２）居住誘導区域の設定

居住誘導区域の基本的な考え方、区域設定の手順を基に、具体の区域を設定します。

ステップ１　都市計画マスタープランの中心拠点

・　都市計画マスタープランに位置付けられた中心拠点を居住誘導区域の基本的な区域として抽出



図：中心拠点の概ねの範囲（用途地域）

ステップ２　生活利便性が確保される区域を抽出

以下の、ア～ウのいずれかを満たす区域を抽出します。

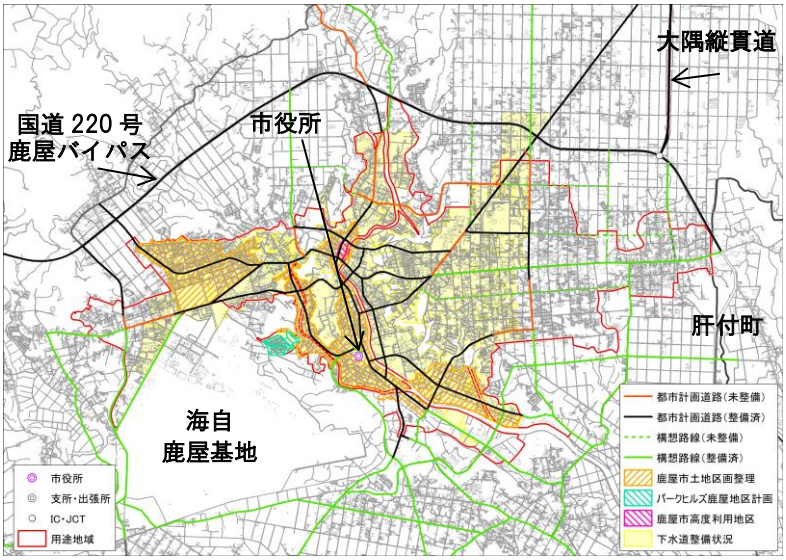
ア）**既に都市基盤が整備されている又は計画されている区域**

・　都市基盤が整備されている又は今後の整備が計画されている区域として以下の区域を抽出

① 土地区画整理事業区域

② 下水道整備区域

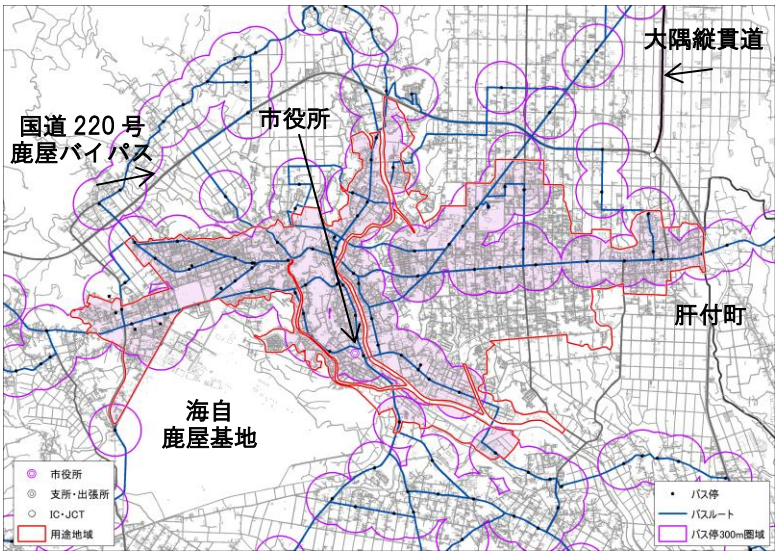
③ 都市計画道路、構想路線の沿道区間



図：既に都市基盤が整備されている又は計画されている区域

イ）公共交通の利便性の高い区域

・　公共交通が利用できる区域として、すべてのバス停から 300m 圏を抽出



図：公共交通の利便性の高い区域

ウ）日常生活サービス施設が多く集まる徒歩圏域

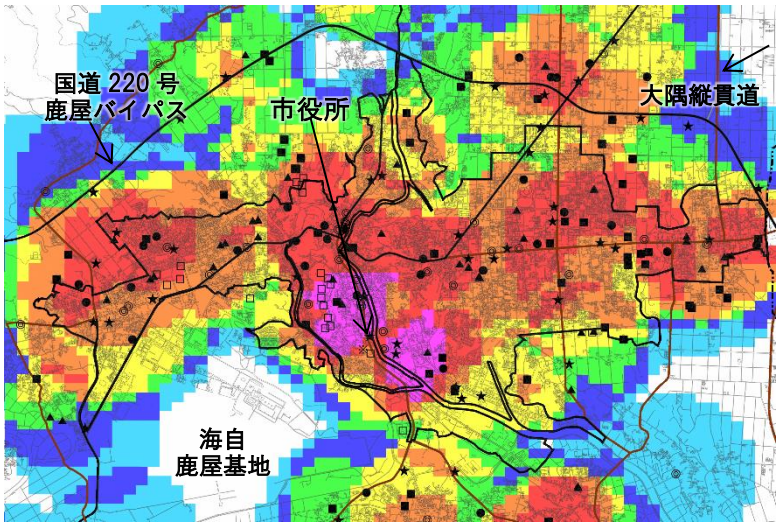
・　日常生活サービス施設が多く集まり、かつ徒歩圏である区域

生活サービス
施設の充足状況

	1 種類
	2 種類
	3 種類
	4 種類
	5 種類
	6 種類
	7 種類

施設

凡例	
●	医療施設
■	高齢者福祉施設
▲	子育て支援施設
★	商業施設
◎	金融機関
□	教育・文化施設
※	市役所・支所



図：日常生活サービス施設が多く集まる徒歩圏域

ステップ３　誘導に適さない区域

・　災害危険性の高い区域や、良好な住環境確保の観点から、良好な住環境の形成に適さない以下の区域を除外

ア）土砂災害等により甚大な被害を受ける危険性がある区域

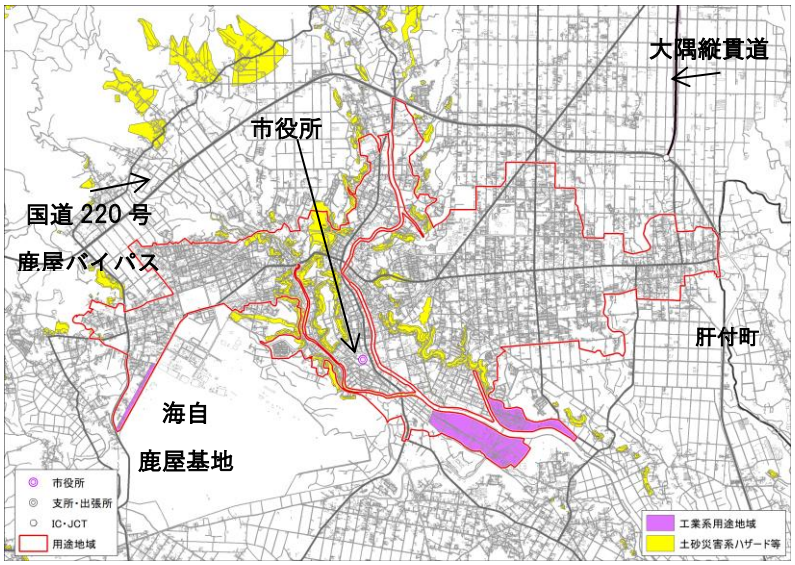
①　砂防指定地
②　急傾斜地崩壊危険区域
③　土砂災害警戒区域（急傾斜地崩壊、土石流）
④　土砂災害特別警戒区域（急傾斜地崩壊、土石流）

※浸水被害については、以下の理由から除外を見送った。

・計画規模：ハード・ソフトを組み合わせて対策を講じることで、被害低減が見込めるため

・想定最大規模：発生頻度はきわめて低いが、発生時は大きな被害が発生することから、避難を軸としたソフト面での対策を講じるため

イ）準工業地域・工業地域区域など（ただし、準工業地域のうち、生活環境の利便性向上のため整備開発された区域（白崎新川土地区画整理事業区域及び隣接する大隅鹿屋病院一帯）を除く。）



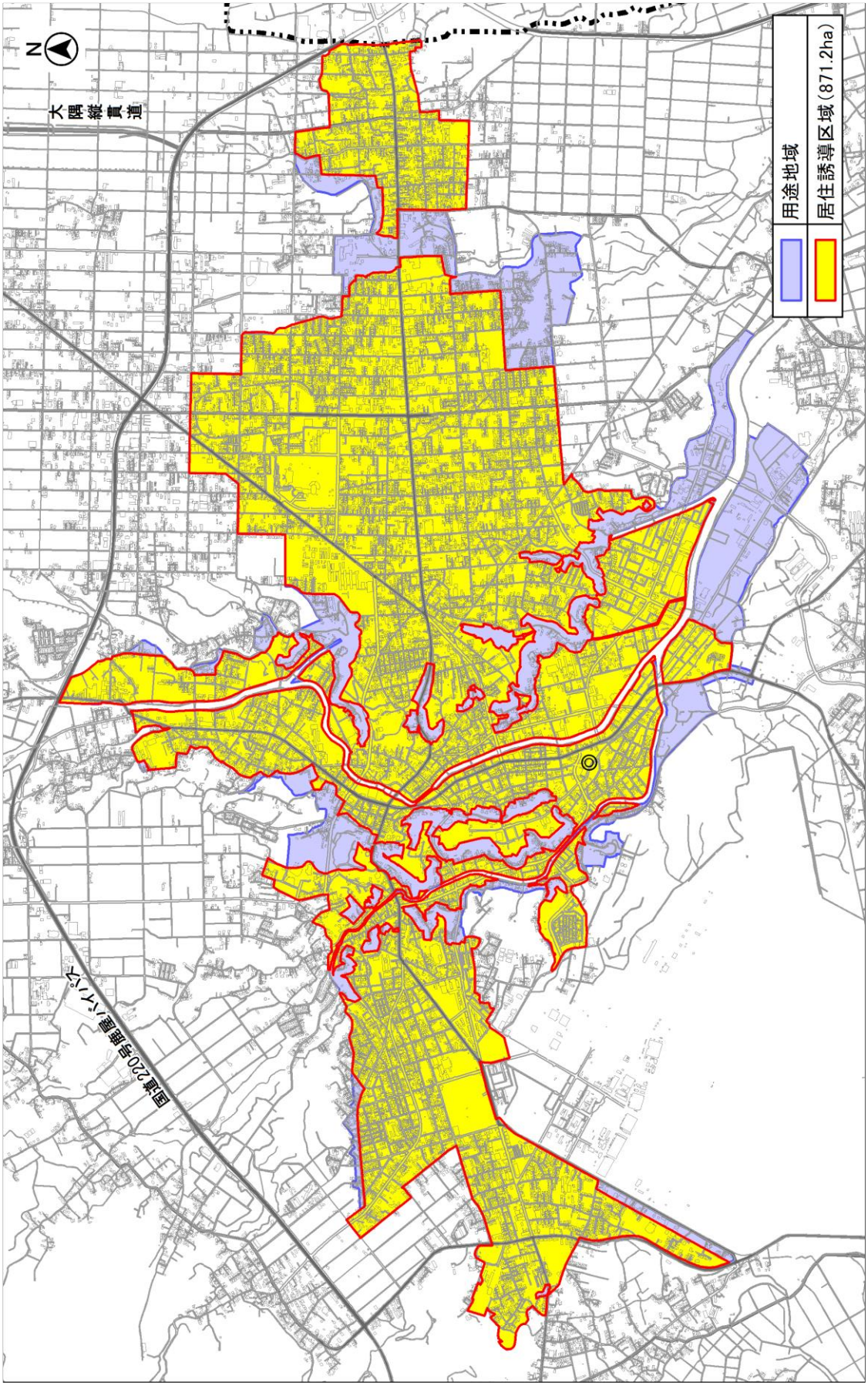
図：居住に適さない区域

ステップ４　居住誘導区域境界の設定

・　道路等の地形地物や、土地利用実態を鑑みて境界線を設定

（３）居住誘導区域

（２）の検討に基づき設定した居住誘導区域を示します。



2. 都市機能誘導区域の設定

（1）区域設定の考え方

居住誘導区域内において、市全域から多くの利用者が利用できるよう、医療・福祉・商業等の都市機能の立地状況や、公共交通の充実度合い等を勘案して区域を設定します。

① 生活サービス施設の立地が可能な用途地域

② 拠点の中心となるバス停や公共施設から徒歩、自転車で容易に回遊することが可能な区域

③ 公共交通施設、都市機能施設、公共施設の配置、土地利用の実態等に照らし、地域としての一体性を有している区域

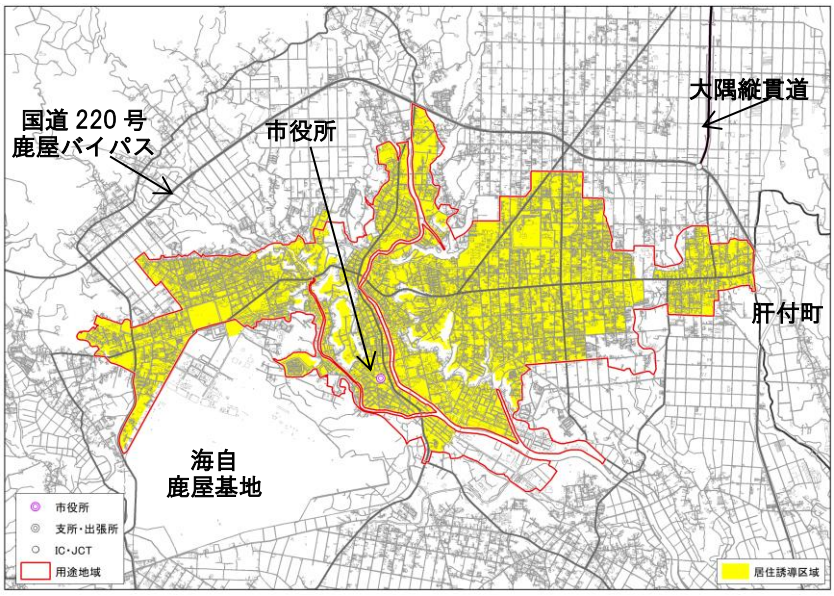
＜区域設定の手順＞

ステップ1	居住誘導区域（上記②③関連）
ステップ2	生活サービス施設の立地が可能な用途地域（上記①関連） ・ 商業地域、近隣商業地域、準住居地域、第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域
ステップ3	公共交通の利便性の高い区域（上記②関連） 片道 30 本/日以上のバス停の徒歩圏
ステップ4	生活サービス施設が立地する場所（上記③関連） ・ 市全域や大隅地域の住民を対象とした施設 ・ 都市的なサービスを有する施設など
ステップ5	都市機能誘導区域境界の設定 ・ 地形地物等で明確化

（２）都市機能誘導区域の設定

都市機能誘導区域の基本的な考え方、区域設定の手順を基に、具体の区域を設定します。

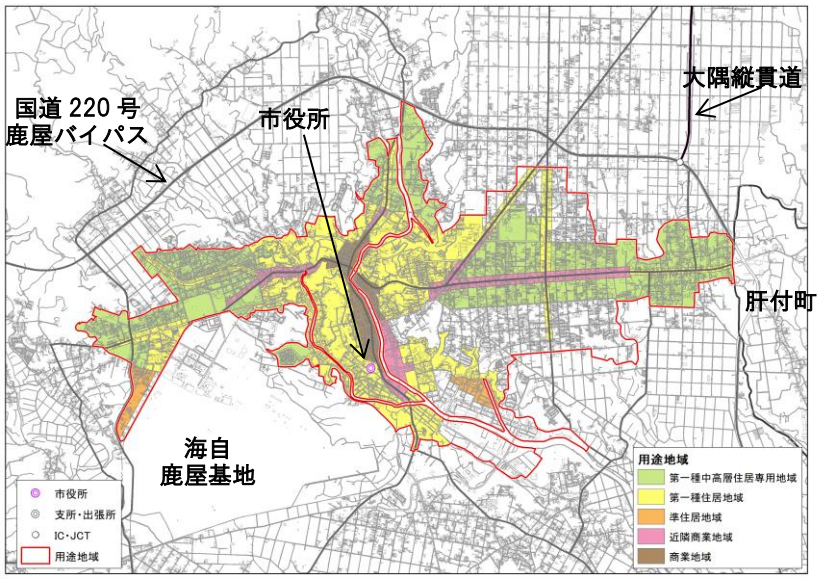
ステップ１　居住誘導区域



図：居住誘導区域

ステップ２　生活サービス施設の立地が可能な用途地域

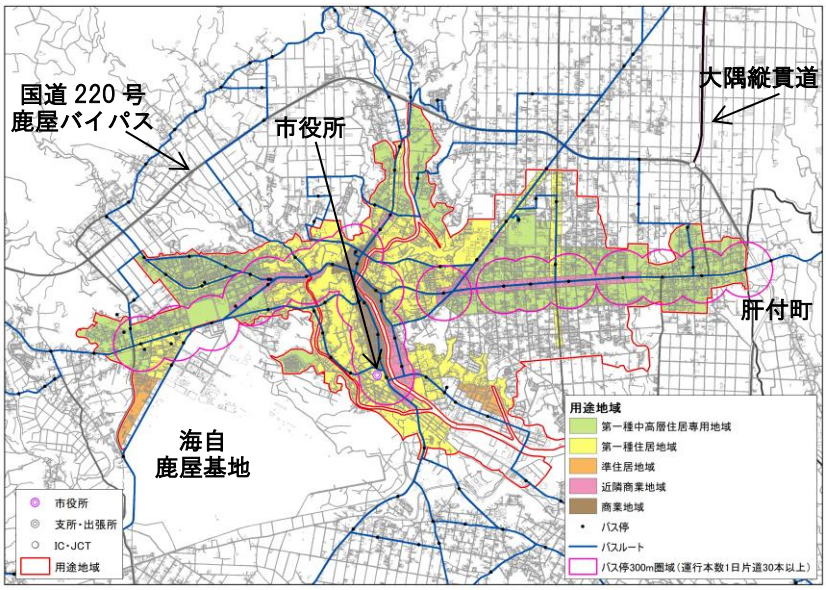
・　本市の用途地域の中で、都市機能の立地に適した用途地域として、商業地域、近隣商業地域、準住居地域、第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域を抽出



図：生活サービス施設の立地が可能な用途地域

ステップ３　公共交通の利便性の高い区域

・　公共交通の利便性の高い区域として、1 日の運行本数が片道 30 便以上のバス停から 300m 圏を抽出

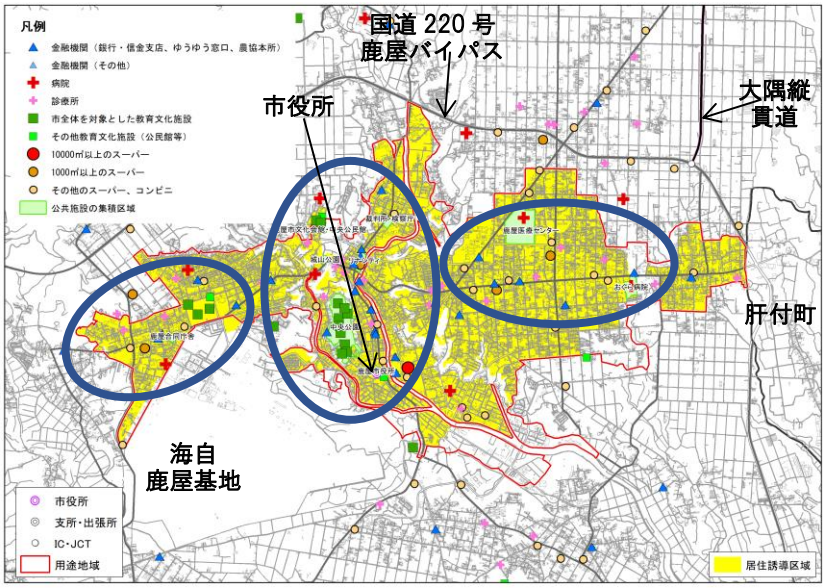


図：公共交通の利便性の高い区域

ステップ４　生活サービス施設が立地する場所

・　生活サービス施設が立地し、地域としての一体性を有している区域として、以下の施設が立地する区域を抽出

① 市全域や大隅地域の住民が広く利用する高次・賑わいをもたらす施設
② 本市の都市活動や市民生活を支える都市的なサービスを有する施設
③ 日常生活を支えるサービスを有する施設



図：生活サービス施設が立地する場所

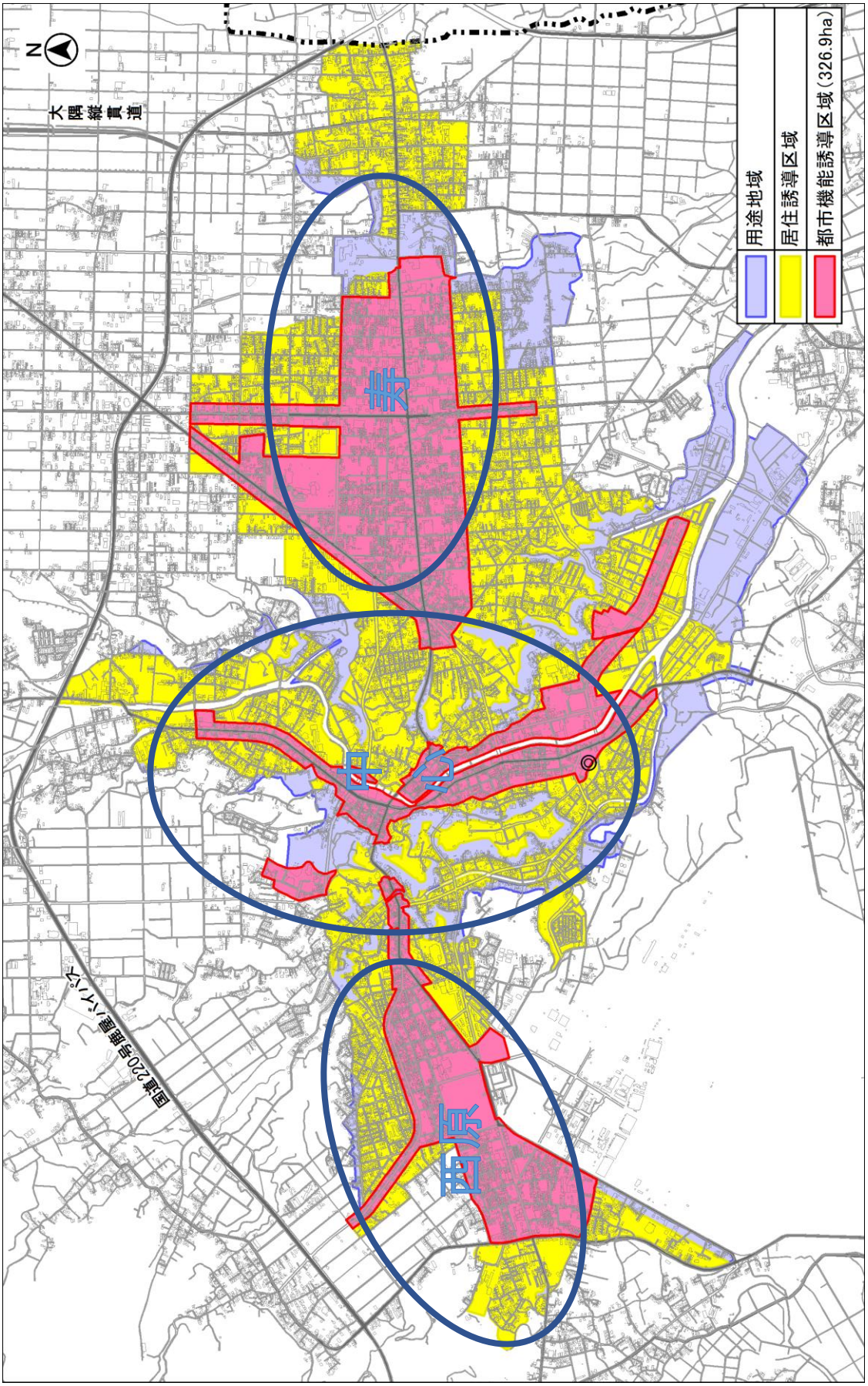
（対象となる施設）
リナシティかのや、鹿屋市立図書館、鹿屋市中央公民館、鹿屋市文化会館などの教育・文化施設、市役所本庁舎や国県合同庁舎などの行政施設、鹿屋医療センター、おぐら病院、大隅鹿屋病院などの中規模以上の病院、プラッセだいわ鹿屋店、サンキュー寿店などの商業施設

ステップ５　都市機能誘導区域境界の設定

・　道路等の地形地物や、土地利用実態を鑑みて境界線を設定

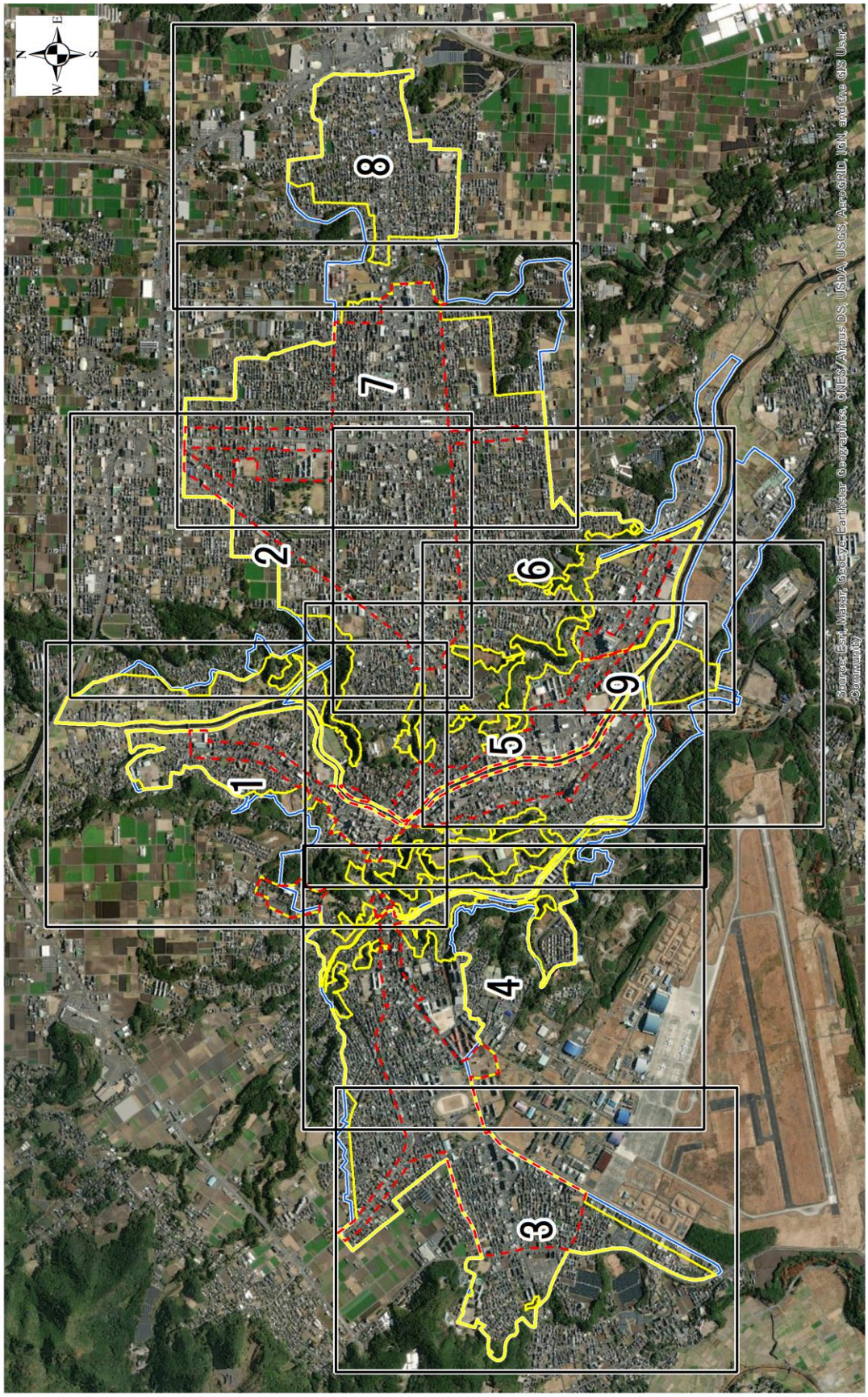
（３）都市機能誘導区域

（２）の検討に基づき設定した都市機能誘導区域を示します。



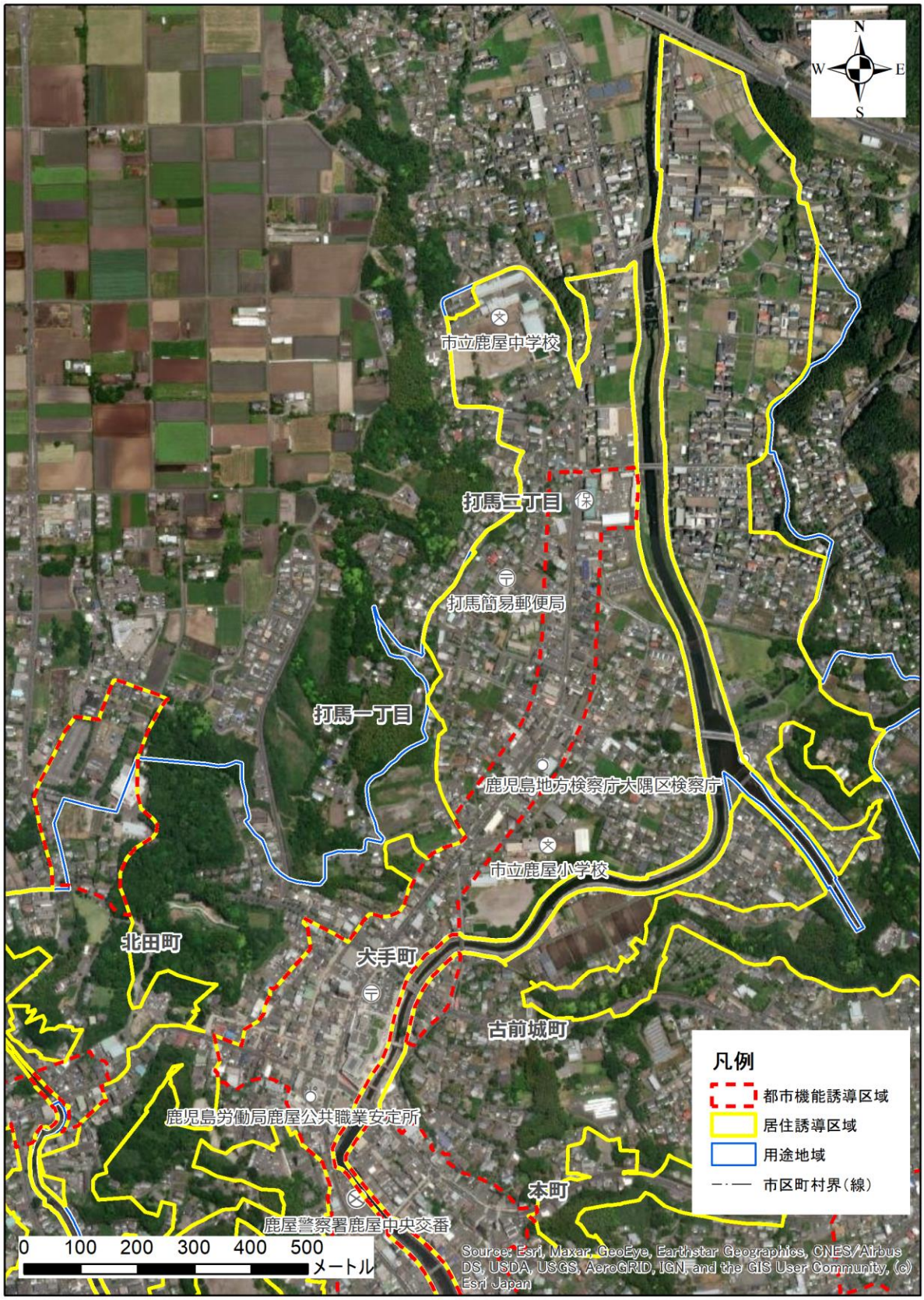
3. 居住誘導区域、都市機能誘導区域拡大図

（1）図郭

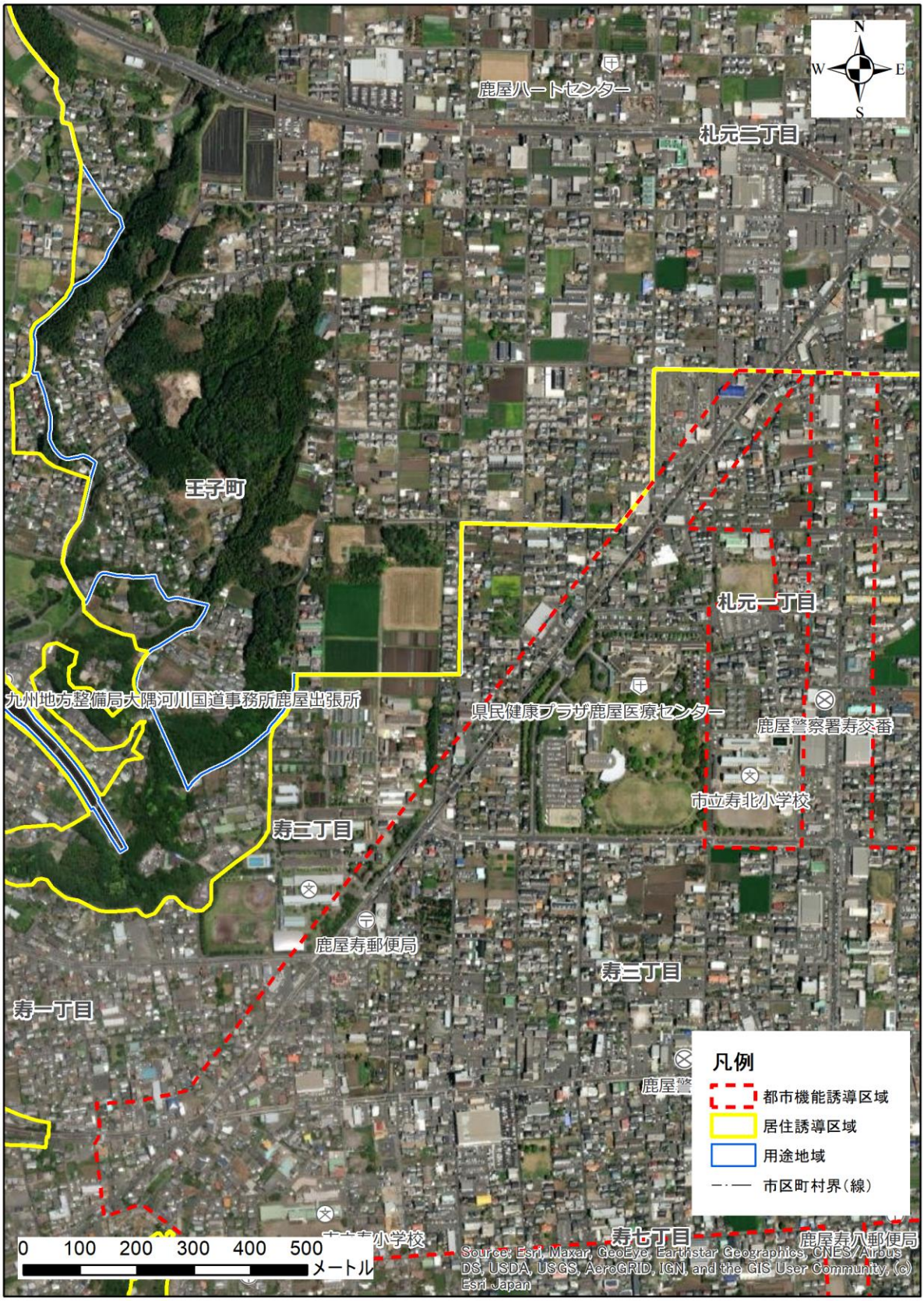


（２）拡大図

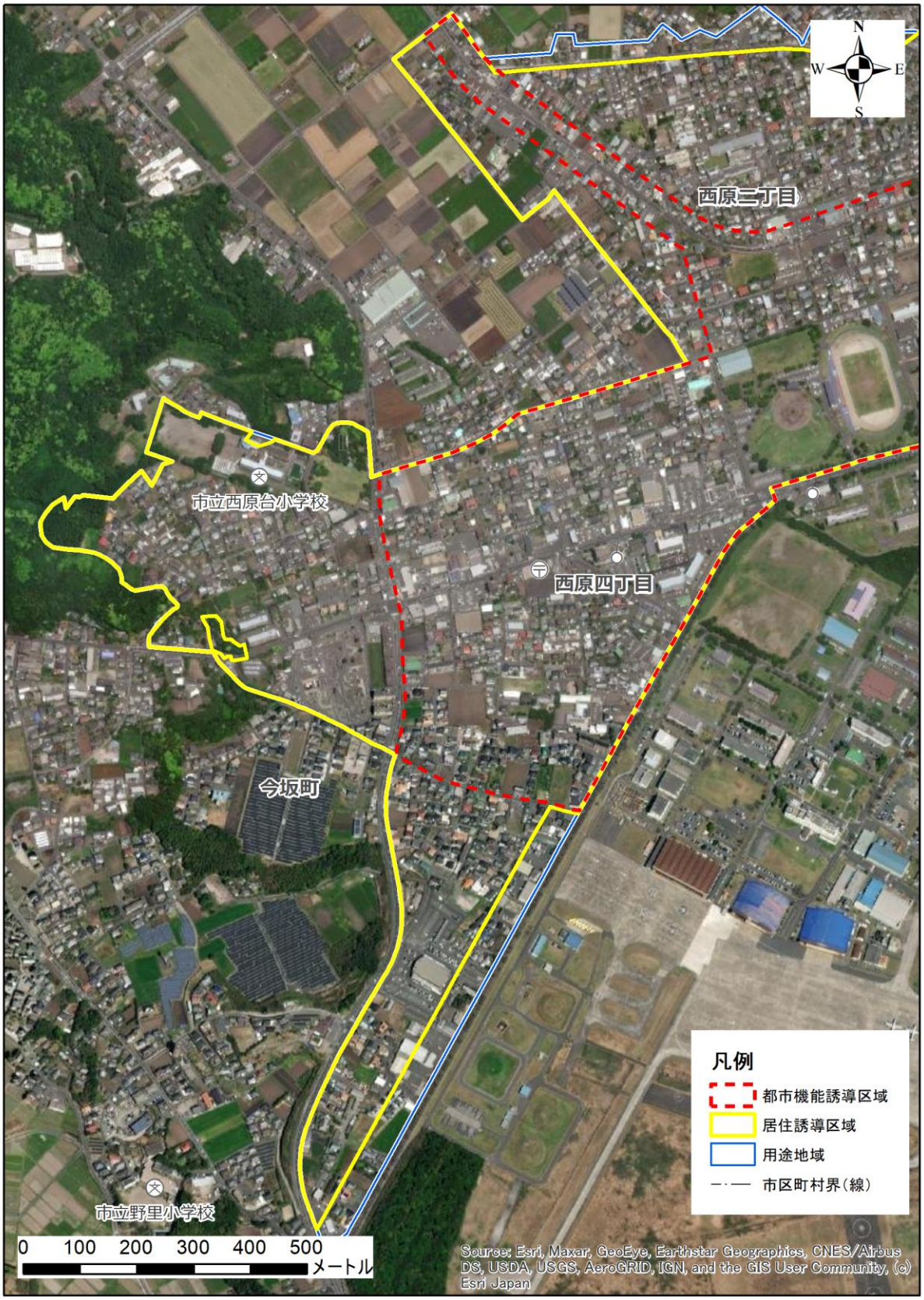
① 拡大図１


N
W
E
S
市立鹿屋中学校
打馬三丁目
打馬簡易郵便局
打馬一丁目
鹿児島地方検察庁大隅区検察庁
市立鹿屋小学校
北田町
大手町
古前城町
鹿児島労働局鹿屋公共職業安定所
本町
鹿屋警察署鹿屋中央交番
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
用途地域
市区町村界（線）
0 100 200 300 400 500
メートル
Source: Esri, Maxar, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community, (c) Esri Japan

②　拡大図２


N
W
E
S
鹿屋ハートセンター
札元二丁目
王子町
札元一丁目
九州地方整備局大隅河川国道事務所鹿屋出張所
県民健康プラザ鹿屋医療センター
鹿屋警察署寿交番
市立寿北小学校
寿二丁目
鹿屋寿郵便局
寿二丁目
寿一丁目
鹿屋警
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
用途地域
市区町村界（線）
0　100　200　300　400　500
メートル
寿七丁目
鹿屋寿八郵便局
Source: Esri, Maxar, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community, (c) Esri Japan

③ 拡大図３


N
W
E
S
西原二丁目
市立西原台小学校
西原四丁目
今坂町
市立野里小学校
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
用途地域
市区町村界（線）
0 100 200 300 400 500
メートル
Source: Esri, Maxar, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community, (c) Esri Japan

④　拡大図４

N
W
E
S
北田町
西原一丁目
鹿屋松原簡易郵便局
市立第一鹿屋中学校
市立鹿屋女子高等学校
九州地方整備局大隅河川国道事務所鹿屋国道維持出張所
新生町
西原二丁目
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
用途地域
市区町村界（線）
0　100　200　300　400　500
メートル
Source: Esri, Maxar, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community, (c) Esri Japan

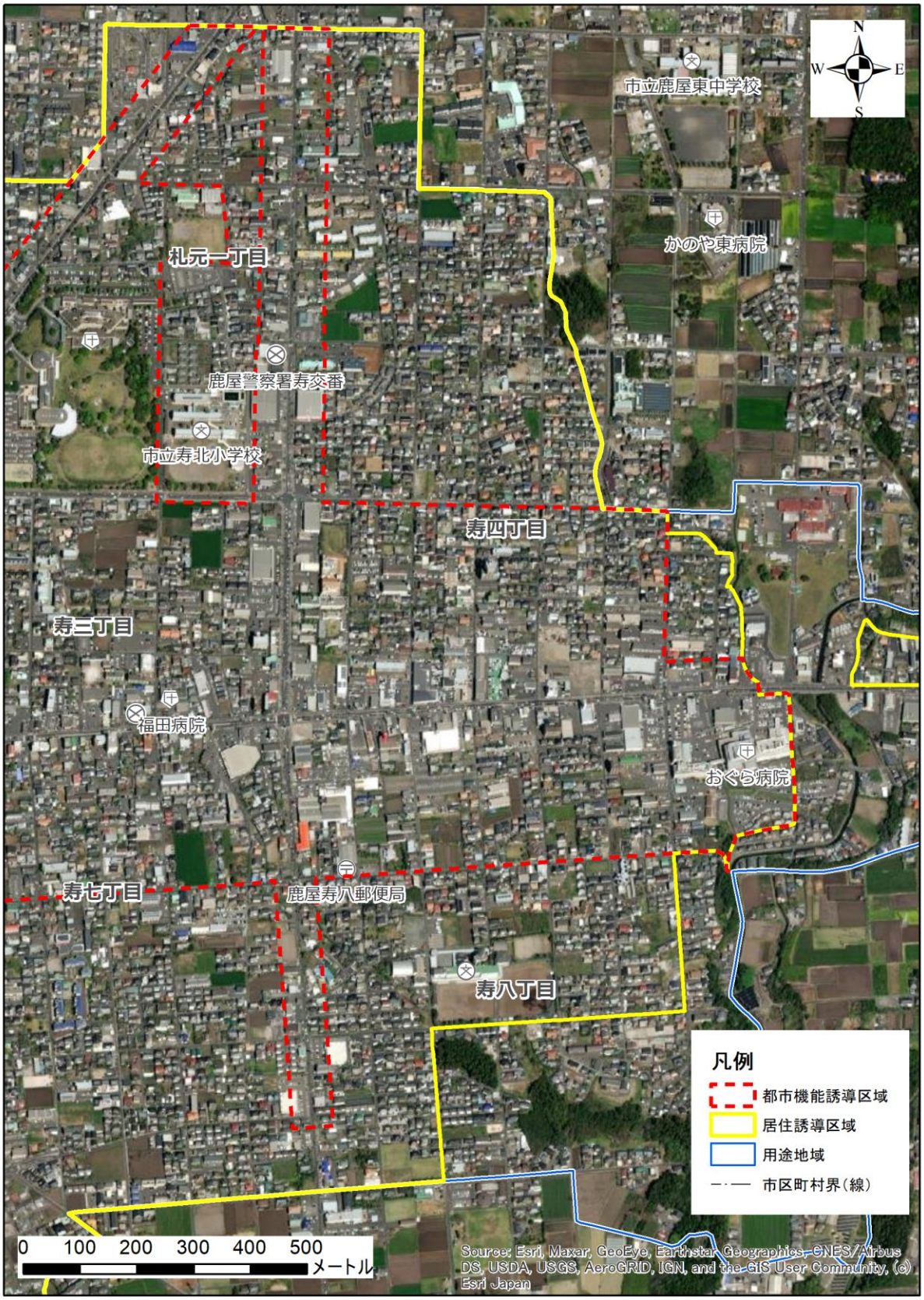
⑤ 拡大図５

市立鹿屋小学校
北田町
大手町
古前城町
寿一丁目
鹿児島労働局鹿屋公共職業安定所
本町
鹿屋警察署鹿屋中央交番
曽田町
寿五丁目
向江町
寿六丁目
共栄町
鹿屋市役所
白崎町
大隅鹿屋病院
新栄町
N
W
E
S
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
用途地域
市区町村界（線）
0 100 200 300 400 500
メートル
Source: Esri, Maxar, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community, (c) Esri Japan

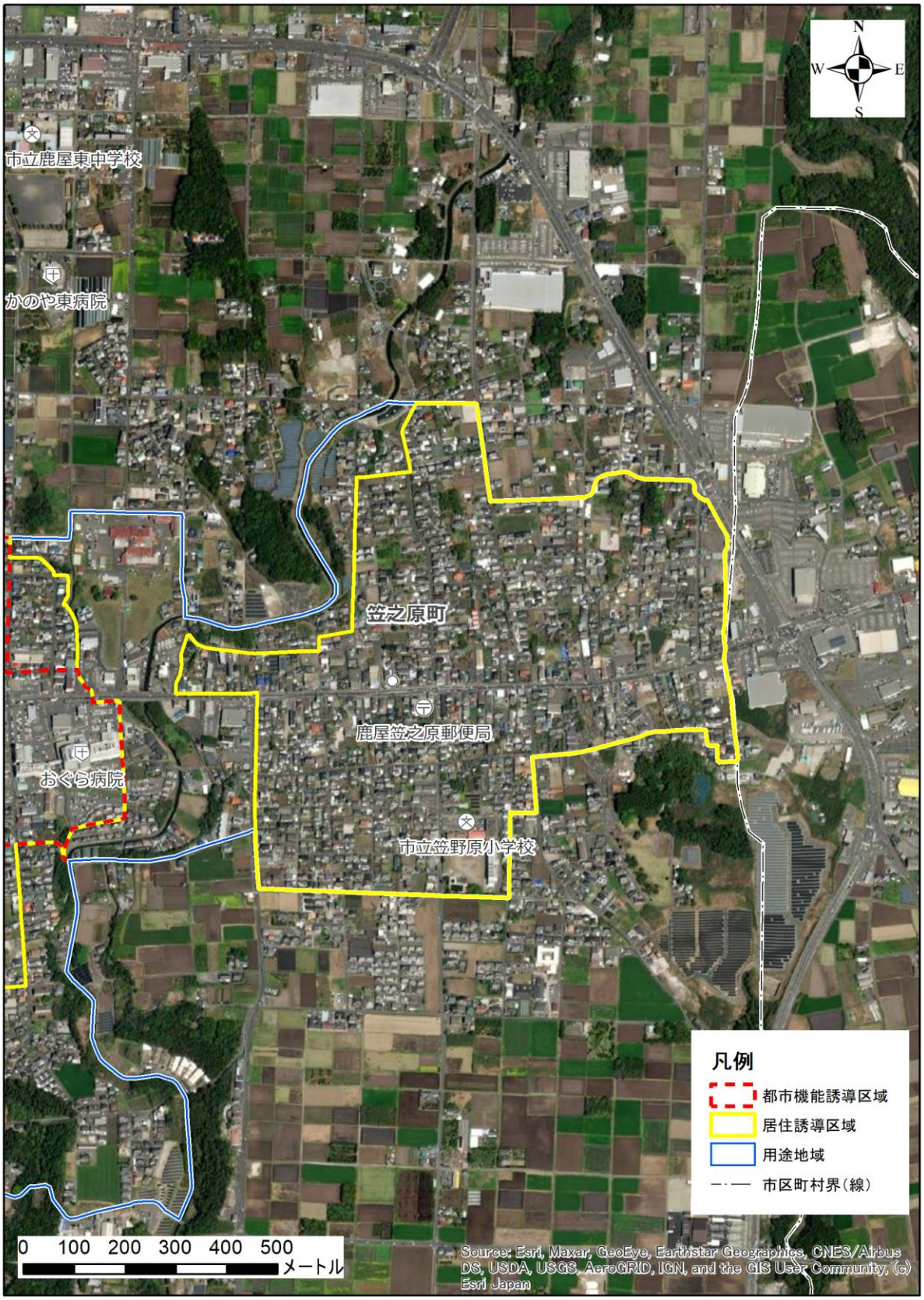
⑥　拡大図６

鹿屋寿郵便局
寿一丁目
寿三丁目
福田病院
市立寿小学校
寿七丁目
寿五丁目
寿六丁目
白崎町
大隅鹿屋病院
新川町
大隅肝属地区消防組合中央消防署
九州農政局肝属中部農業水利事業所
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
用途地域
市区町村界（線）
0 100 200 300 400 500
メートル
Source: Esri, Maxar, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community, (c) Esri Japan

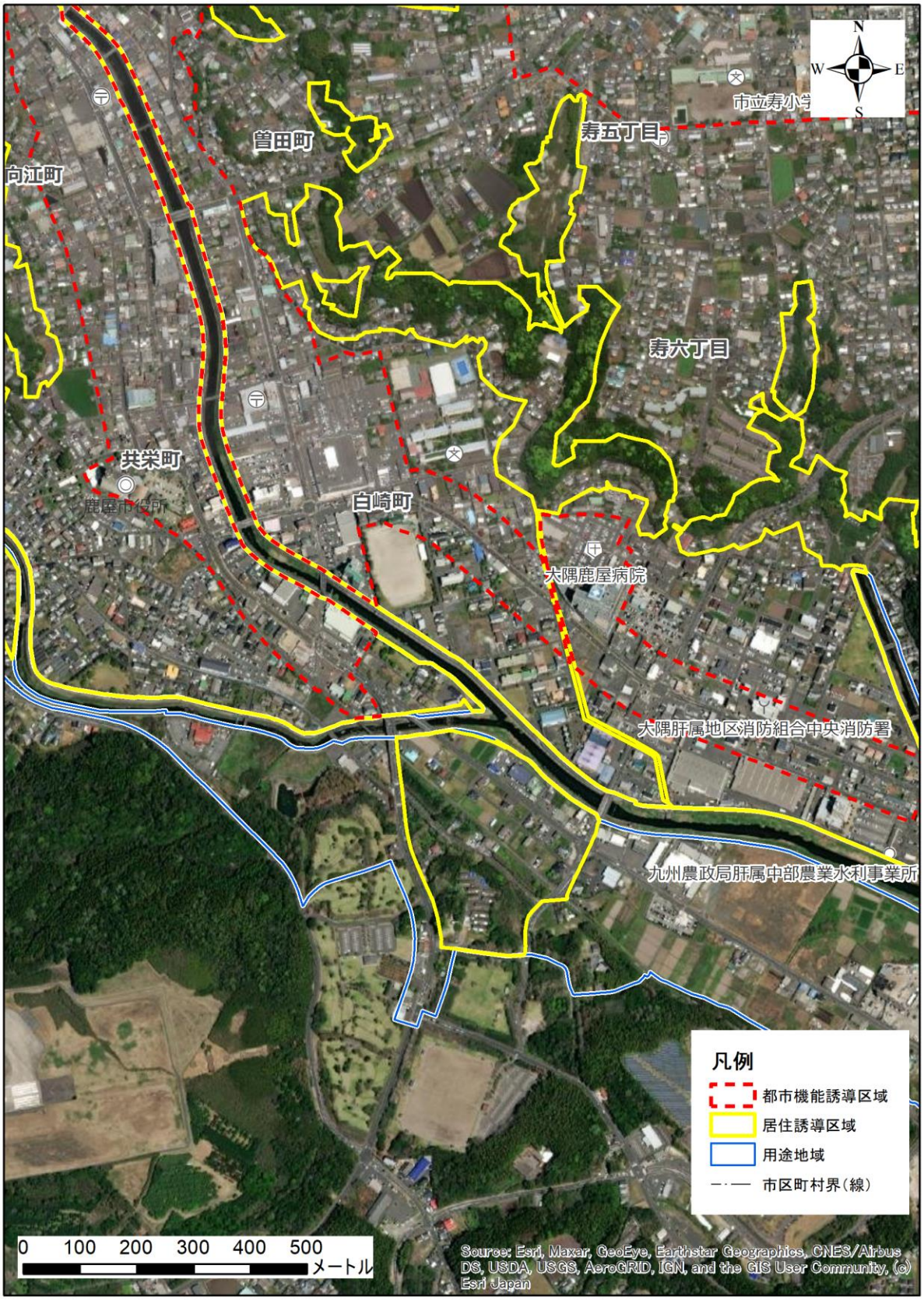
⑦ 拡大図７


N
W
E
S
市立鹿屋東中学校
かのや東病院
札元一丁目
鹿屋警察署寿交番
市立寿北小学校
寿四丁目
寿三丁目
福田病院
おぐら病院
寿七丁目
鹿屋寿八郵便局
寿八丁目
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
用途地域
市区町村界（線）
0 100 200 300 400 500
メートル
Source: Esri, Maxar, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community, (c) Esri Japan

⑧　拡大図８


N
W
E
S
市立鹿屋東中学校
かのや東病院
笠之原町
鹿屋笠之原郵便局
おぐら病院
市立笠野原小学校
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
用途地域
市区町村界（線）
0　100　200　300　400　500
メートル
Source: Esri, Maxar, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community, (c) Esri Japan

⑨ 拡大図９


N
W
E
S
市立寿小学
寿五丁目
曽田町
向江町
寿六丁目
共栄町
鹿屋市役所
白崎町
大隅鹿屋病院
大隅肝属地区消防組合中央消防署
九州農政局肝属中部農業水利事業所
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
用途地域
市区町村界（線）
0 100 200 300 400 500
メートル
Source: Esri, Maxar, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community, (c) Esri Japan

4. 地域生活拠点維持区域の設定

（1）区域設定の考え方

地域拠点と生活拠点内において、家屋等の連たん状況や身近な生活利便施設の充実度合い等を勘案して区域を設定します

①都市計画マスタープランの地域拠点・生活拠点
②地域拠点・生活拠点を中心に住宅等が多く集まる地域
③災害に対するリスクが低い区域等

＜区域設定の手順＞

ステップ1	都市計画マスタープランの地域拠点・生活拠点（①関連） ・　地域拠点は、総合支所又は出張所を有する地域 ・　生活拠点は、郊外の小学校を中心とする地域
ステップ2	家屋等が連たんしている区域（②関連） ・　拠点施設を中心に 50 戸以上の住宅が連たん
ステップ3	誘導に適さない区域の除外（③関連） ・　災害危険性が高い ・　良好な住環境の形成に適さない
ステップ4	地域生活拠点維持区域の境界の設定 ・　地形地物等で明確化

（２）地域生活拠点維持区域の設定

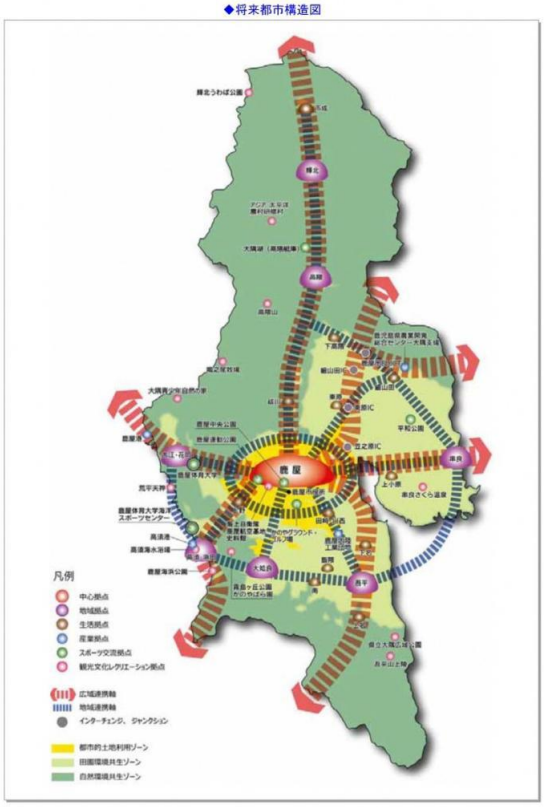
地域生活拠点維持区域の基本的な考え方、区域設定の手順を基に、具体の区域を設定します。

ステップ１　都市計画マスタープランの地域拠点・生活拠点

・　都市計画マスタープランに位置付けている地域拠点・生活拠点として以下の区域を抽出

① 輝北、串良、吾平の各総合支所、高隈、大姶良、高須、花岡の各出張所から１km圏

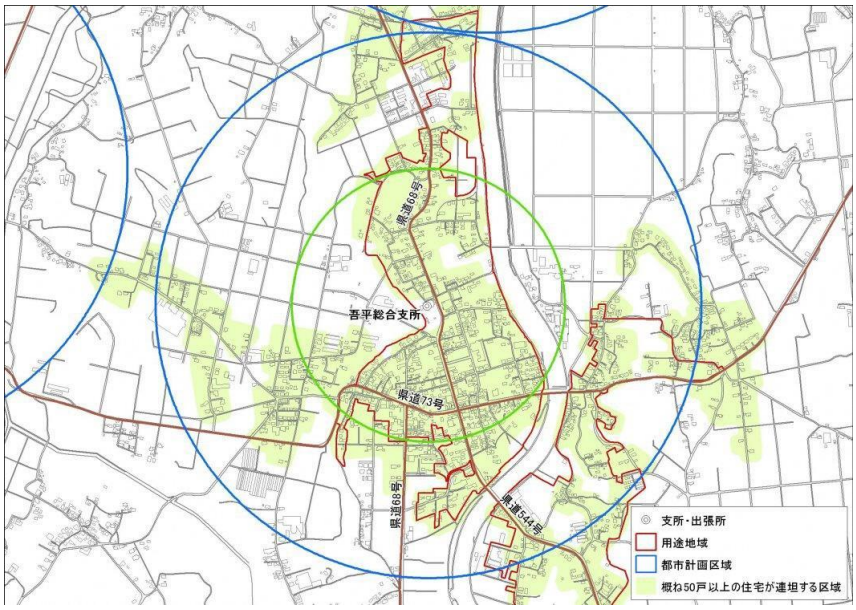
② 市成出張所や田崎・野里・祓川・東原・細山田・大黒・上小原・下名・西俣・南・鶴峰の各小学校等から１km圏



図：将来都市構造図

ステップ２　拠点施設を中心に住宅が多く集まる区域を抽出

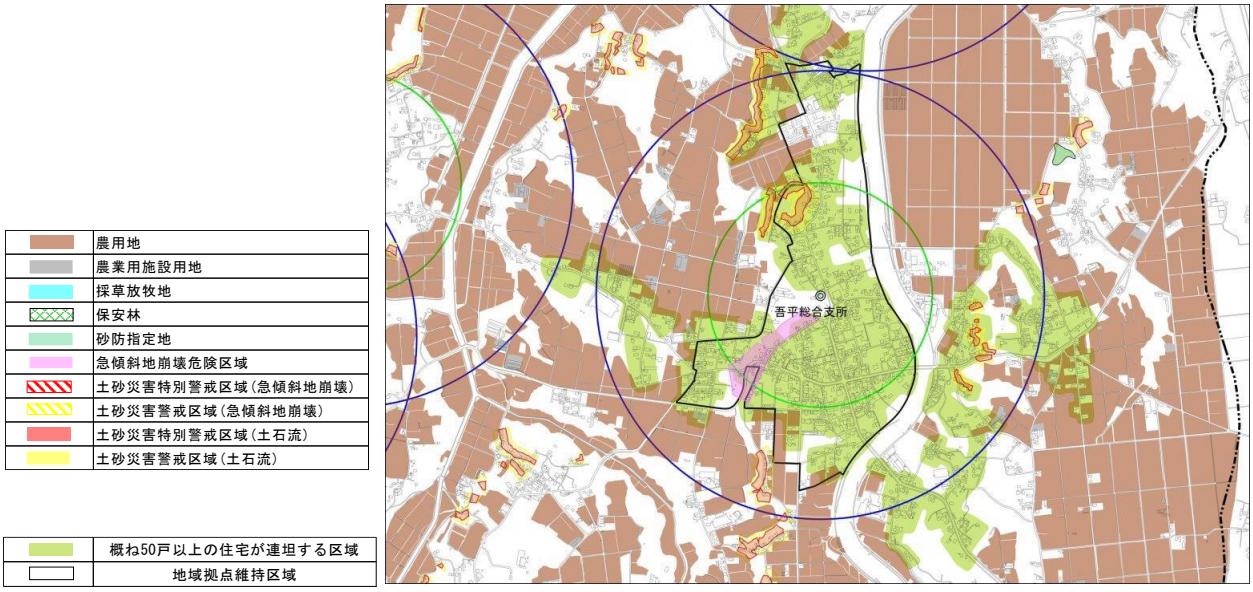
・　拠点施設を中心に 50 戸以上の住宅が連たんする区域



図：住宅が多く集まる区域（吾平総合支所周辺の例）

ステップ３　誘導に適さない区域の除外

・　農用地や土砂災害警戒区域など、誘導に適さない区域を除外



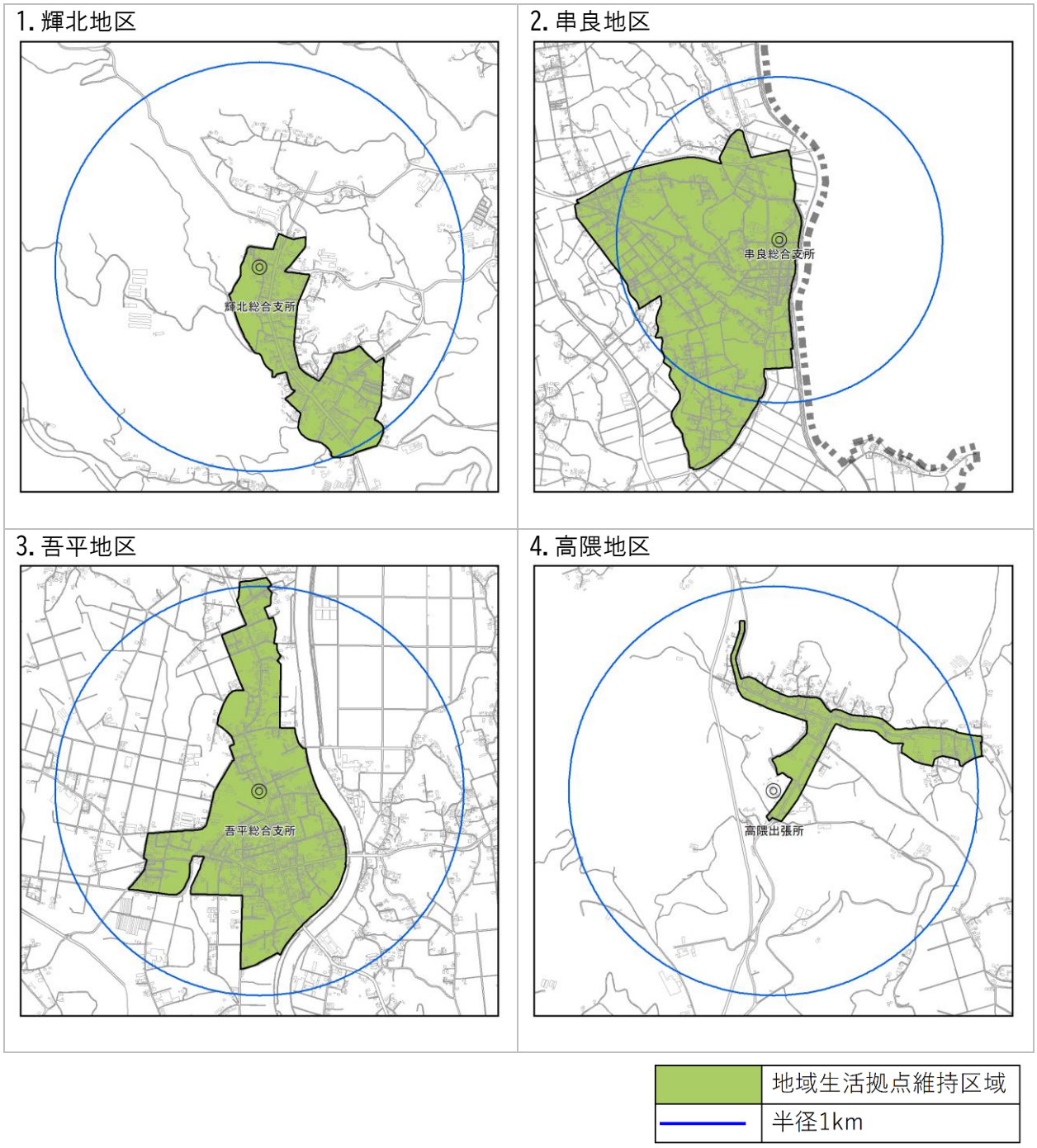
図：誘導に適さない区域（吾平総合支所周辺の例）

ステップ４　地域生活拠点維持区域の境界の設定

・　道路等の地形地物や、土地利用実態を鑑みて境界線を設定

（３）地域生活拠点維持区域

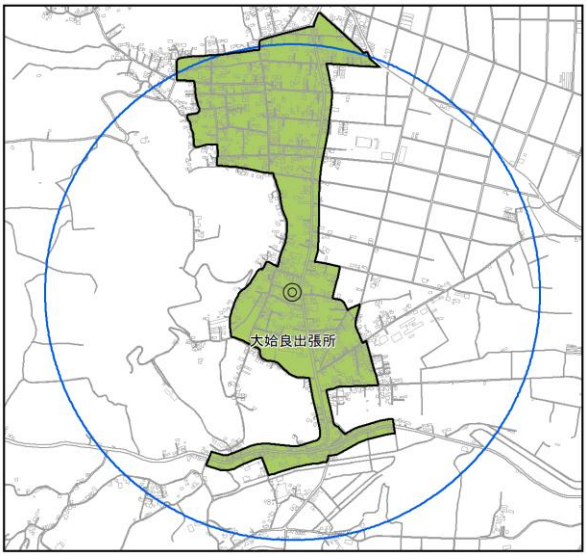
(2)の検討に基づき設定した地域生活拠点維持区域を示します。



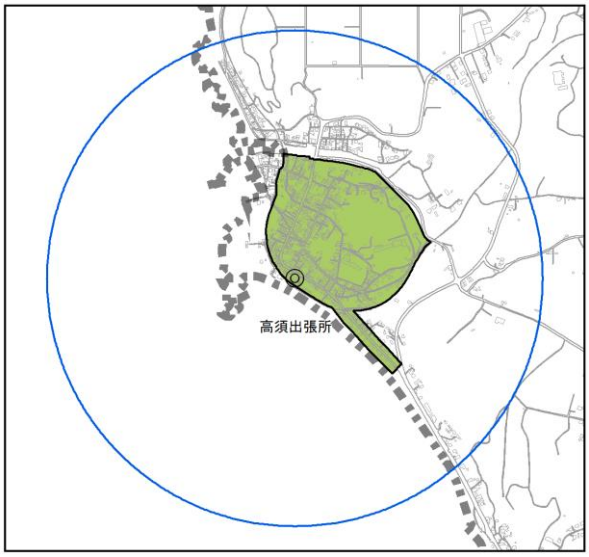
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

図：地域生活拠点維持区域

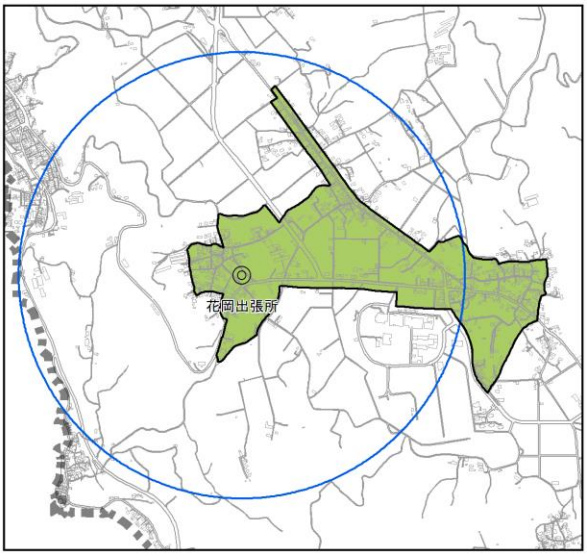
5. 大姶良地区



6. 高須地区



7. 花岡地区

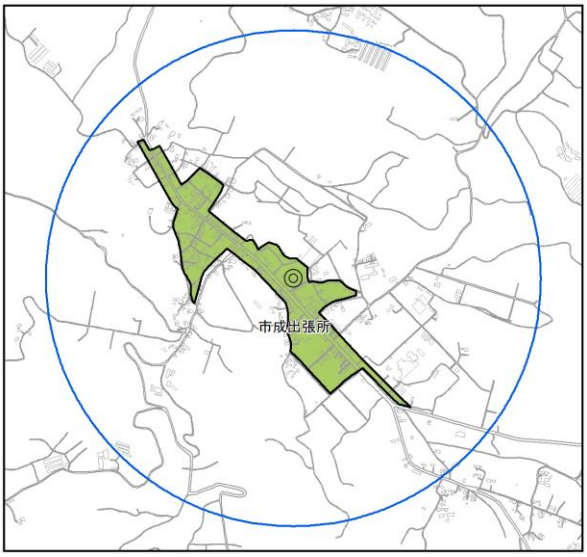


	地域生活拠点維持区域
	半径1km

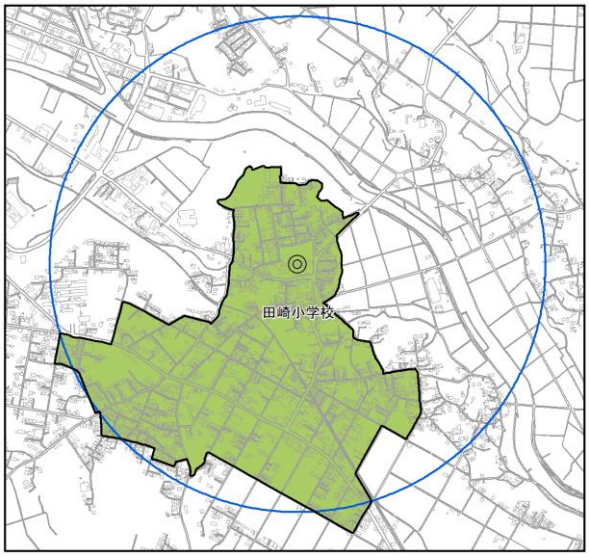
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

図：地域生活拠点維持区域

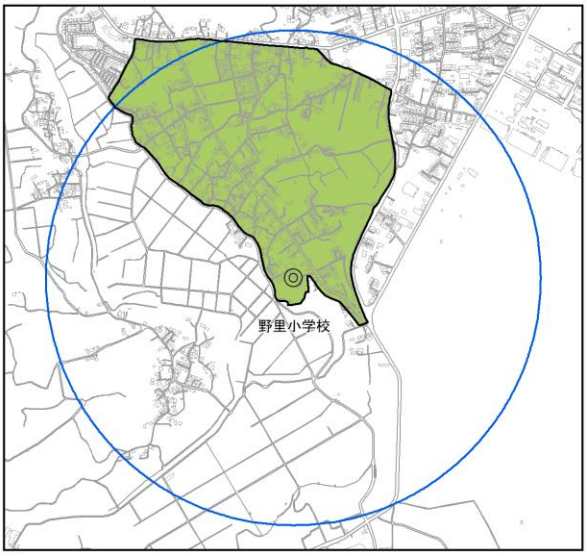
8. 市成地区



9. 田崎・川西地区



10. 上野地区



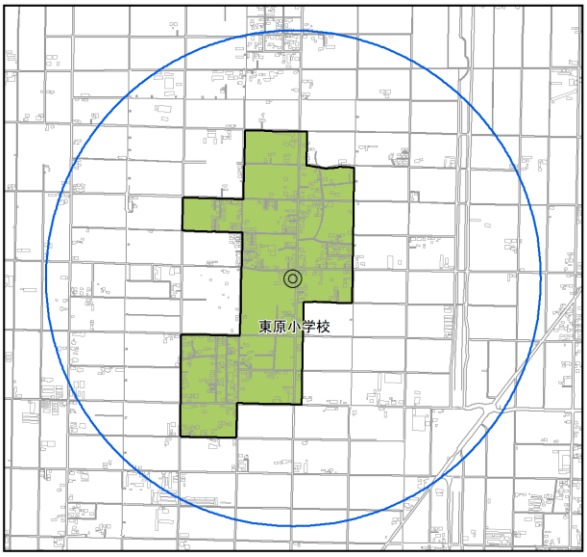
11. 祓川地区

	地域生活拠点維持区域
	半径1km

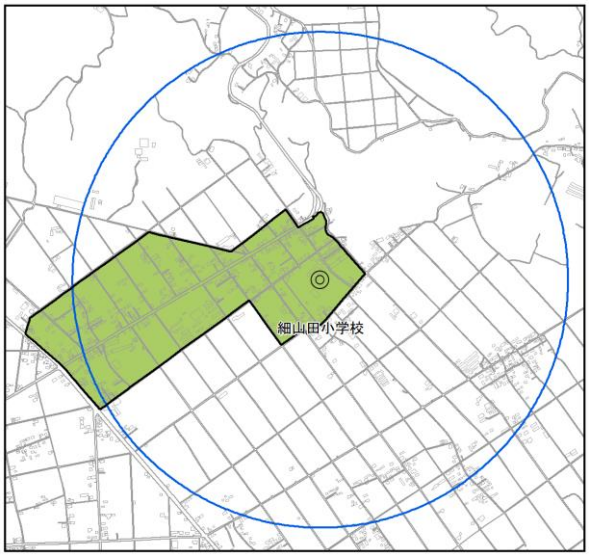
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

図：地域生活拠点維持区域

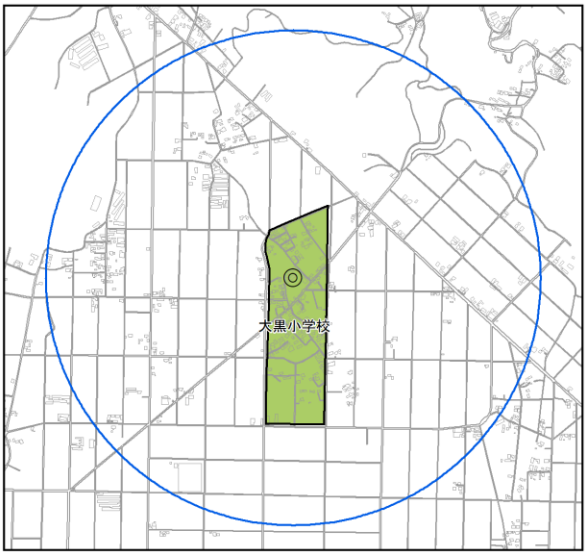
12. 東原地区



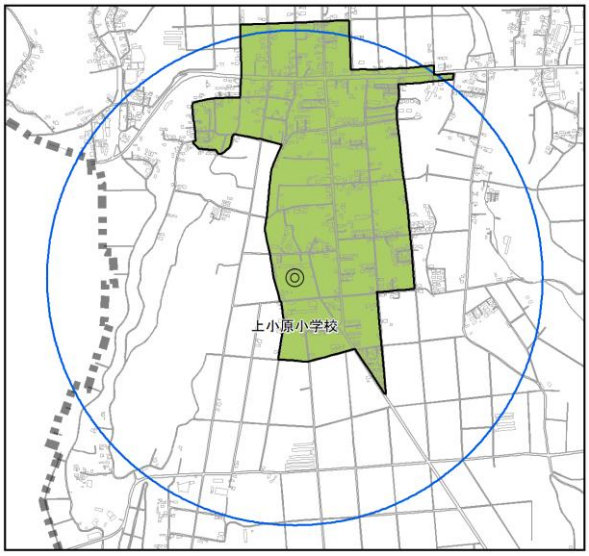
13. 細山田地区



14. 下高隈地区



15. 上小原地区

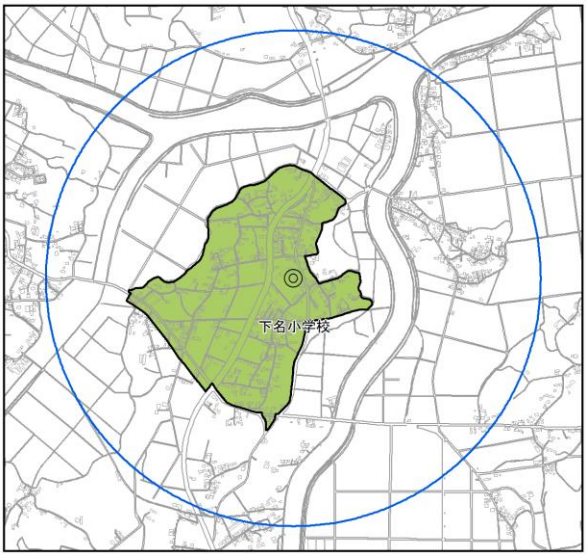


	地域生活拠点維持区域
	半径1km

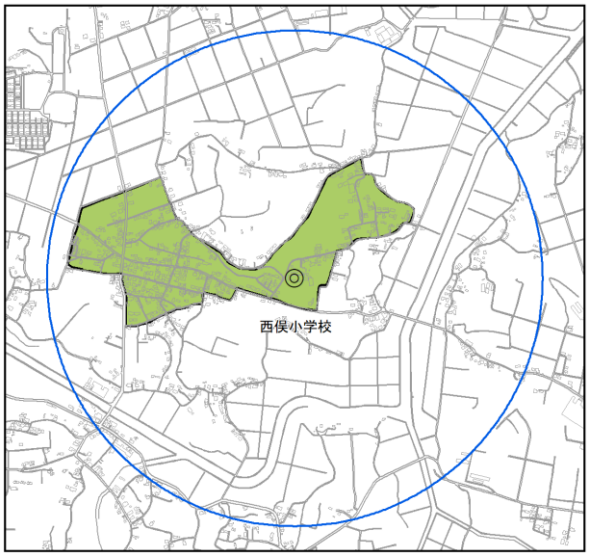
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

図：地域生活拠点維持区域

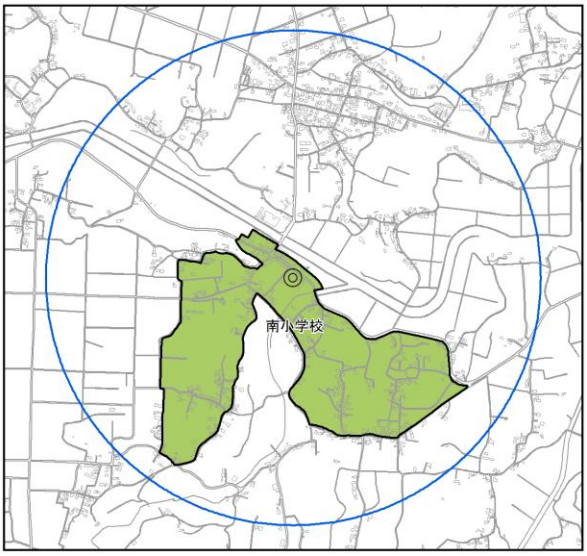
16. 下名地区



17. 飯隈地区



18. 南地区



19. 上名地区

	地域生活拠点維持区域
	半径1km

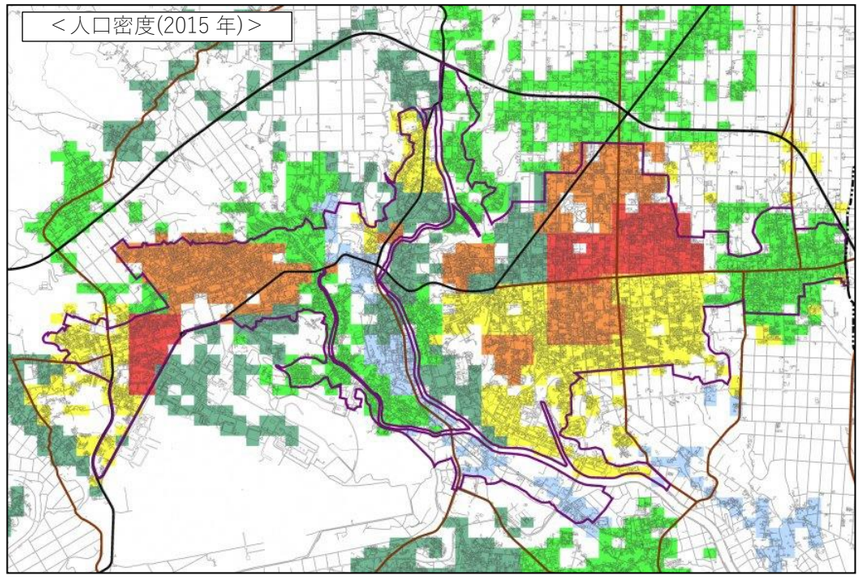
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

図：地域生活拠点維持区域

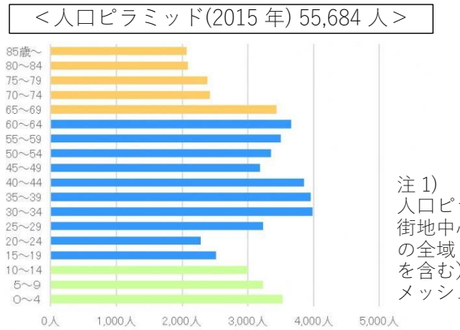
5. 地区カルテ（参考）

（1）居住・都市機能誘導区域カルテ

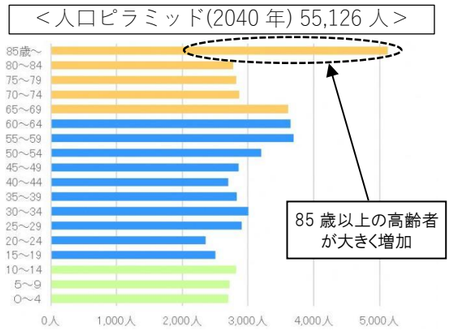
■人口関係

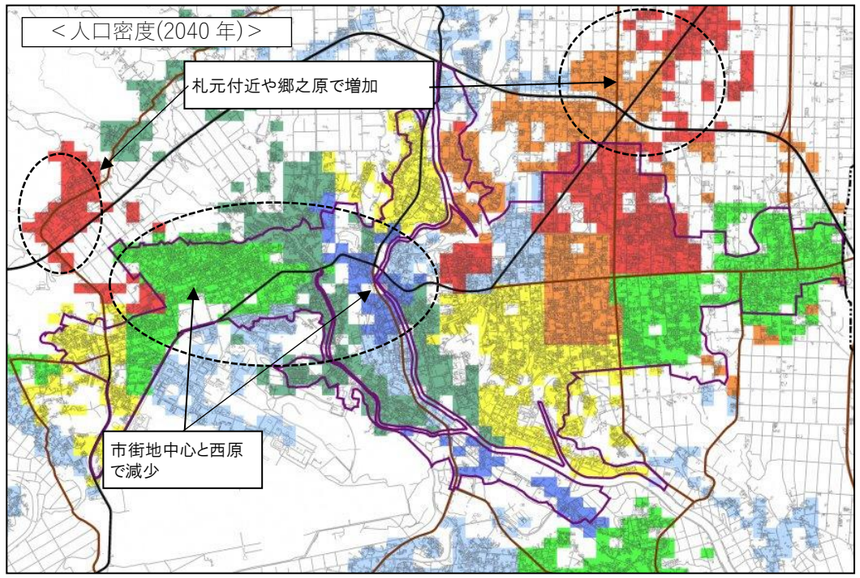


凡例			
60 人/ha 以上	30 人/ha 以上-40 人/ha 未満	5 人/ha 以上-10 人/ha 未満	
50 人/ha 以上-60 人/ha 未満	20 人/ha 以上-30 人/ha 未満	5 人/ha 未満	
40 人/ha 以上-50 人/ha 未満	10 人/ha 以上-20 人/ha 未満		



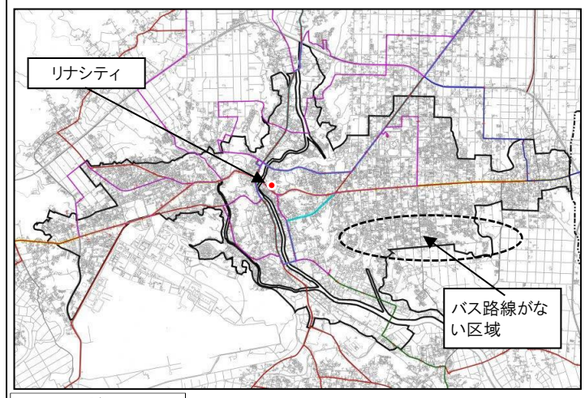
注 1)
人口ピラミッドは市街地中心、寿、西原の全域（用途地域外を含む）に含まれるメッシュを合計





凡例			
60 人/ha 以上	30 人/ha 以上-40 人/ha 未満	5 人/ha 以上-10 人/ha 未満	
50 人/ha 以上-60 人/ha 未満	20 人/ha 以上-30 人/ha 未満	5 人/ha 未満	
40 人/ha 以上-50 人/ha 未満	10 人/ha 以上-20 人/ha 未満		

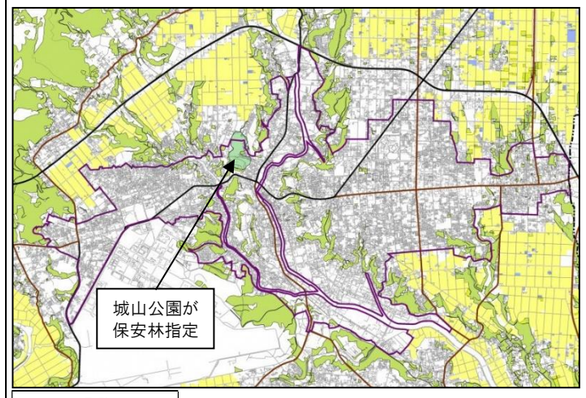
■道路・交通状況



凡例	
+	バス停
	かのやくるりんバス
	吾平地区くるりんバス
	輝北地区くるりんバス
	串良地区くるりんバス
	大姶良地区くるりんバス
	路線バス
	鹿児島中央駅直行バス
	鹿児島空港連絡バス
	乗合タクシー

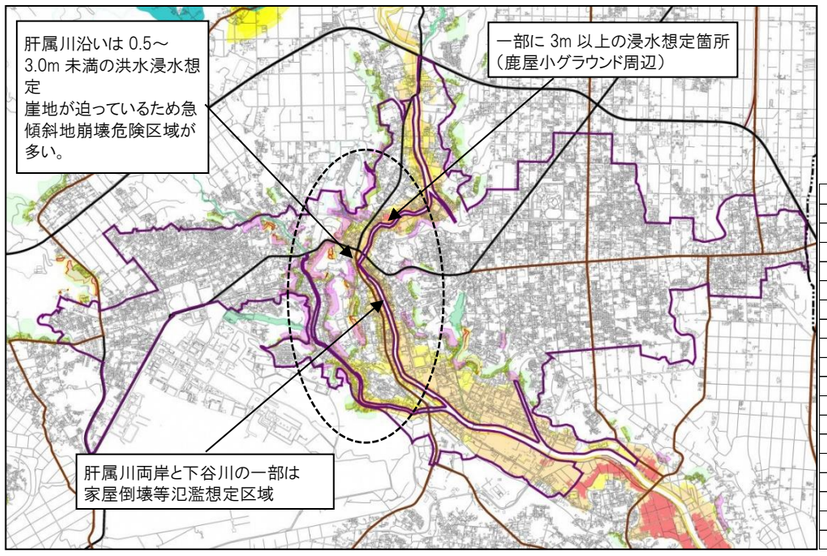
かのやくるりんバス・・・・用途地域内を中心に展開
串良地区くるりんバス・・・用途地域東端を通過
大姶良地区くるりんバス・・リナシティ発着
路線バス・・・・・・・・・リナシティを中心に放射状に展開
鹿児島中央駅直行バス・・・用途地域内を横断
鹿児島空港連絡バス・・・・市街地中心及び寿を横断
乗合タクシー・・・・・・・リナシティから西側を横断

■法規制状況（土地利用関係）



凡例
農用地
農業用施設用地
採草牧草地
国有林
保安林
民有林

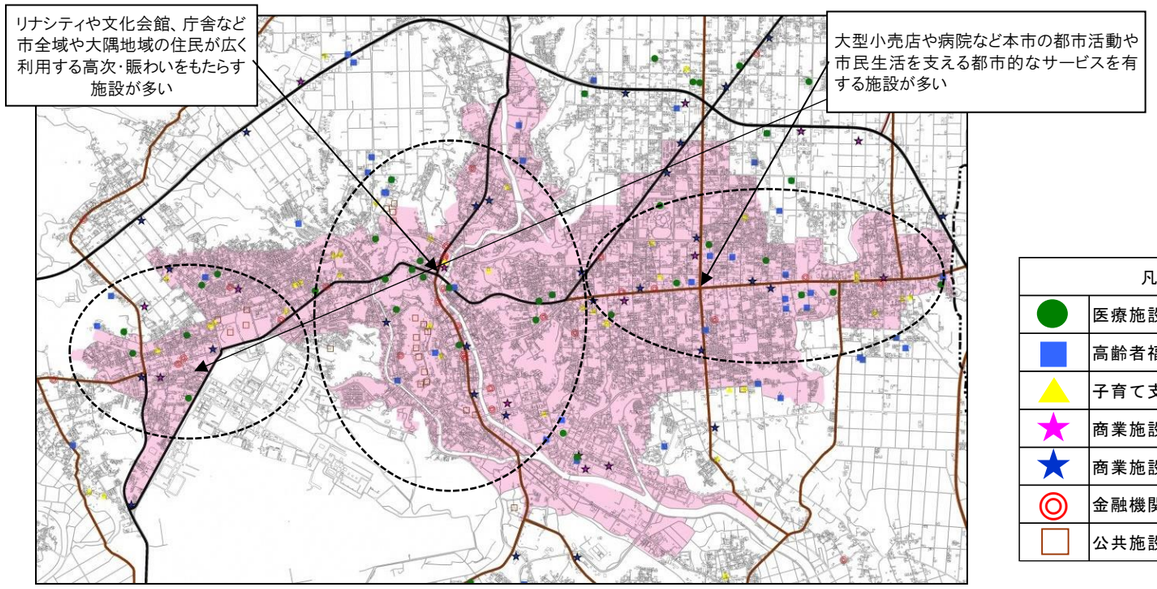
■災害関係



凡例
家屋倒壊（河岸浸食）
家屋倒壊（氾濫流）
道路冠水注意箇所
津波浸水想定区域
洪水浸水想定区域（0.5m未満）
洪水浸水想定区域（0.5～3.0m未満）
洪水浸水想定区域（3.0～5.0m未満）
洪水浸水想定区域（5.0m以上）
砂防指定地
急傾斜地崩壊危険区域
急傾斜地崩壊危険箇所
急傾斜地被害想定区域
土石流危険渓流
土石流被害想定区域
急傾斜地崩壊特別警戒区域
急傾斜地崩壊警戒区域
土石流特別警戒区域
土石流警戒区域

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

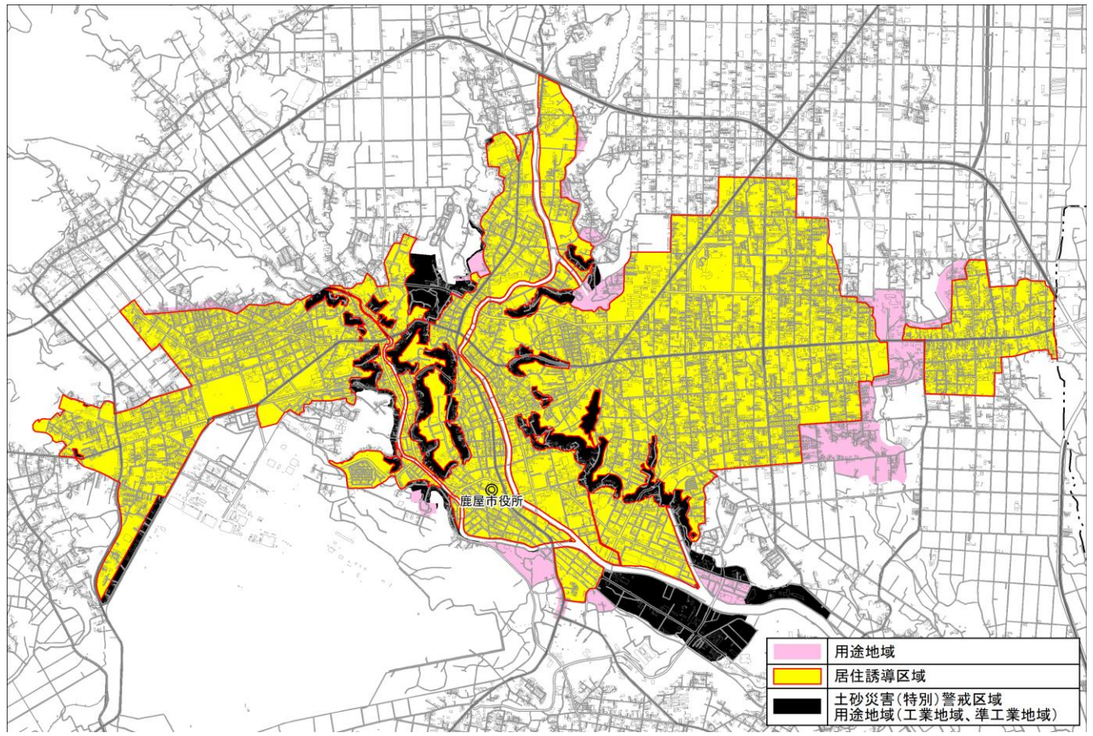
■生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



施設	施設数			徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)					
	市街地中心･寿･西原（全域）	都市機能誘導区域	居住誘導区域	市街地中心		寿		西原	
				2015年	2040年	2015年	2040年	2015年	2040年
医療施設	39	15	24	14.3	13.4	20.7	22.4	20.3	16.3
高齢者福祉施設	64	13	22	4.4	4.5	4.2	6.9	3.1	3.8
子育て支援施設	43	15	30	1.0	0.9	2.0	1.5	1.2	0.7
商業施設(全体)	45	0	0	16.2	16.6	18.3	20.0	13.0	11.4
商業地域(スーパー)	14	8	9	20.7	19.0	22.7	24.3	17.6	15.1
商業地域(コンビニ)	31	11	20	15.8	16.3	19.5	21.5	13.4	11.9
金融施設	32	19	23	15.3	13.9	26.3	28.2	13.9	12.1
公共施設	22	10	19	12.5	10.0	19.5	18.6	23.9	17.2

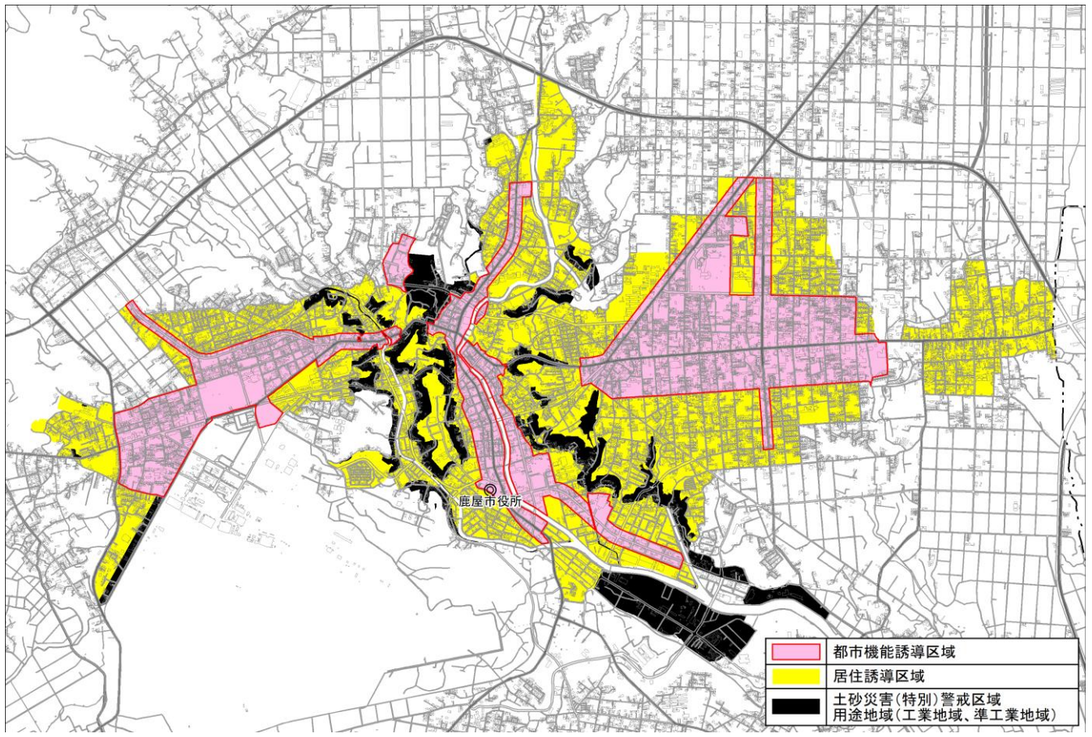
注 1)　徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 2)　施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

■居住誘導区域（案）



※ハザードエリア、農用地区域及び保安林を除く。

■都市機能誘導区域（案）



※ハザードエリア、農用地区域及び保安林を除く。

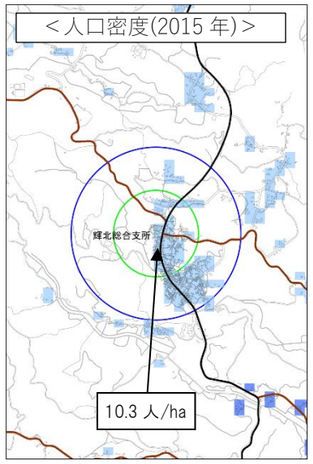
※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

（2）地域生活拠点維持区域カルテ

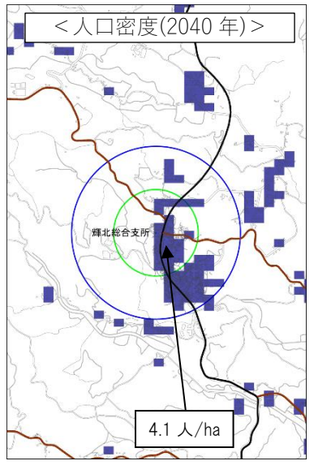
1 輝北地区

■人口関係

<人口密度(2015 年)>



<人口密度(2040 年)>

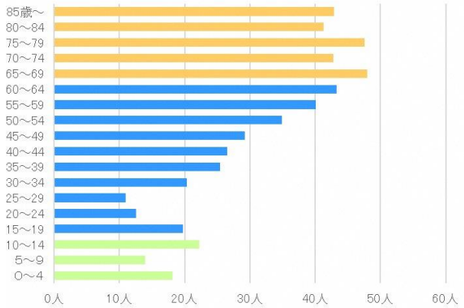


人口が 6 割減少し、5 人/ha 未満となる見込み

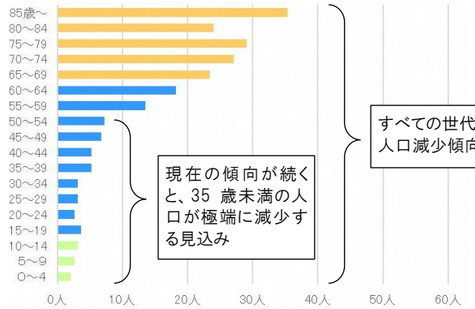
凡例
60人/ha以上
50人/ha以上-60人/ha未満
40人/ha以上-50人/ha未満
30人/ha以上-40人/ha未満
20人/ha以上-30人/ha未満
10人/ha以上-20人/ha未満
5人/ha以上-10人/ha未満
5人/ha未満
500m
1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

<人口ピラミッド(2015 年) 540 人>



<人口ピラミッド(2040 年) 215 人>

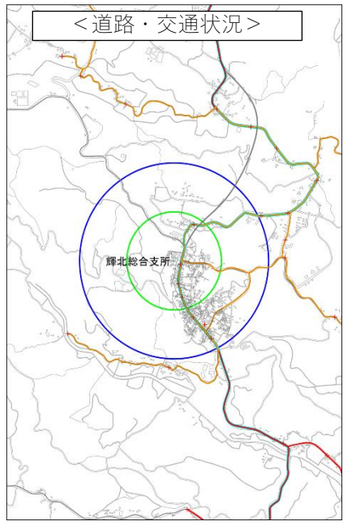


現在の傾向が続くと、35 歳未満の人口が極端に減少する見込み

すべての世代が人口減少傾向

■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況

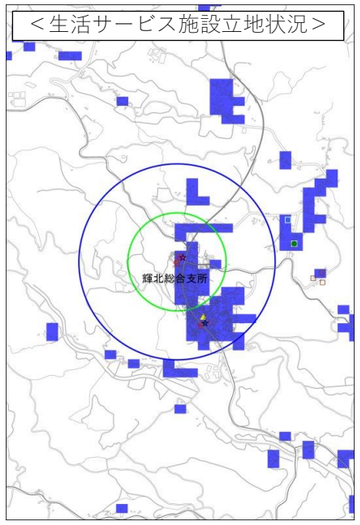
<道路・交通状況>



輝北地区くるりんバス
・・・地区内集落及び市成出張所方面を中心に展開
路線バス
・・・国道 504 号を縦断
鹿児島空港連絡バス
・・・国道 504 号を縦断

+	バス停
	輝北地区くるりんバス
	路線バス
	鹿児島空港連絡バス

<生活サービス施設立地状況>



総合支所 1km 圏内に医療･介護福祉機能以外の生活利便施設が立地
総合支所 1km 圏外に医療施設が立地

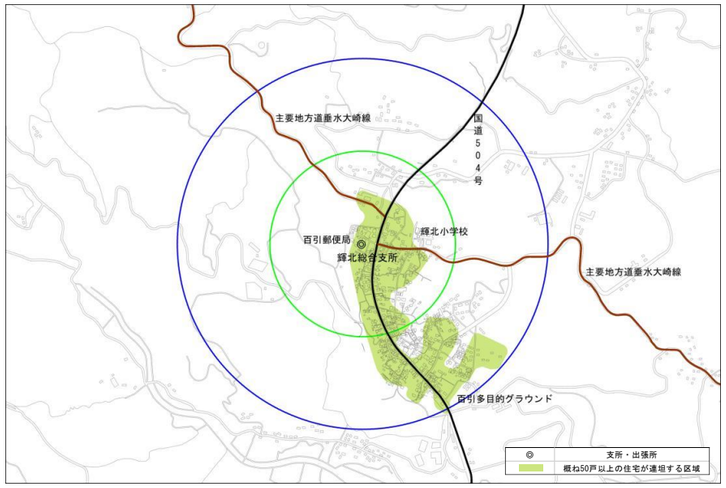
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

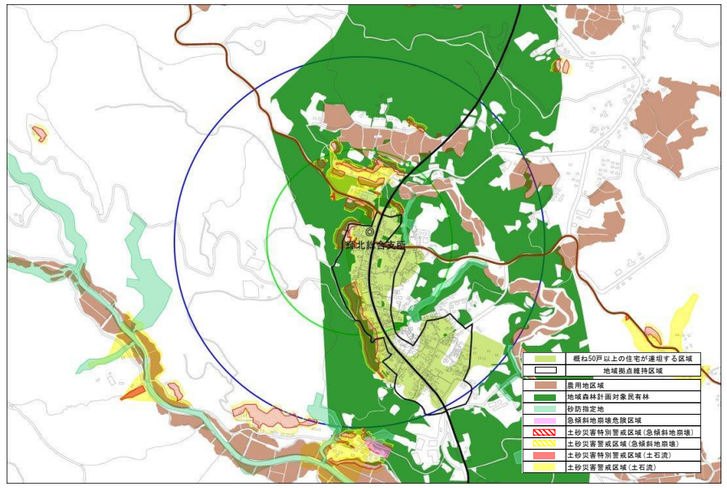
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	1	0	0.9	0.4
高齢者福祉施設	2	0	0.6	0.4
子育て支援施設	2	2	0.2	0.0
商業施設（全体）	2	0	1.9	0.8
商業地域（スーパー）	1	1	2.2	0.9
商業地域（コンビニ）	1	1	2.4	1.0
金融施設	3	3	1.9	0.8
公共施設	6	2	1.6	0.6

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

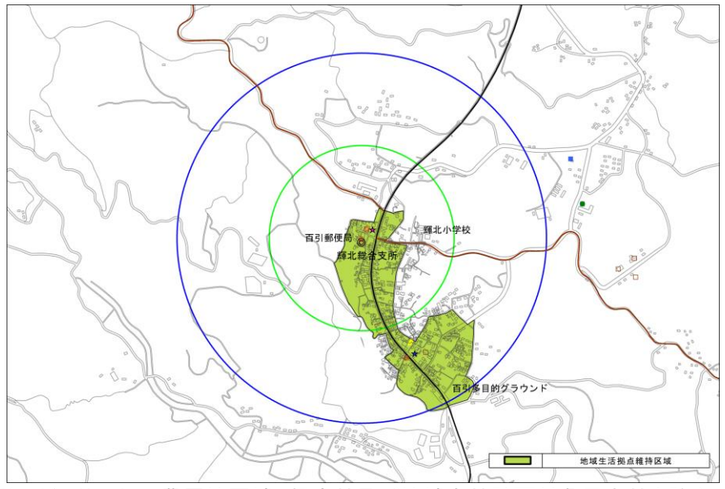
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

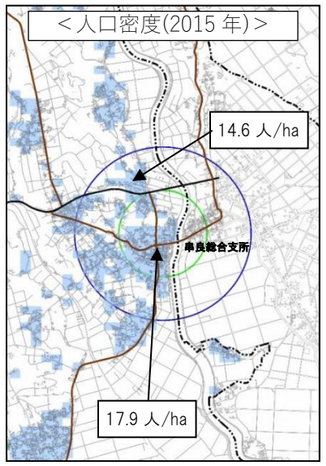


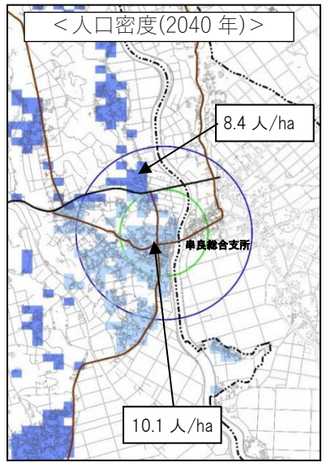
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

2 串良地区

■人口関係



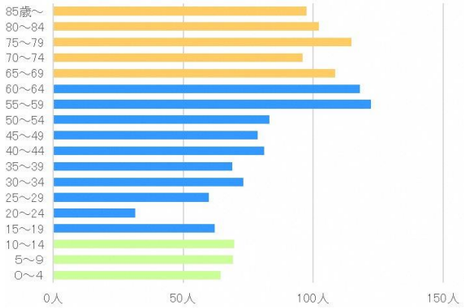


全般に大幅な人口減の見込み
(総合支所付近:44%減、外縁部:42%減)

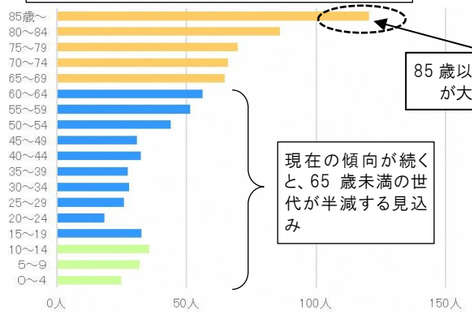
凡例
- 60人/ha以上
- 50人/ha以上-60人/ha未満
- 40人/ha以上-50人/ha未満
- 30人/ha以上-40人/ha未満
- 20人/ha以上-30人/ha未満
- 10人/ha以上-20人/ha未満
- 5人/ha以上-10人/ha未満
- 5人/ha未満
- 500m
- 1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

＜人口ピラミッド(2015 年) 1,500 人＞



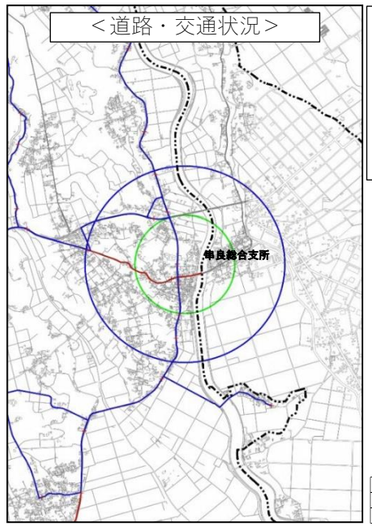
＜人口ピラミッド(2040 年) 847 人＞



85 歳以上の高齢者が大きく増加

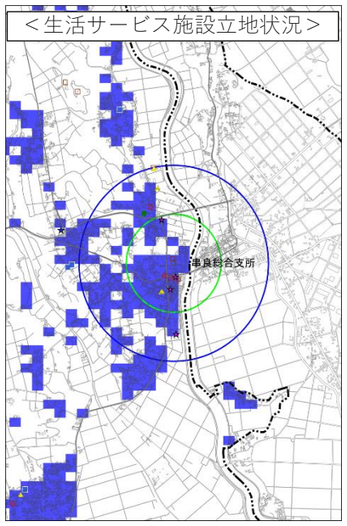
現在の傾向が続くと、65 歳未満の世代が半減する見込み

■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



串良地区くるりんバス
・・・地区内集落及び串良総合支所方面を中心に展開
路線バス
・・・県道 73 号及び 519 号を運行

- バス停
- 串良地区くるりんバス
- 路線バス



総合支所 1km 圏内に、介護福祉機能を除く多くの生活利便施設が立地

総合支所 1km 圏外にコンビニ、高齢者福祉施設が立地

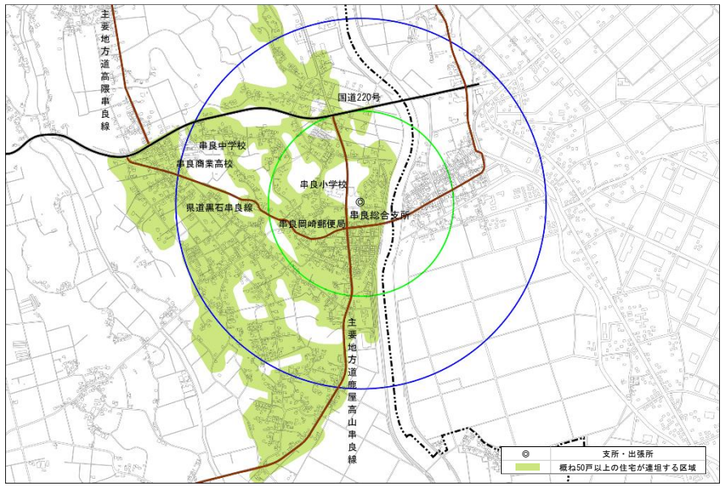
凡例
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 商業施設（スーパー）
- 商業施設（コンビニ）
- 金融機関
- 公共施設

凡例（人口増減率）
- 30%以上減少
- 20～30%未満減少
- 10～20%未満減少
- 0～10%未満減少
- 0～10%未満増加
- 10～20%未満増加
- 20～30%未満増加
- 30%以上増加

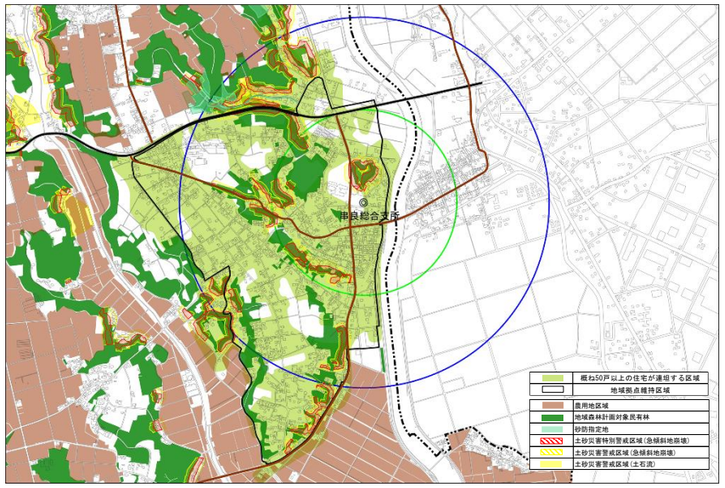
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	1	1	5.3	3.0
高齢者福祉施設	4	1	1.8	1.4
子育て支援施設	5	2	0.3	0.1
商業施設(全体)	5	0	4.9	2.7
商業地域(スーパー)	4	4	6.2	3.5
商業地域(コンビニ)	1	0	3.0	1.7
金融施設	5	4	4.8	2.7
公共施設	5	2	3.9	2.2

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

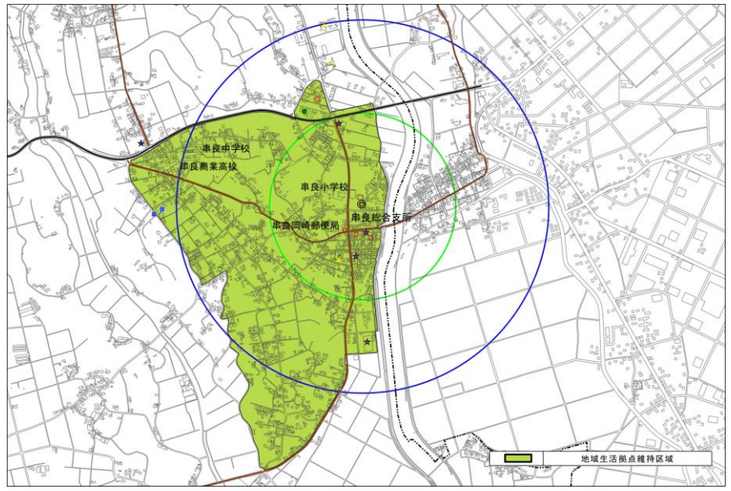
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

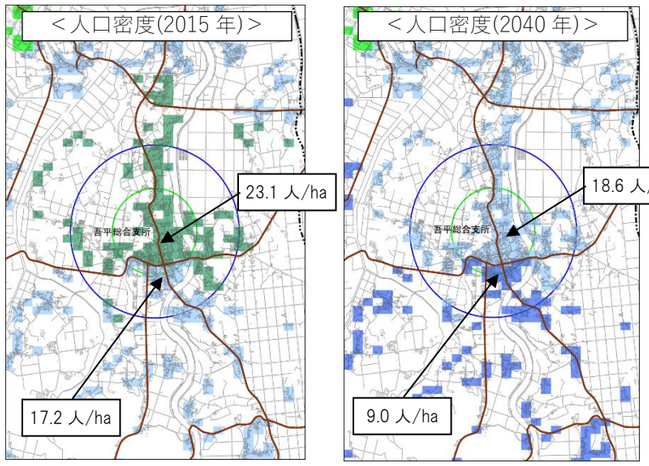


※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

3 吾平地区

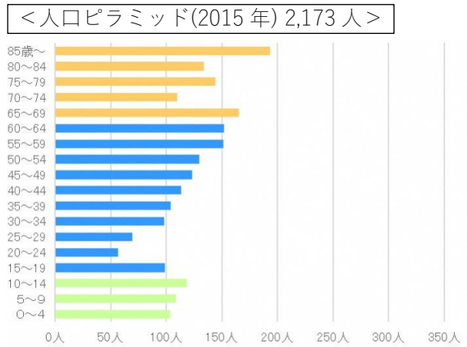
■人口関係

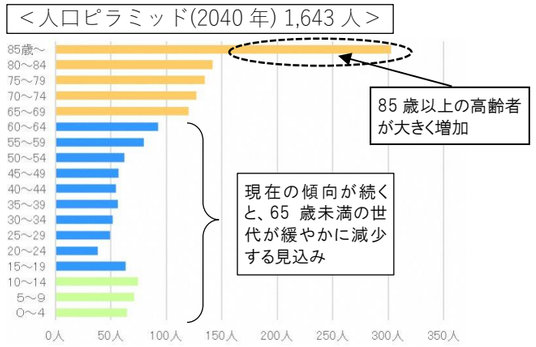


総合支所南側で大幅な人口減の見込み
(総合支所付近:19.5%減、南側外縁部:47%減)

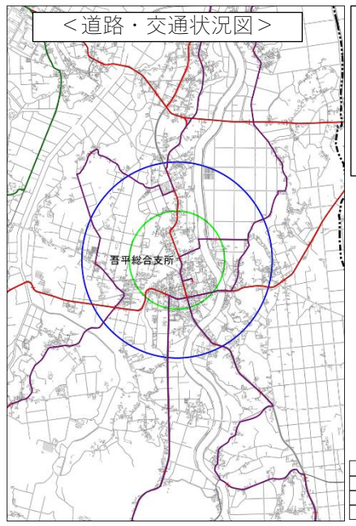
凡例
60人/ha以上
50人/ha以上-60人/ha未満
40人/ha以上-50人/ha未満
30人/ha以上-40人/ha未満
20人/ha以上-30人/ha未満
10人/ha以上-20人/ha未満
5人/ha以上-10人/ha未満
5人/ha未満
500m
1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計



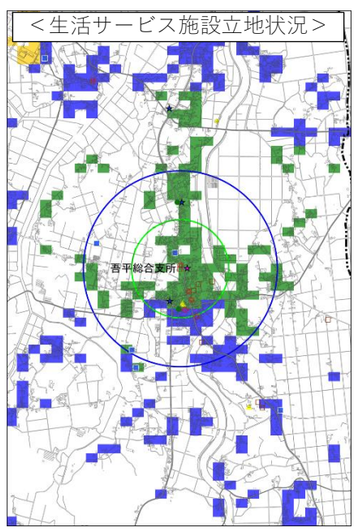


■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



吾平地区くるりんバス
・・・地区内集落及び吾平総合支所方面を中心に展開
路線バス
・・・県道 68 号、県道 73 号を縦横断

+	バス停
	吾平地区くるりんバス
	大姶良地区くるりんバス
	路線バス



総合支所 1km 圏内にすべての種類の生活利便施設が多く立地

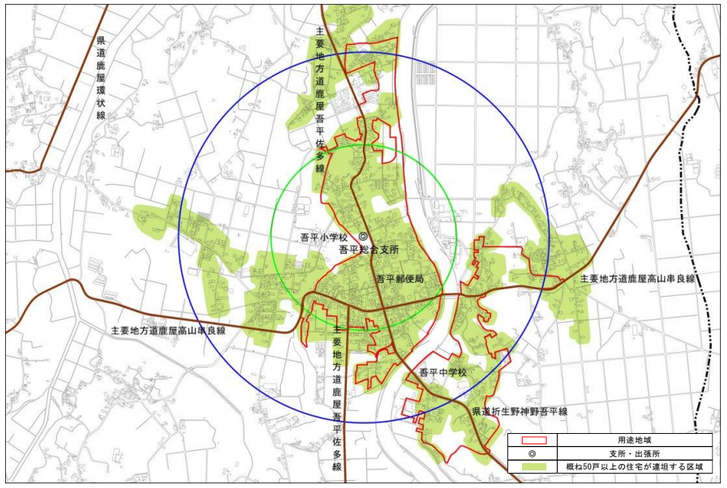
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

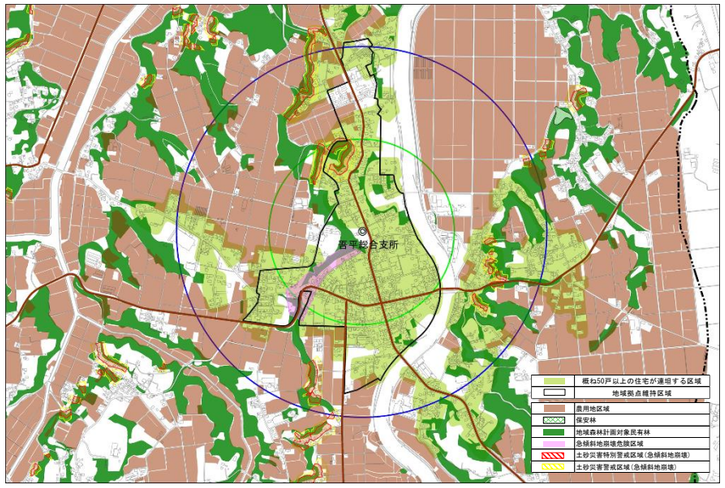
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)	
	図枠内	地域拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	2	2	6.3	4.7
高齢者福祉施設	6	1	1.3	1.5
子育て支援施設	5	2	0.3	0.2
商業施設(全体)	4	0	5.6	4.2
商業地域(スーパー)	1	1	8.3	6.3
商業地域(コンビニ)	3	2	5.6	4.2
金融施設	6	5	5.8	4.4
公共施設	8	4	4.2	3.0

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

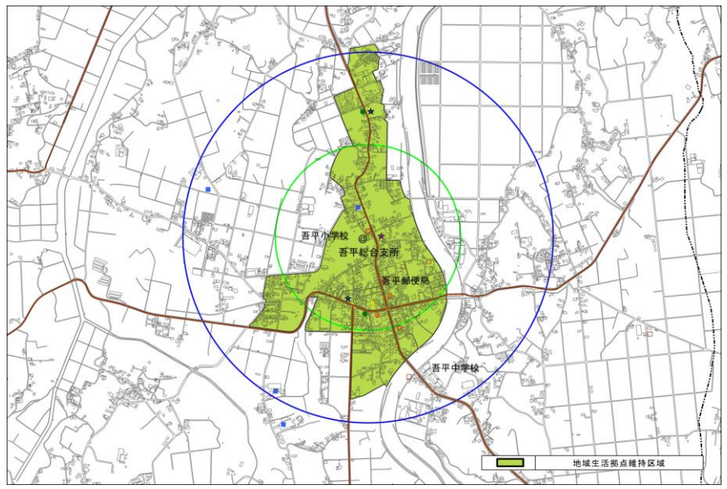
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

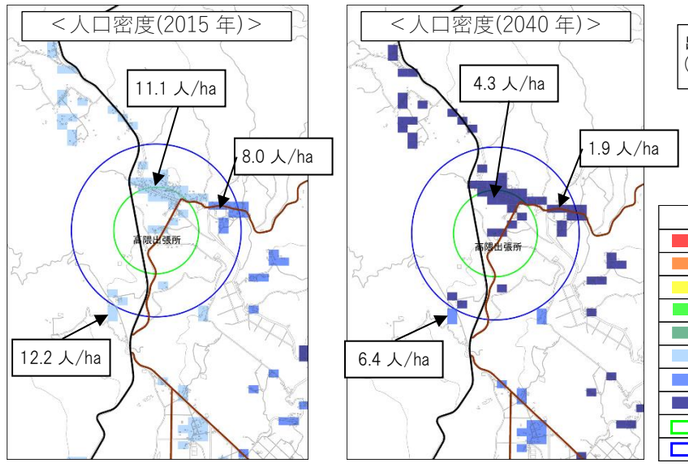


※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

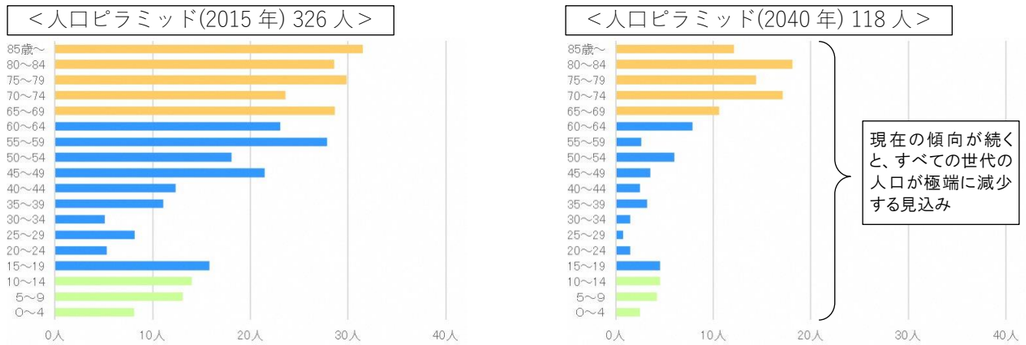
4 高隈地区

■人口関係

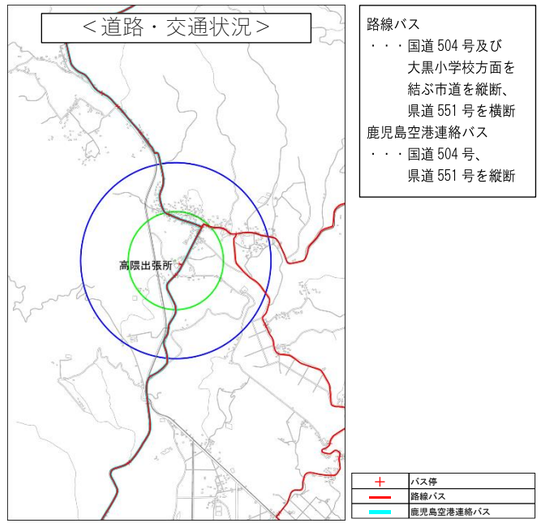


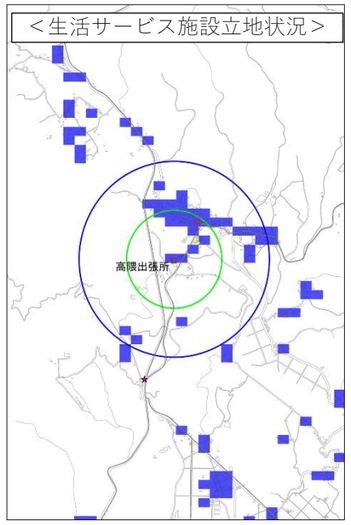
出張所及び北側で大幅な人口減の見込み
（郵便局付近：62%減、高隈中周辺：76%減）

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計



■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況





出張所 1km 圏内に保育園、郵便局、公民館が立地

圏内及び周辺に介護福祉機能や医療機能の立地がない。

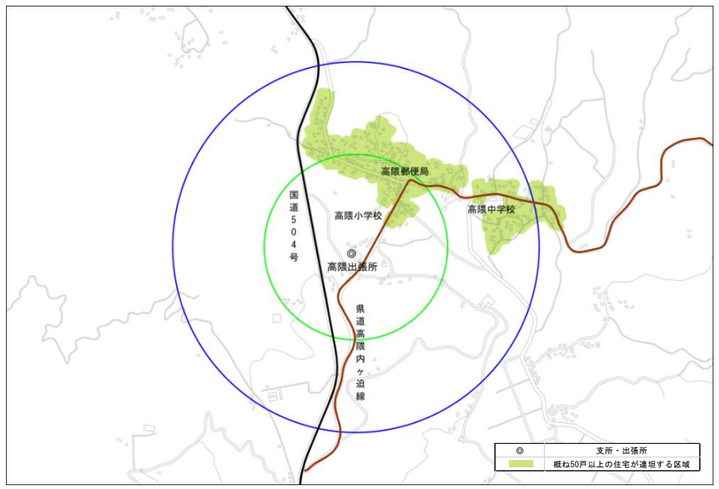
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

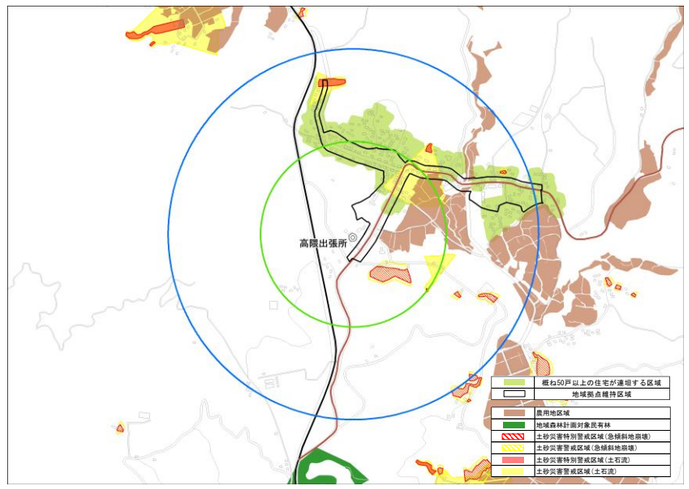
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	0	0	0.0	0.0
高齢者福祉施設	0	0	0.0	0.0
子育て支援施設	1	0	0.1	0.0
商業施設（全体）	1	0	0.3	0.2
商業地域（スーパー）	1	0	0.3	0.2
商業地域（コンビニ）	0	0	0.0	0.0
金融施設	1	1	1.5	0.5
公共施設	3	0	0.8	0.3

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

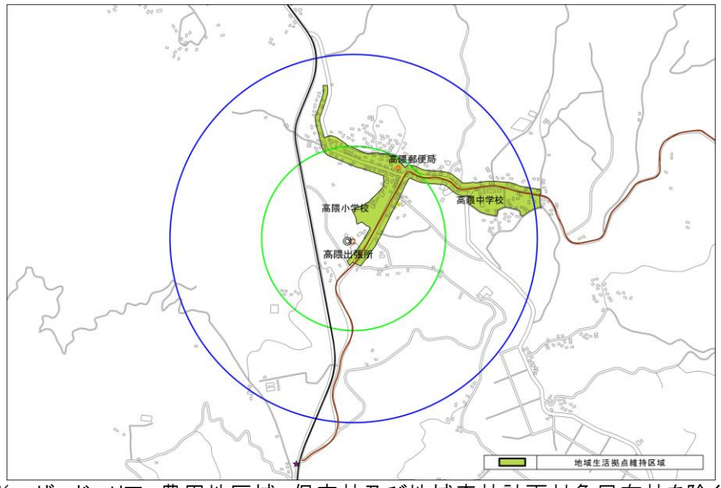
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

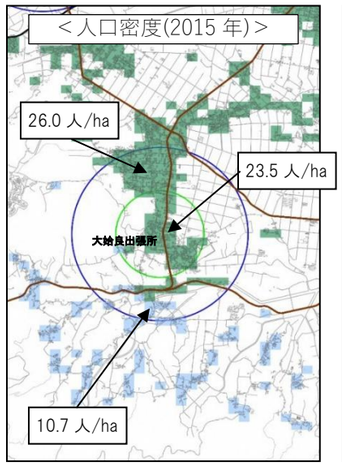


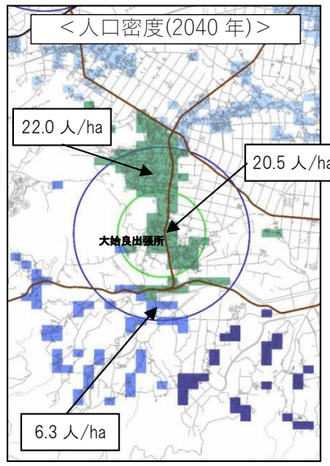
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

5 大姶良地区

■人口関係

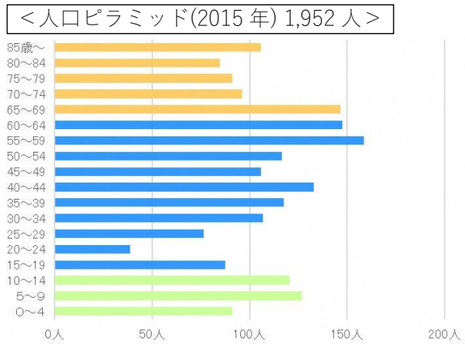


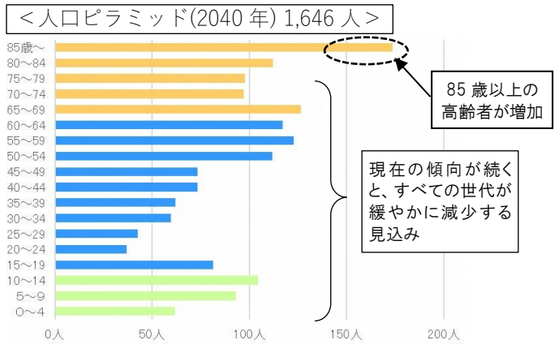


出張所及び北側は緩やかな人口減の見込み
(出張所付近･北側:15%減)

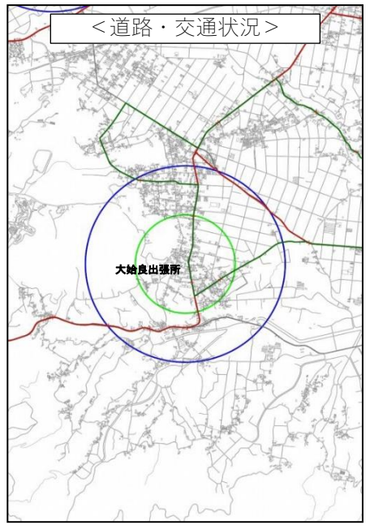
凡例
- 60人/ha以上
- 50人/ha以上-60人/ha未満
- 40人/ha以上-50人/ha未満
- 30人/ha以上-40人/ha未満
- 20人/ha以上-30人/ha未満
- 10人/ha以上-20人/ha未満
- 5人/ha以上-10人/ha未満
- 5人/ha未満
- 500m
- 1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計



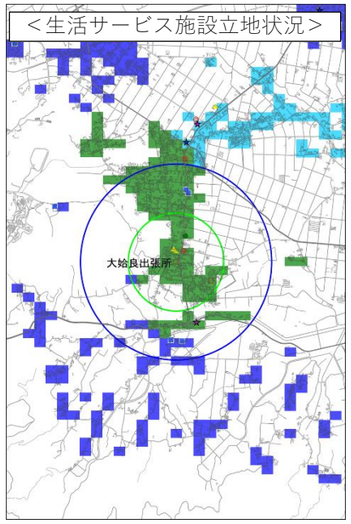


■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



大姶良地区くるりんバス
・・・地区内集落及び大姶良出張所方面を中心に展開
路線バス
・・・県道 540 号及び県道 550 号を縦断、県道 73 号を横断

- バス停
- 大姶良地区くるりんバス
- 路線バス



出張所 1km 圏内に生活利便施設がひととおり立地

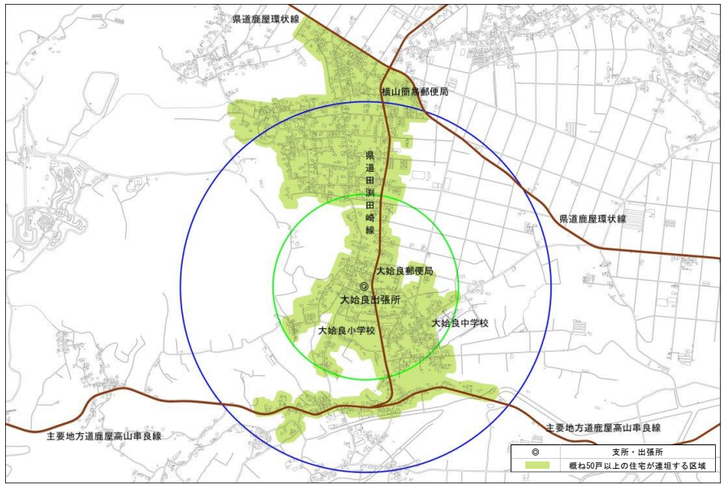
凡例
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 商業施設（スーパー）
- 商業施設（コンビニ）
- 金融機関
- 公共施設

凡例（人口増減率）
- 30%以上減少
- 20～30%未満減少
- 10～20%未満減少
- 0～10%未満減少
- 0～10%未満増加
- 10～20%未満増加
- 20～30%未満増加
- 30%以上増加

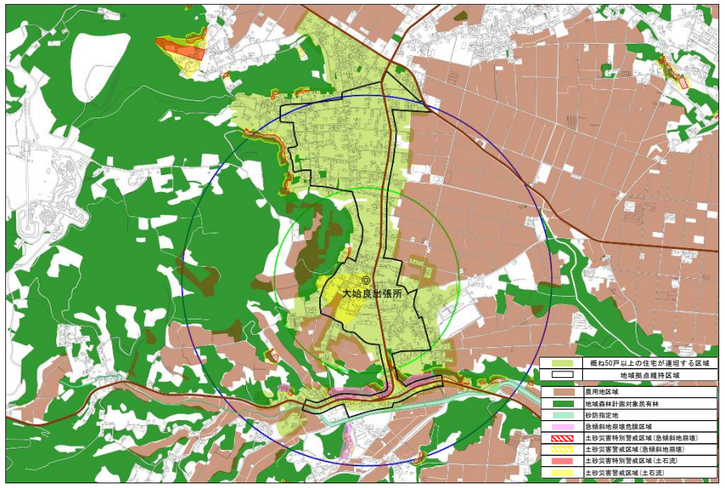
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	1	1	8.3	7.1
高齢者福祉施設	9	2	1.9	2.3
子育て支援施設	4	2	0.4	0.3
商業施設(全体)	4	0	6.6	5.0
商業地域(スーパー)	2	1	6.2	4.9
商業地域(コンビニ)	2	0	7.6	5.7
金融施設	4	2	6.2	4.9
公共施設	2	1	6.0	5.0

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

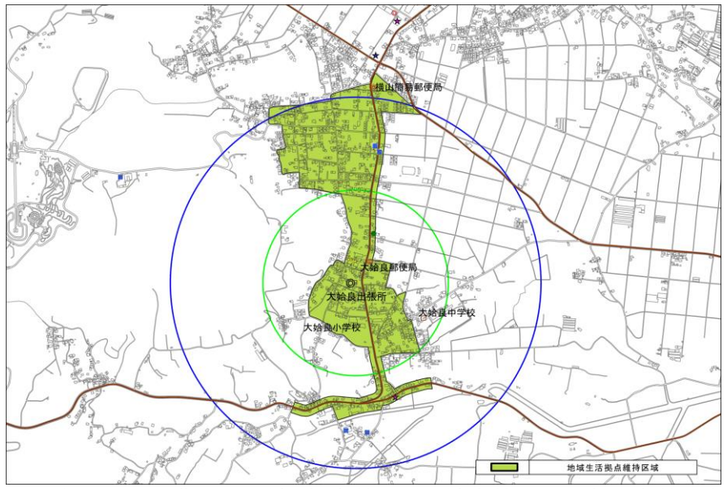
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

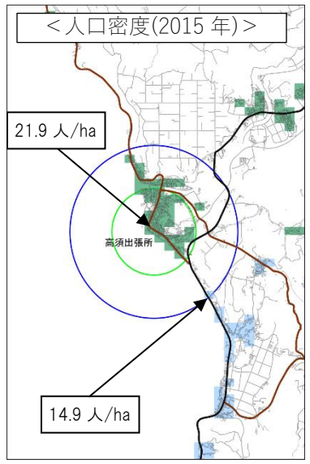


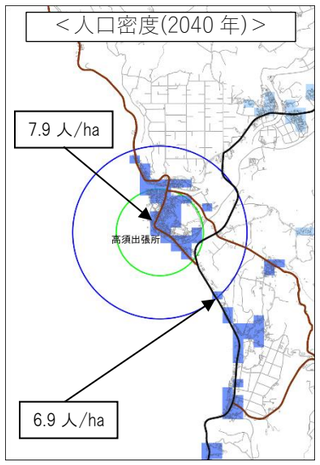
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

6 高須地区

■人口関係

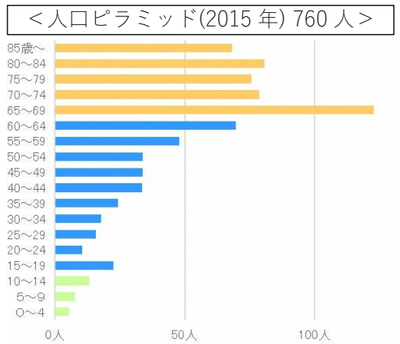


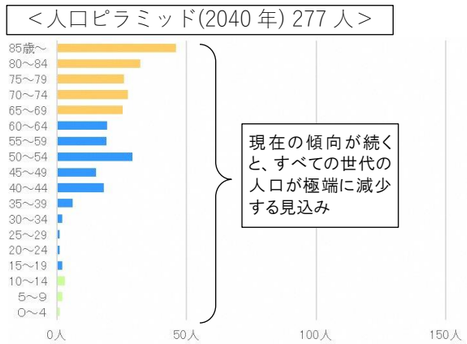


出張所周辺は大幅な人口減の見込み
(出張所付近:64%減)

凡例
60人/ha以上
50人/ha以上-60人/ha未満
40人/ha以上-50人/ha未満
30人/ha以上-40人/ha未満
20人/ha以上-30人/ha未満
10人/ha以上-20人/ha未満
5人/ha以上-10人/ha未満
5人/ha未満
500m
1,000m

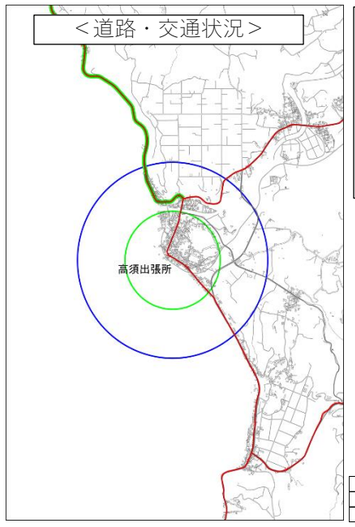
注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計





現在の傾向が続くと、すべての世代の人口が極端に減少する見込み

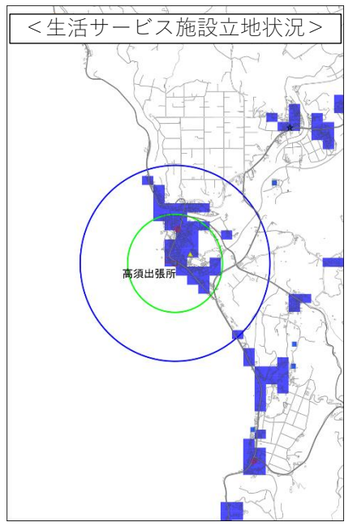
■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



路線バス
・・・国道 269 号及び県道 68 号、県道 73 号を縦断、

乗合タクシー
・・・高須出張所から、以北の県道 68 号を縦断

+	バス停
	路線バス
	乗合タクシー



出張所 1km 圏内にこども園、郵便局、公民館･スポーツ施設が立地

圏内及び周辺に医療機能の立地がない。

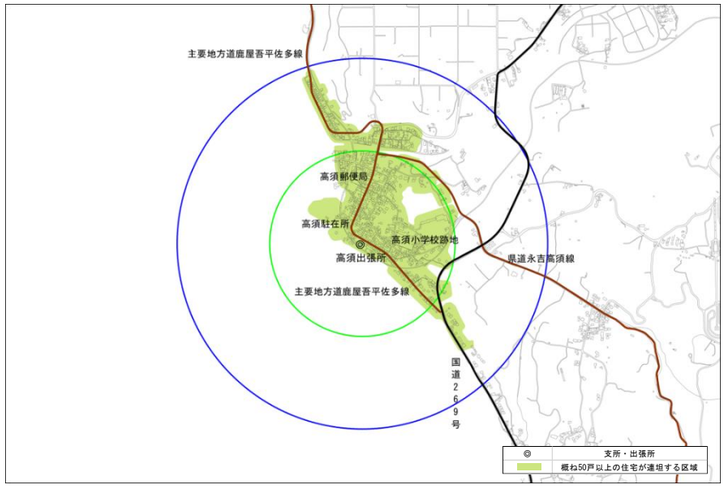
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

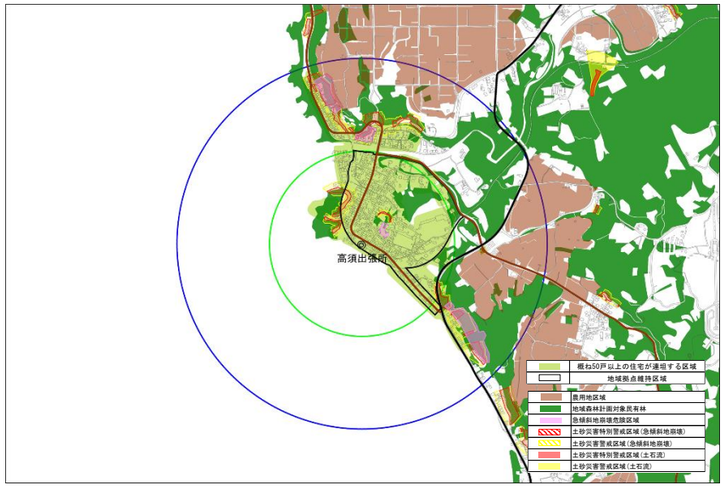
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	0	0	0.0	0.0
高齢者福祉施設	6	0	0.7	0.5
子育て支援施設	1	1	0.1	0.0
商業施設(全体)	1	0	1.9	1.2
商業地域(スーパー)	0	0	0.0	0.0
商業地域(コンビニ)	1	0	1.9	1.2
金融施設	2	1	3.3	1.3
公共施設	3	2	5.5	2.0

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

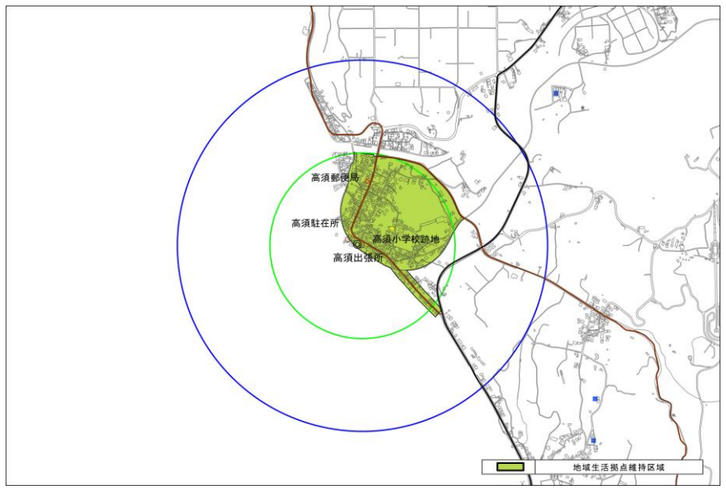
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

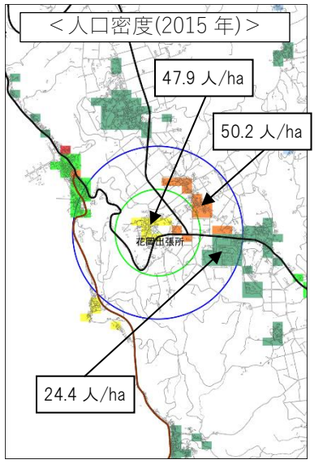


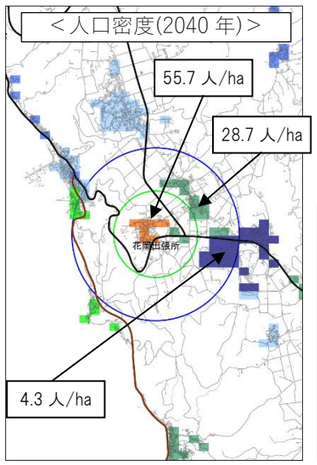
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

7 花岡地区

■人口関係



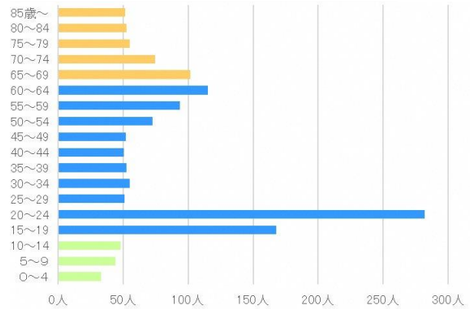


鹿屋体育大学の学生の居住により大きく変動する。
(出張所付近：16%増、古江バイパス東側)

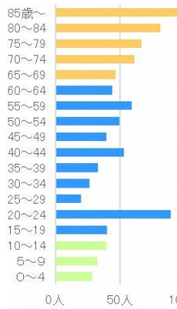
凡例
- 60人/ha以上
- 50人/ha以上-60人/ha未満
- 40人/ha以上-50人/ha未満
- 30人/ha以上-40人/ha未満
- 20人/ha以上-30人/ha未満
- 10人/ha以上-20人/ha未満
- 5人/ha以上-10人/ha未満
- 5人/ha未満
- 500m
- 1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

＜人口ピラミッド(2015 年) 1,452 人＞



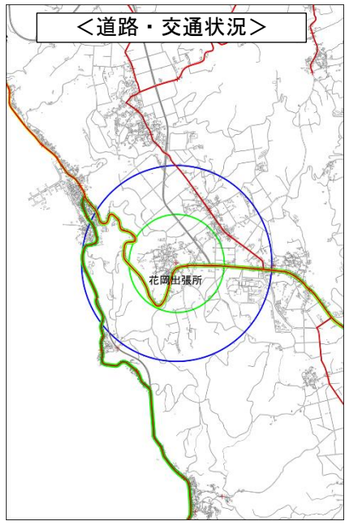
＜人口ピラミッド(2040 年) 919 人＞



現在の傾向が続くと、75 歳以上の人口が増加する見込み

鹿屋体育大学の定員は近年大きく増減がないため、国勢調査の回答率の変化が増減に影響している可能性がある。

■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況

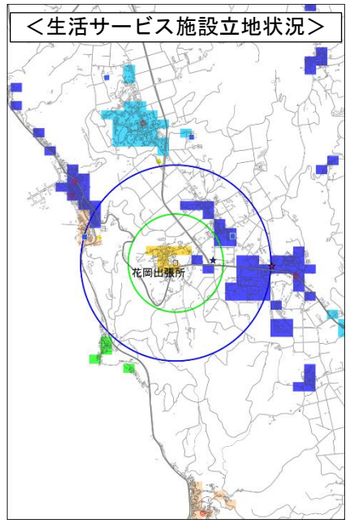


路線バス
・・・国道 220 号、
県道 68 号等を縦断

鹿児島中央駅直行バス
・・・国道 220 号を縦断

乗合タクシー
・・・国道 220 号、
県道 68 号を縦断

- バス停
- 路線バス
- 鹿児島中央駅直行バス
- 乗合タクシー



総合支所 1km 圏内にデイサービス施設、こども園、郵便局、公民館が立地

圏内及び周辺に医療機能の立地がない。

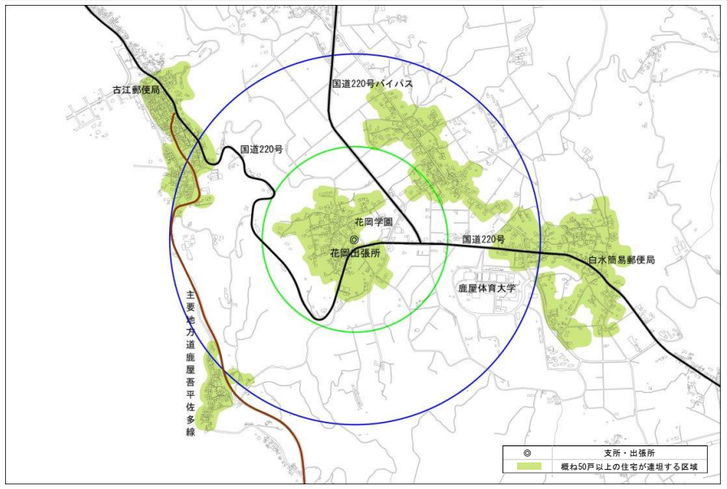
凡例
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 商業施設（スーパー）
- 商業施設（コンビニ）
- 金融機関
- 公共施設

凡例（人口増減率）
- 30%以上減少
- 20～30%未満減少
- 10～20%未満減少
- 0～10%未満減少
- 0～10%未満増加
- 10～20%未満増加
- 20～30%未満増加
- 30%以上増加

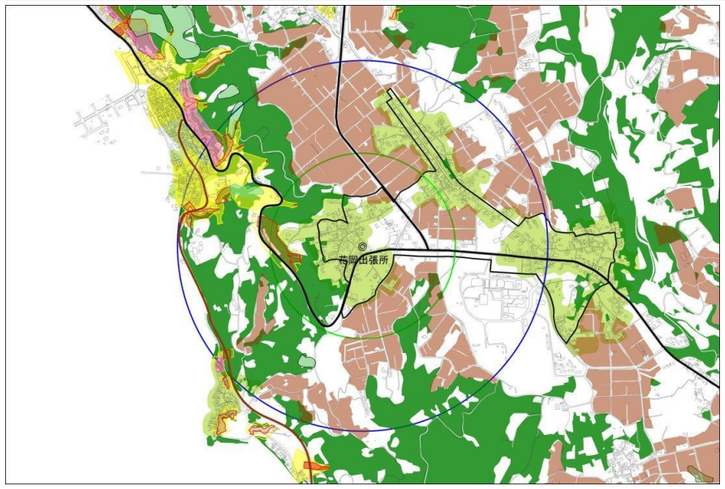
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	0	0	0.0	0.0
高齢者福祉施設	4	0	1.8	1.7
子育て支援施設	3	0	0.1	0.1
商業施設(全体)	2	0	5.7	3.0
商業地域(スーパー)	1	1	5.9	2.0
商業地域(コンビニ)	1	1	7.0	4.1
金融施設	6	1	3.1	1.6
公共施設	2	2	5.4	3.8

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2)徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

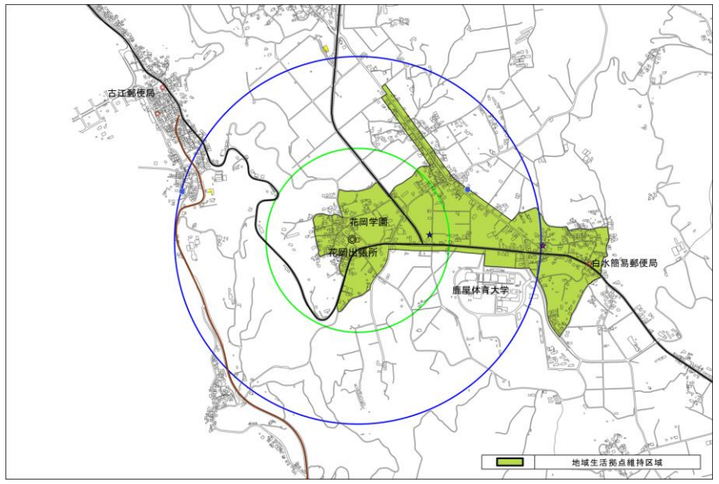
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

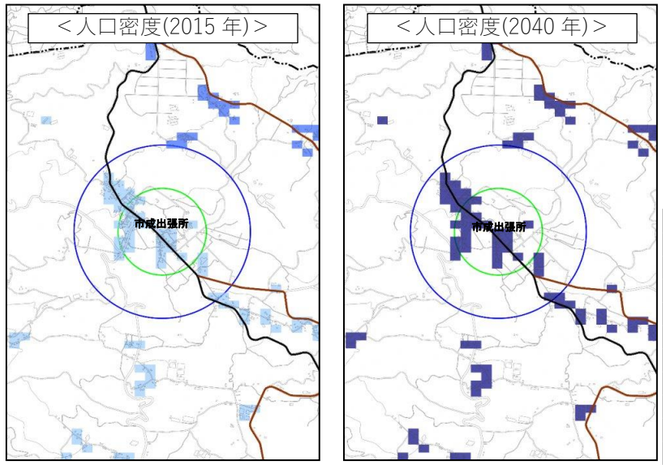


※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

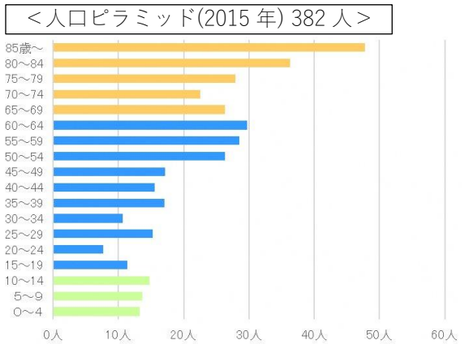
8 市成地区

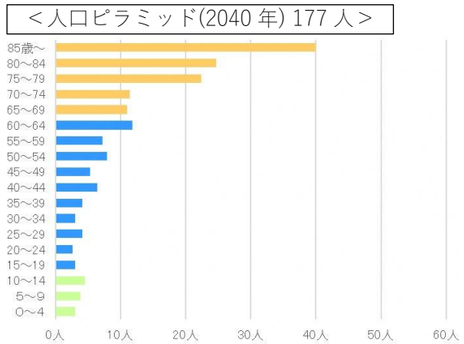
■人口関係



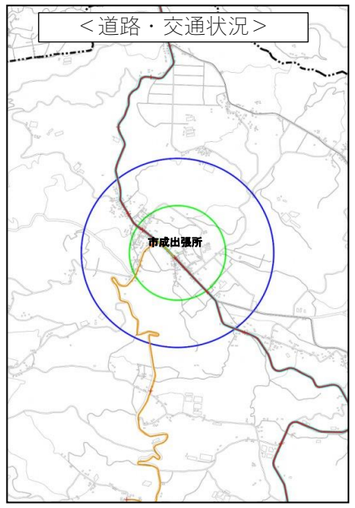
凡例
- 60人/ha以上
- 50人/ha以上-60人/ha未満
- 40人/ha以上-50人/ha未満
- 30人/ha以上-40人/ha未満
- 20人/ha以上-30人/ha未満
- 10人/ha以上-20人/ha未満
- 5人/ha以上-10人/ha未満
- 5人/ha未満
- 500m
- 1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

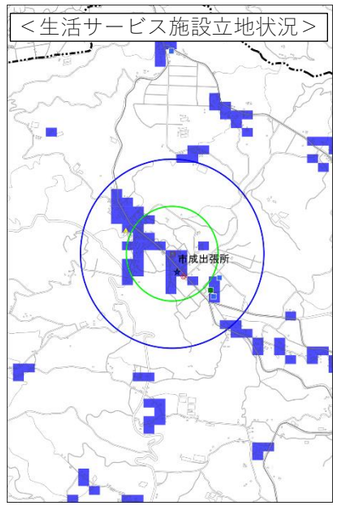




■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



- バス停
- 輝北地区くるりんバス
- 路線バス
- 鹿児島空港連絡バス



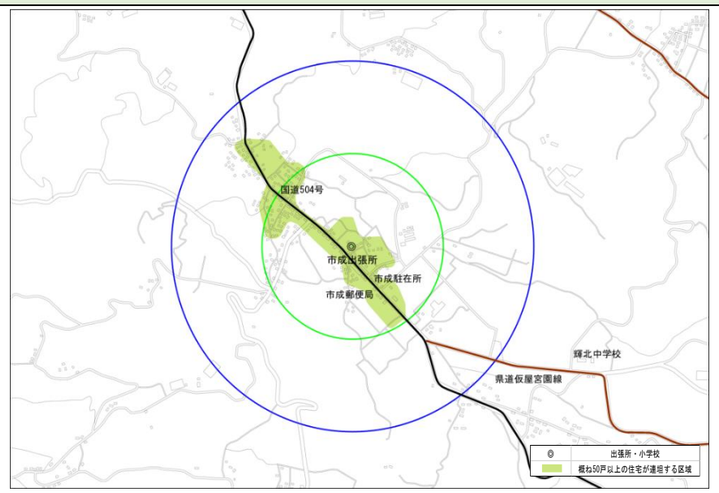
凡例
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 商業施設（スーパー）
- 商業施設（コンビニ）
- 金融機関
- 公共施設

凡例（人口増減率）
- 30%以上減少
- 20～30%未満減少
- 10～20%未満減少
- 0～10%未満減少
- 0～10%未満増加
- 10～20%未満増加
- 20～30%未満増加
- 30%以上増加

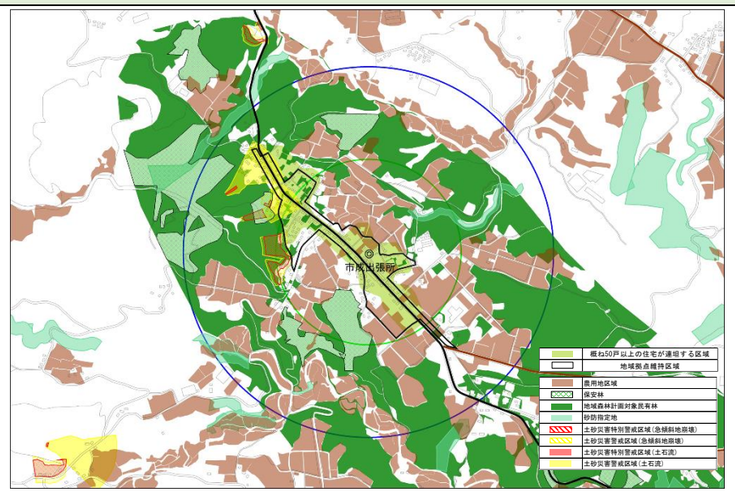
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	1	0	0.9	0.4
高齢者福祉施設	4	0	0.5	0.3
子育て支援施設	1	0	0.1	0.0
商業施設(全体)	1	0	1.6	0.7
商業地域(スーパー)	0	0	0.0	0.0
商業地域(コンビニ)	1	1	1.6	0.7
金融施設	1	1	1.5	0.7
公共施設	2	2	1.8	0.8

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

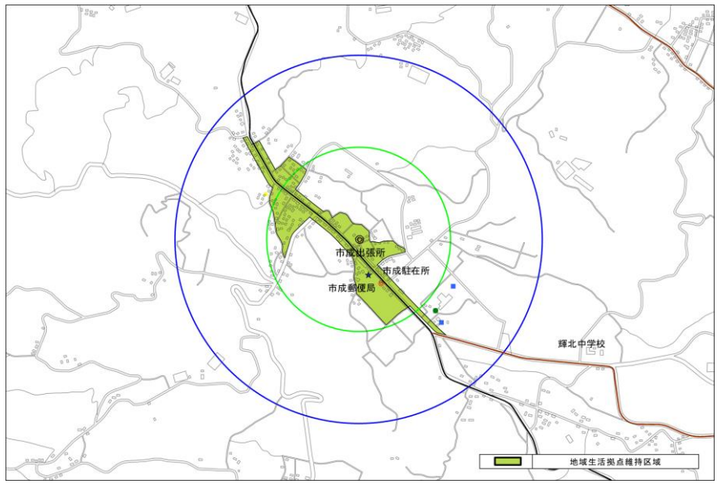
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

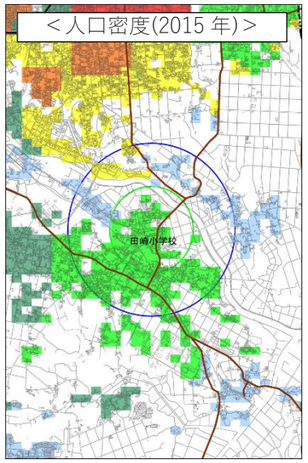


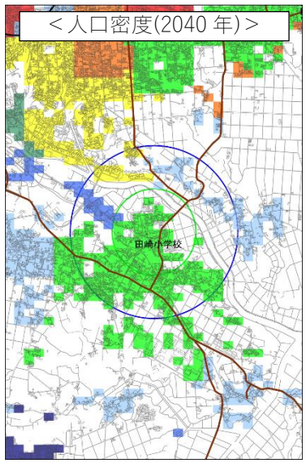
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

9 田崎・川西地区

■人口関係

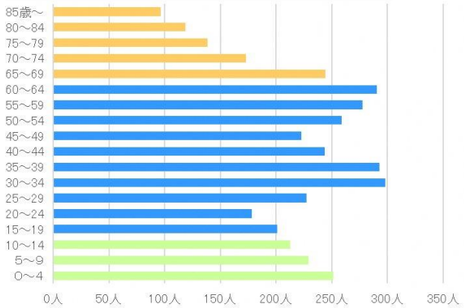




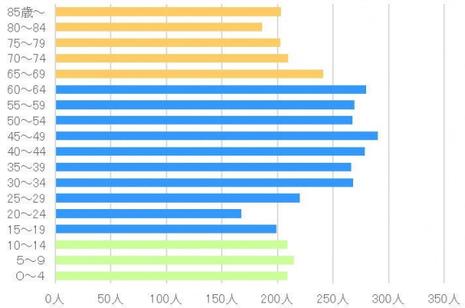
凡例
- 60人/ha以上
- 50人/ha以上-60人/ha未満
- 40人/ha以上-50人/ha未満
- 30人/ha以上-40人/ha未満
- 20人/ha以上-30人/ha未満
- 10人/ha以上-20人/ha未満
- 5人/ha以上-10人/ha未満
- 5人/ha未満
- 500m
- 1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

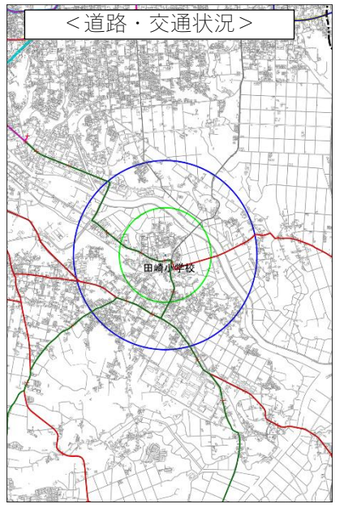
＜人口ピラミッド(2015 年) 3,953 人＞



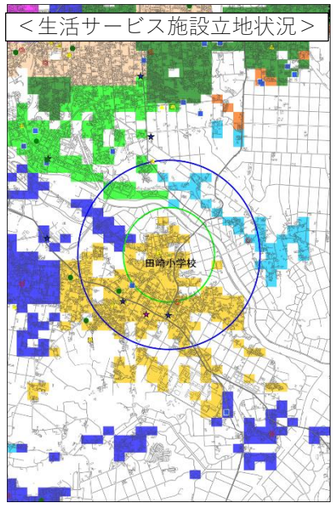
＜人口ピラミッド(2040 年) 4,182 人＞



■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



- バス停
- かのやくるりんバス
- 串良地区くるりんバス
- 大姶良地区くるりんバス
- 路線バス
- 鹿児島中央駅直行バス
- 鹿児島空港連絡バス



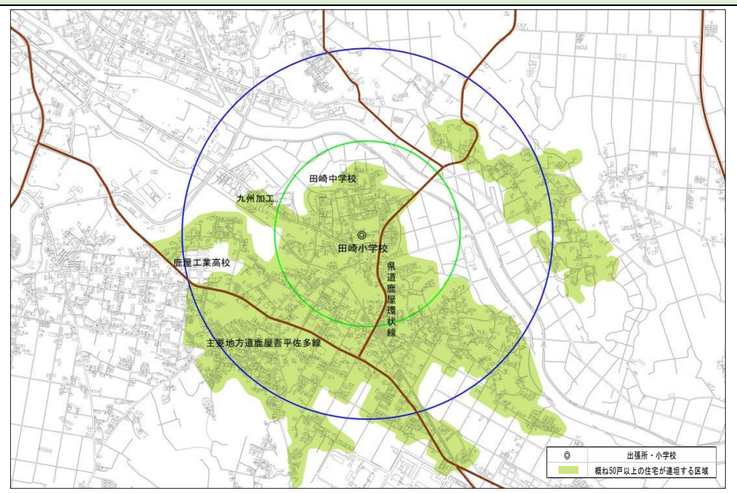
凡例
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 商業施設（スーパー）
- 商業施設（コンビニ）
- 金融機関
- 公共施設

凡例（人口増減率）
- 30%以上減少
- 20～30%未満減少
- 10～20%未満減少
- 0～10%未満減少
- 0～10%未満増加
- 10～20%未満増加
- 20～30%未満増加
- 30%以上増加

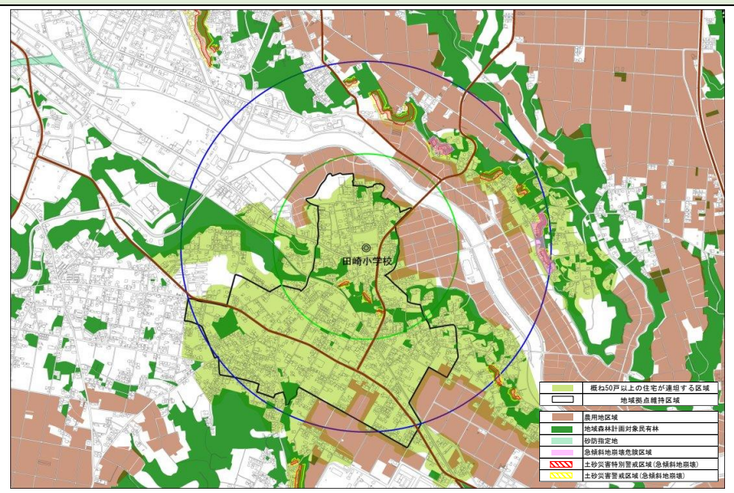
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	13	1	23.0	22.4
高齢者福祉施設	24	1	4.6	6.5
子育て支援施設	19	3	1.5	1.1
商業施設（全体）	16	0	21.6	21.5
商業地域（スーパー）	5	1	22.6	22.3
商業地域（コンビニ）	11	2	21.8	21.8
金融施設	12	1	16.7	16.0
公共施設	2	0	15.8	15.5

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

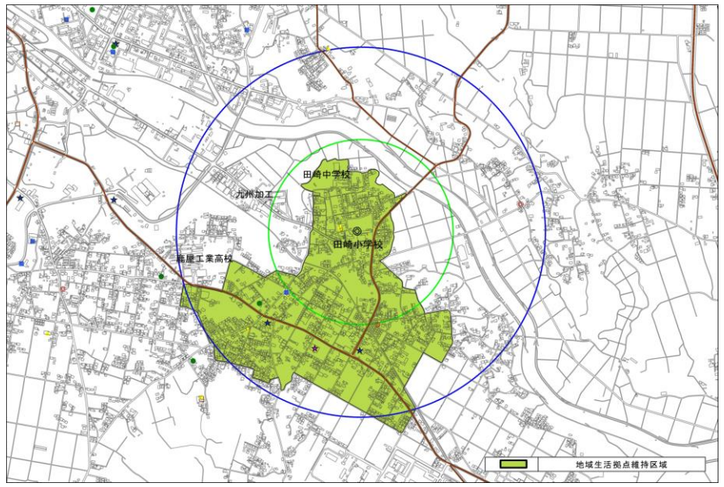
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）



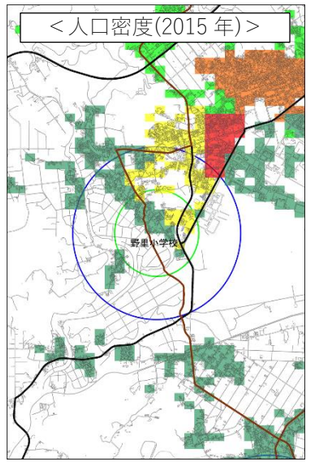
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

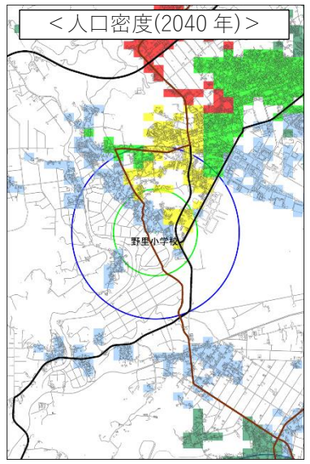
10 上野地区

■人口関係

＜人口密度(2015 年)＞



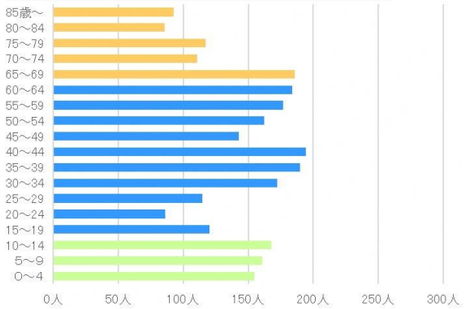
＜人口密度(2040 年)＞



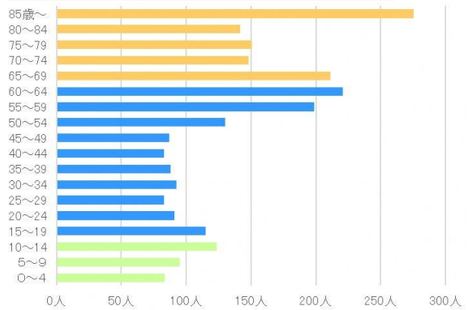
凡例
60人/ha以上
50人/ha以上-60人/ha未満
40人/ha以上-50人/ha未満
30人/ha以上-40人/ha未満
20人/ha以上-30人/ha未満
10人/ha以上-20人/ha未満
5人/ha以上-10人/ha未満
5人/ha未満
500m
1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

＜人口ピラミッド(2015 年) 2,618 人＞

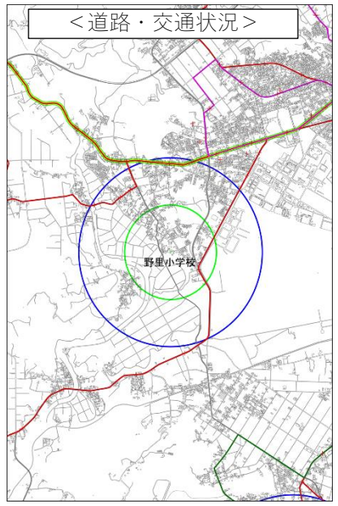


＜人口ピラミッド(2040 年) 2,416 人＞



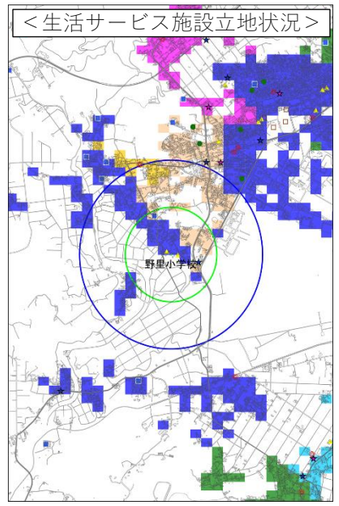
■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況

＜道路・交通状況＞



+	バス停
	かのやくるりんバス
	大姶良地区くるりんバス
	路線バス
	鹿児島中央駅直行バス
	乗合タクシー

＜生活サービス施設立地状況＞



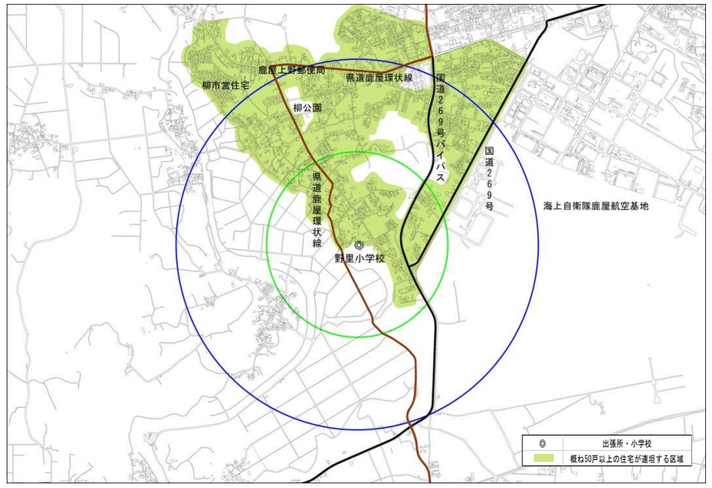
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

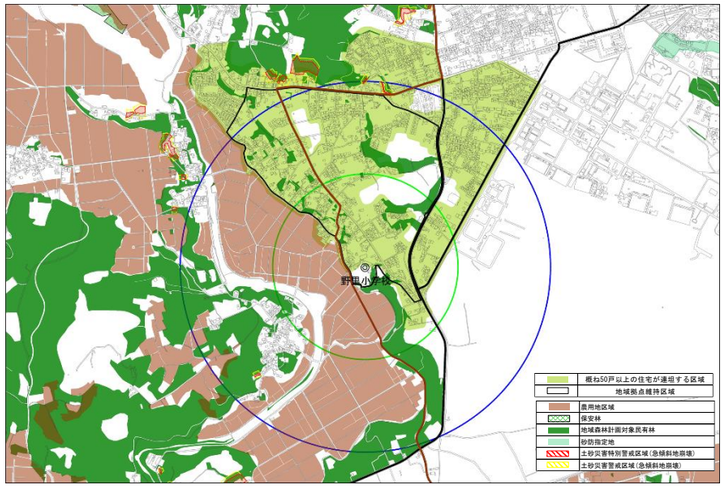
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	6	0	20.5	17.4
高齢者福祉施設	15	1	2.8	3.7
子育て支援施設	12	1	1.3	0.7
商業施設(全体)	11	0	12.6	11.6
商業地域(スーパー)	4	0	18.5	15.7
商業地域(コンビニ)	7	0	12.2	11.6
金融施設	9	1	13.9	12.2
公共施設	4	0	29.9	21.3

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

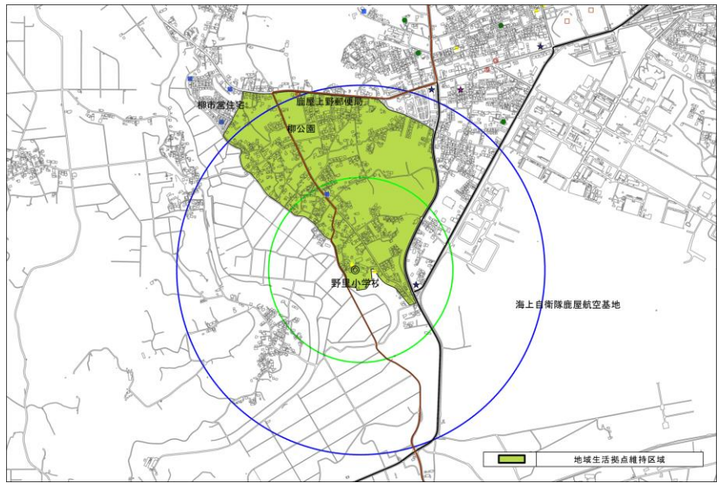
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

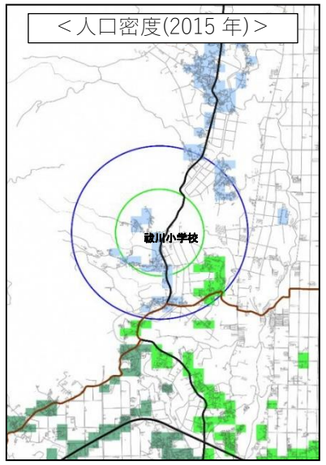


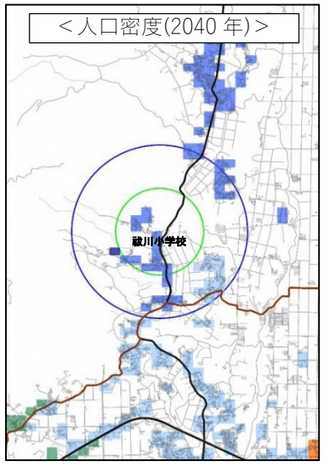
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

11 祓川地区

■人口関係

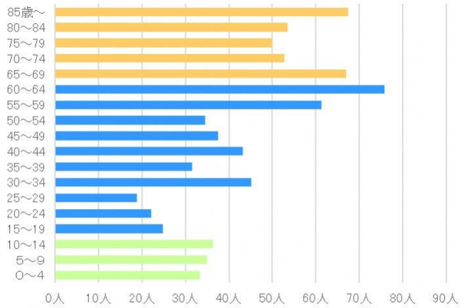




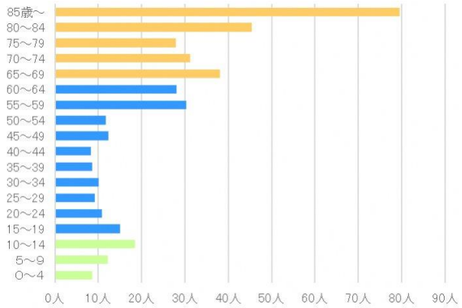
凡例
60人/ha以上
50人/ha以上-60人/ha未満
40人/ha以上-50人/ha未満
30人/ha以上-40人/ha未満
20人/ha以上-30人/ha未満
10人/ha以上-20人/ha未満
5人/ha以上-10人/ha未満
5人/ha未満
500m
1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

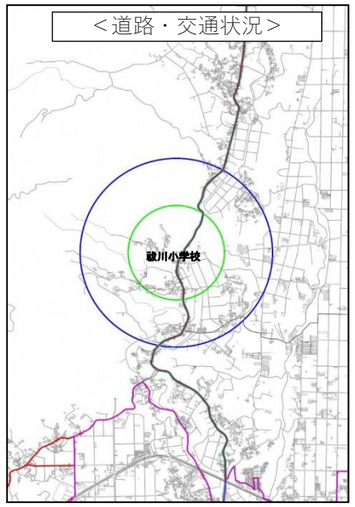
＜人口ピラミッド(2015 年) 790 人＞



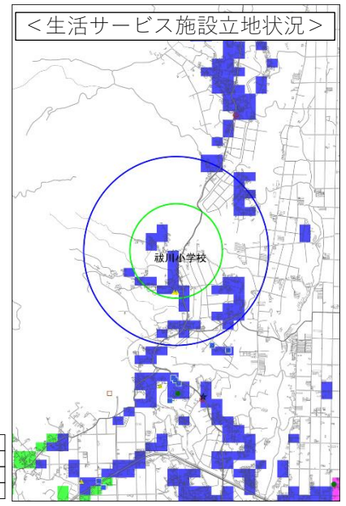
＜人口ピラミッド(2040 年) 406 人＞



■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



+	バス停
	かのやくるりんバス
	路線バス
	鹿児島空港連絡バス



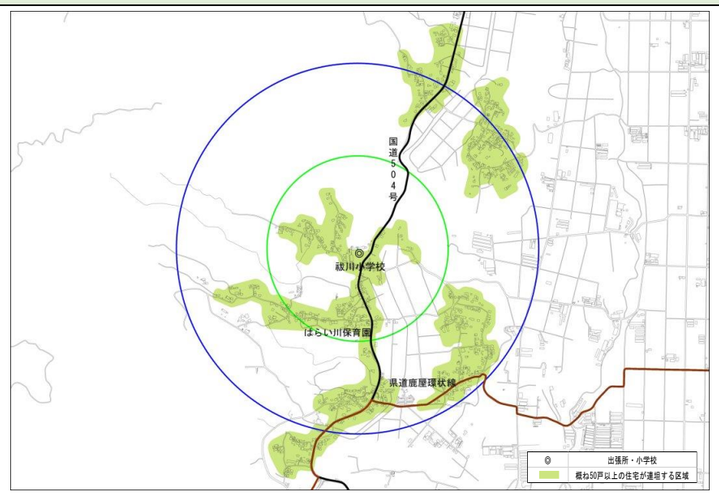
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

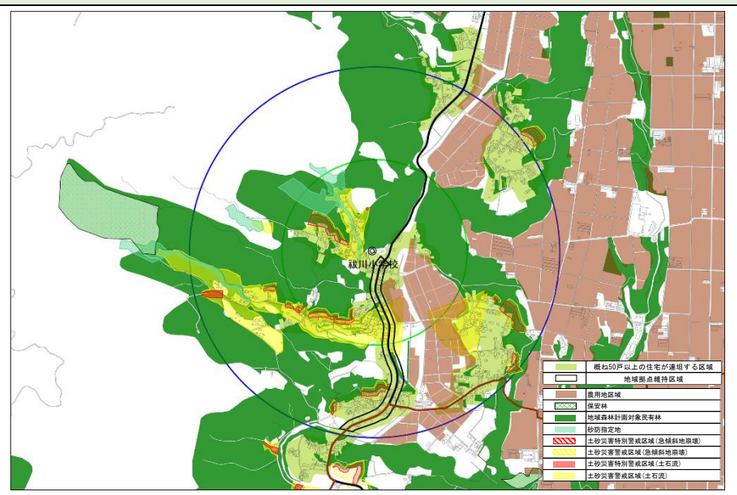
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	2	0	9.5	11.0
高齢者福祉施設	9	0	1.7	1.7
子育て支援施設	4	0	0.2	0.1
商業施設（全体）	1	0	5.9	3.3
商業地域（スーパー）	0	0	0.0	0.0
商業地域（コンビニ）	1	0	5.9	3.3
金融施設	2	0	4.4	2.3
公共施設	1	0	2.9	1.7

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

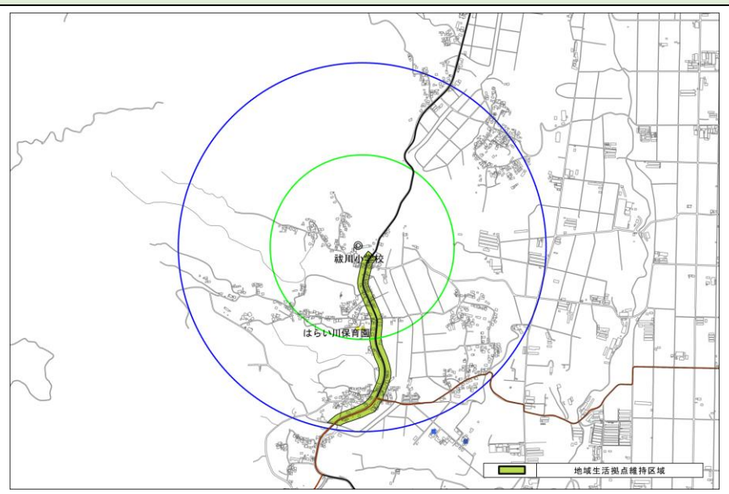
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

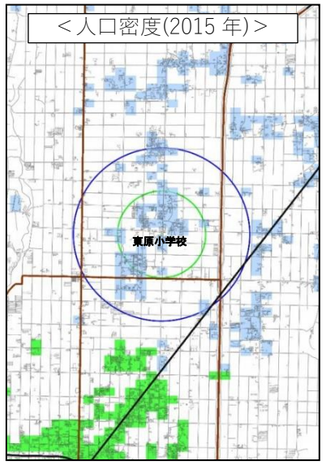


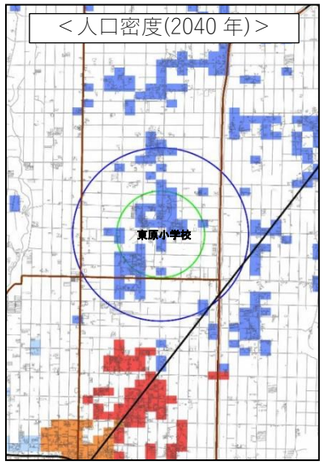
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

12 東原地区

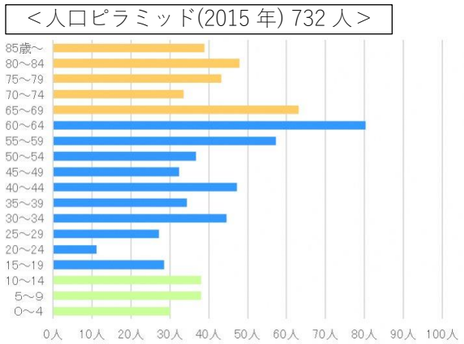
■人口関係

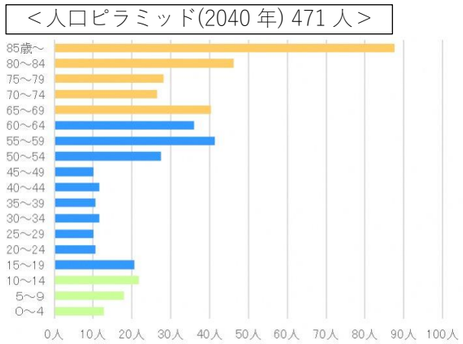




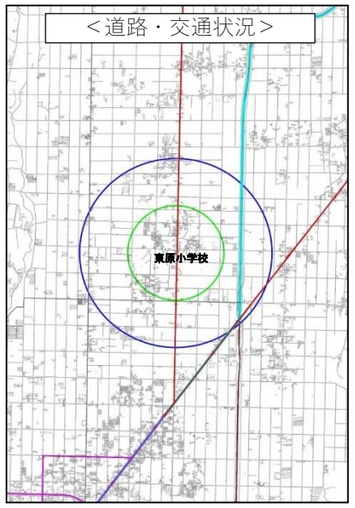
凡例
- 60人/ha以上
- 50人/ha以上-60人/ha未満
- 40人/ha以上-50人/ha未満
- 30人/ha以上-40人/ha未満
- 20人/ha以上-30人/ha未満
- 10人/ha以上-20人/ha未満
- 5人/ha以上-10人/ha未満
- 5人/ha未満
- 500m
- 1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

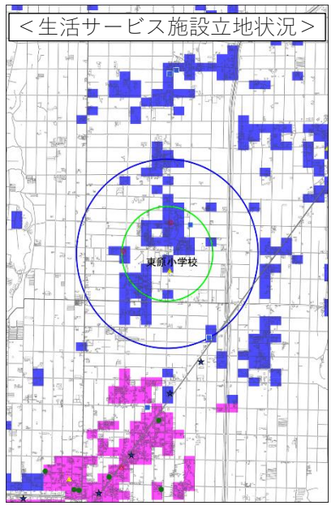




■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



- バス停
- かのやくるりんバス
- 路線バス
- 鹿児島空港連絡バス



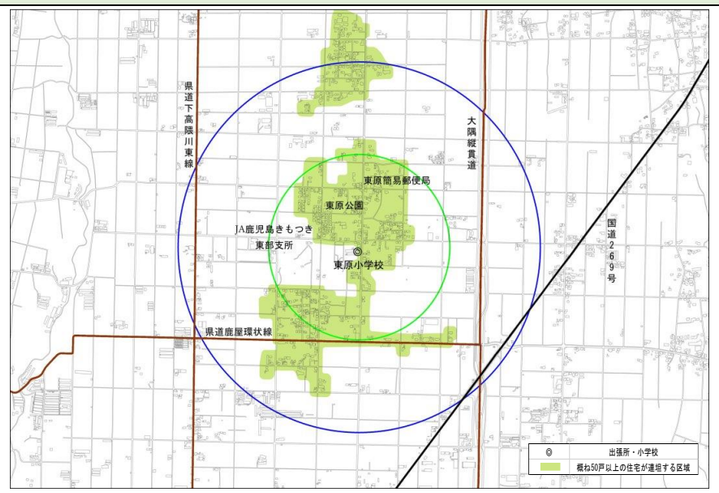
凡例
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 商業施設（スーパー）
- 商業施設（コンビニ）
- 金融機関
- 公共施設

凡例（人口増減率）
- 30%以上減少
- 20～30%未満減少
- 10～20%未満減少
- 0～10%未満減少
- 0～10%未満増加
- 10～20%未満増加
- 20～30%未満増加
- 30%以上増加

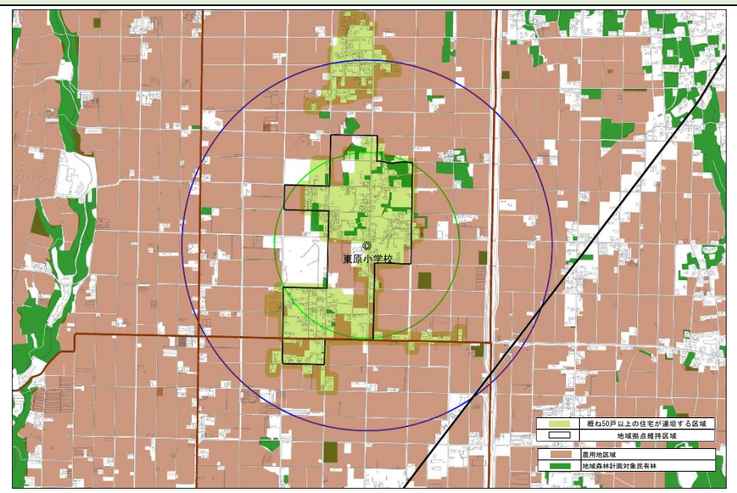
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	6	0	12.3	17.8
高齢者福祉施設	5	0	1.3	2.4
子育て支援施設	4	1	0.6	0.5
商業施設(全体)	4	0	11.8	17.1
商業地域(スーパー)	0	0	0.0	0.0
商業地域(コンビニ)	4	0	11.8	17.1
金融施設	3	1	8.3	11.7
公共施設	0	0	0.0	0.0

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

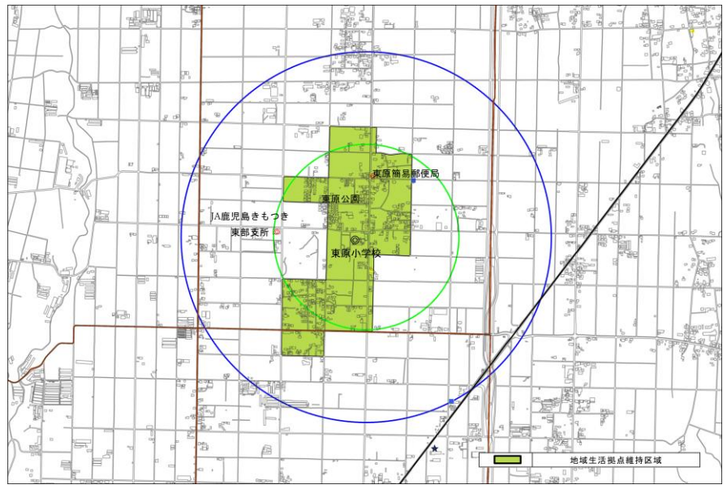
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

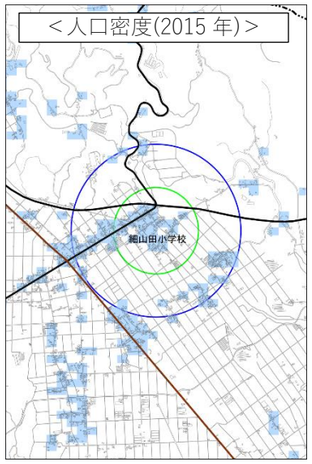


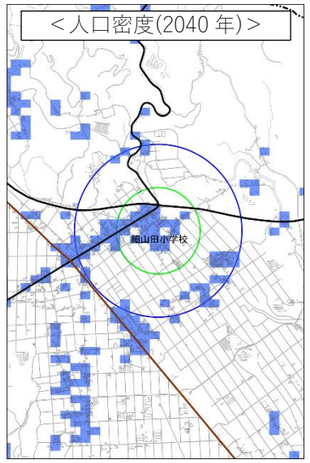
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

13 細山田地区

■人口関係

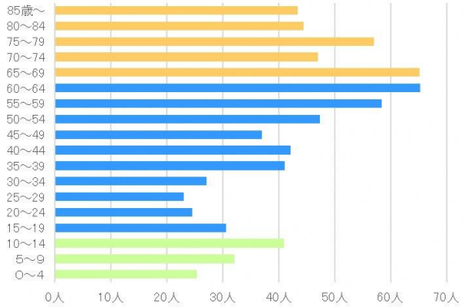




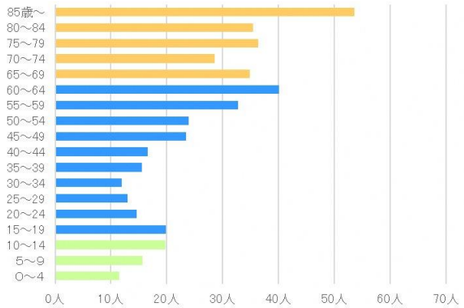
凡例
60人/ha以上
50人/ha以上-60人/ha未満
40人/ha以上-50人/ha未満
30人/ha以上-40人/ha未満
20人/ha以上-30人/ha未満
10人/ha以上-20人/ha未満
5人/ha以上-10人/ha未満
5人/ha未満
500m
1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

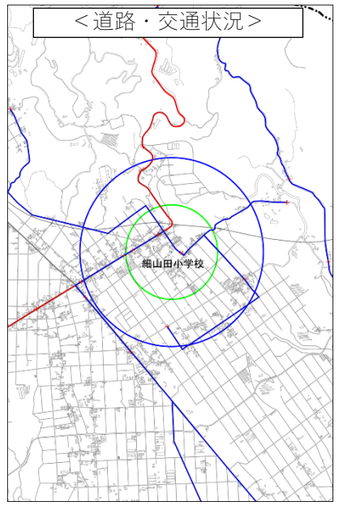
＜人口ピラミッド(2015 年) 751 人＞



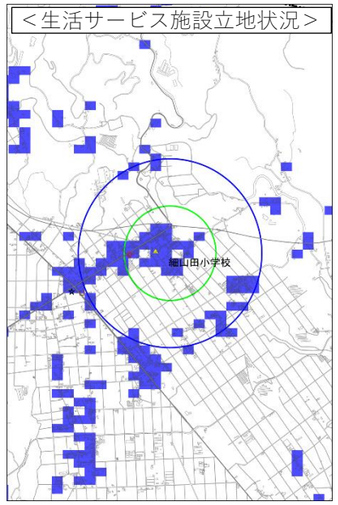
＜人口ピラミッド(2040 年) 447 人＞



■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



+	バス停
	串良地区くるりんバス
	路線バス



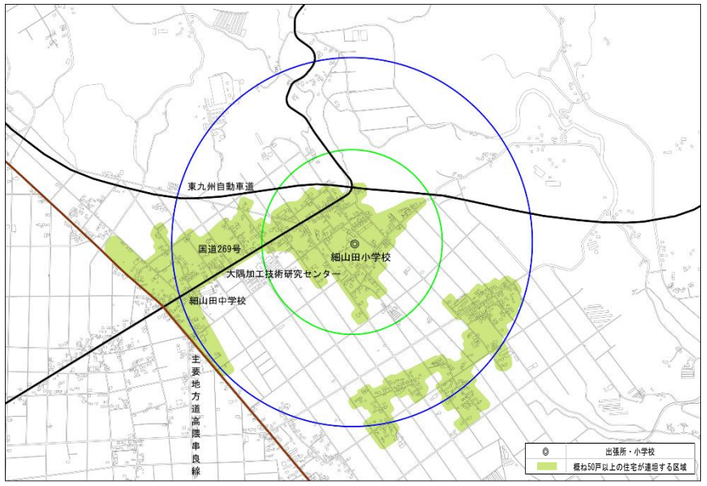
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

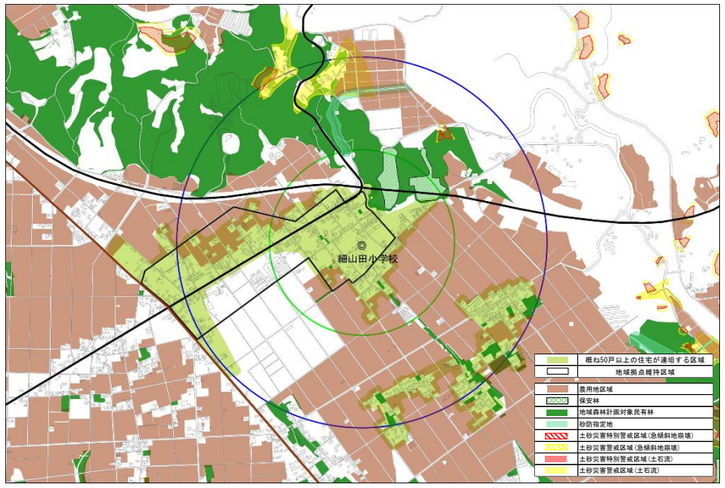
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	0	0	0.0	0.0
高齢者福祉施設	0	0	0.0	0.0
子育て支援施設	2	2	0.2	0.1
商業施設（全体）	1	0	2.5	1.5
商業地域（スーパー）	0	0	0.0	0.0
商業地域（コンビニ）	1	0	2.5	1.5
金融施設	1	1	3.1	1.8
公共施設	1	1	2.7	1.6

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

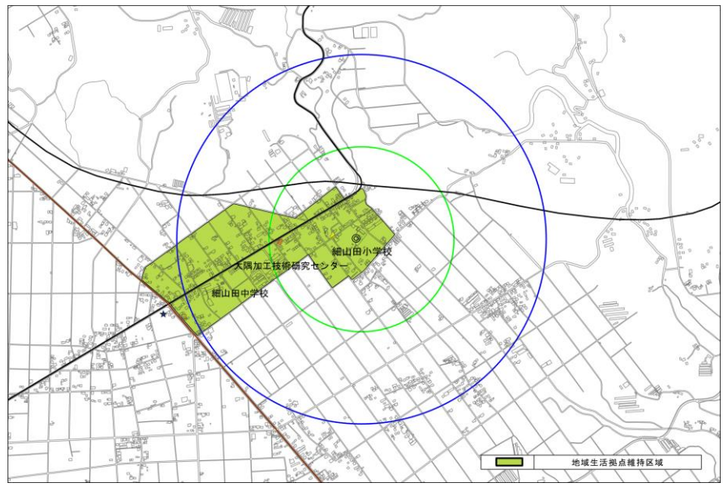
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

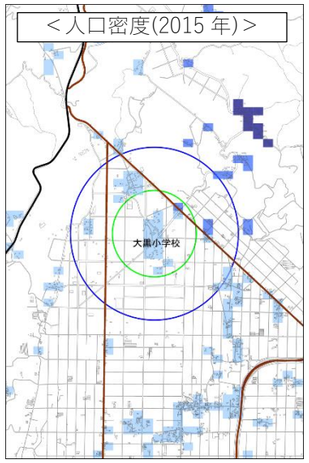


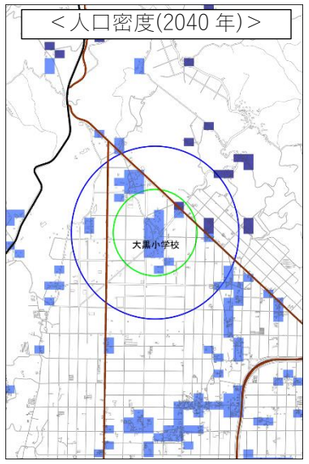
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

14 下高隈地区

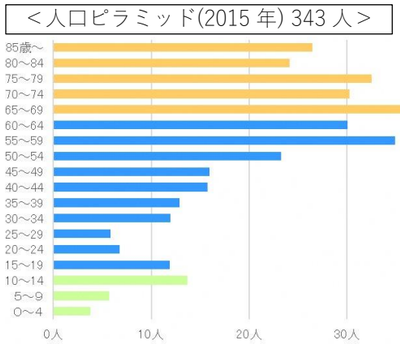
■人口関係

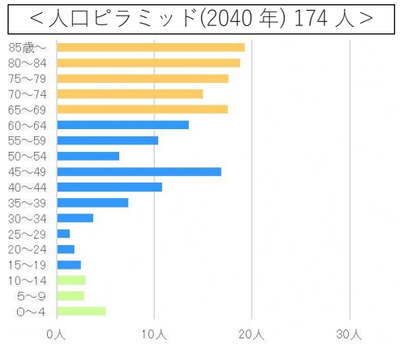




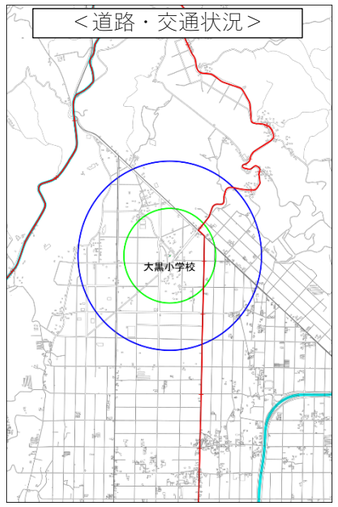
凡例
- 60人/ha以上
- 50人/ha以上-60人/ha未満
- 40人/ha以上-50人/ha未満
- 30人/ha以上-40人/ha未満
- 20人/ha以上-30人/ha未満
- 10人/ha以上-20人/ha未満
- 5人/ha以上-10人/ha未満
- 5人/ha未満
- 500m
- 1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

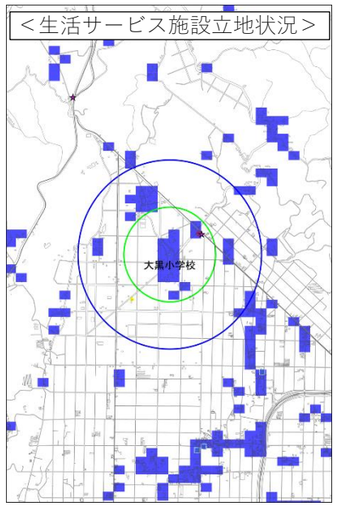




■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



- バス停
- 路線バス
- 鹿児島空港連絡バス



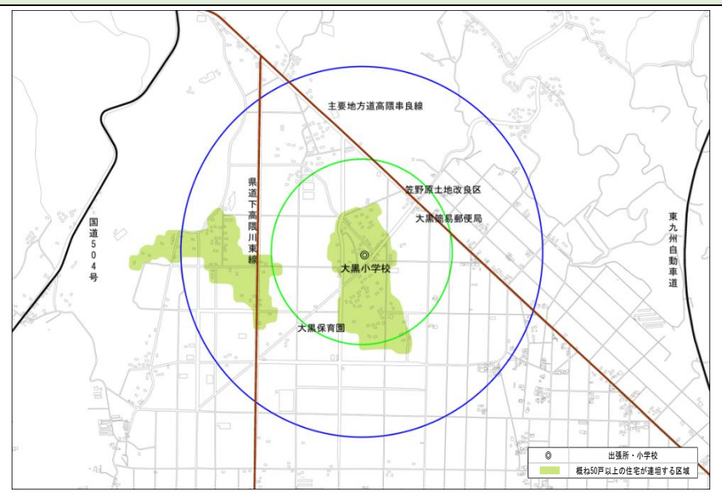
凡例
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 商業施設（スーパー）
- 商業施設（コンビニ）
- 金融機関
- 公共施設

凡例（人口増減率）
- 30%以上減少
- 20～30%未満減少
- 10～20%未満減少
- 0～10%未満減少
- 0～10%未満増加
- 10～20%未満増加
- 20～30%未満増加
- 30%以上増加

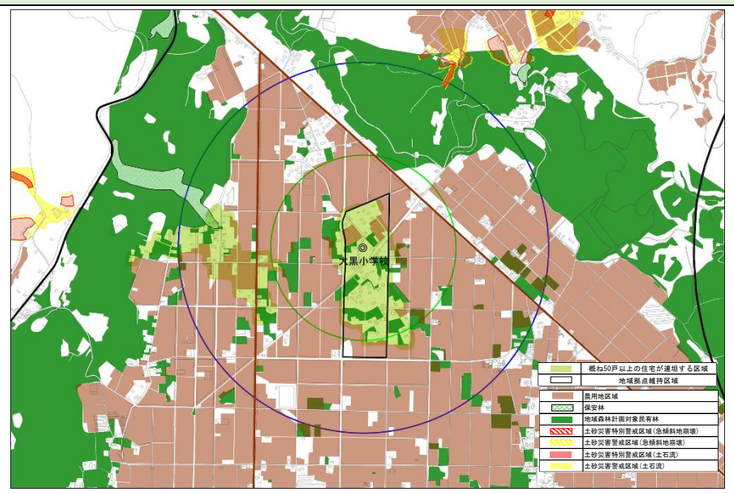
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	0	0	0.0	0.0
高齢者福祉施設	3	0	0.9	0.7
子育て支援施設	1	0	0.0	0.0
商業施設（全体）	2	0	0.9	0.4
商業地域（スーパー）	2	0	0.9	0.4
商業地域（コンビニ）	0	0	0.0	0.0
金融施設	1	0	1.5	0.7
公共施設	0	0	0.0	0.0

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

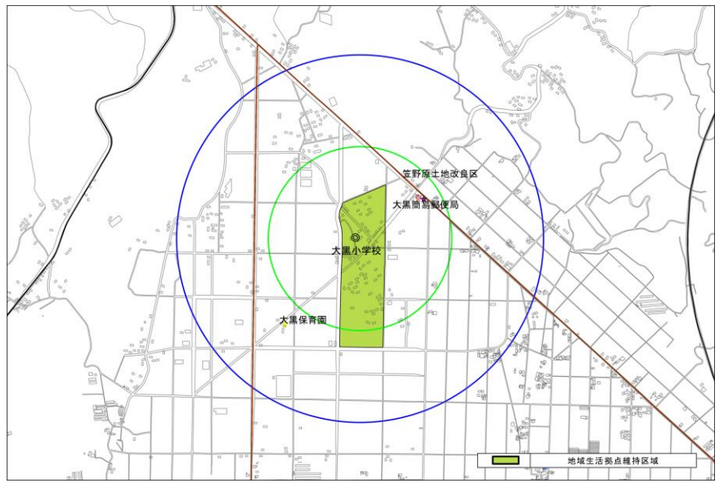
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

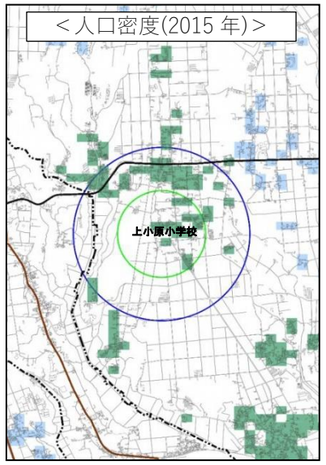


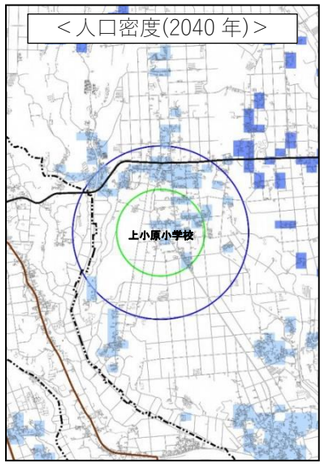
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

15 上小原地区

■人口関係

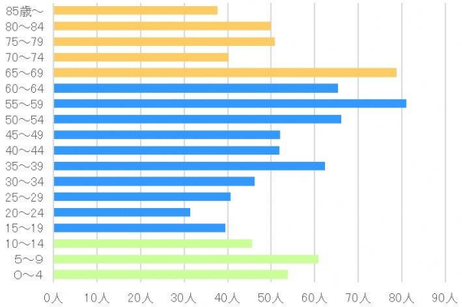




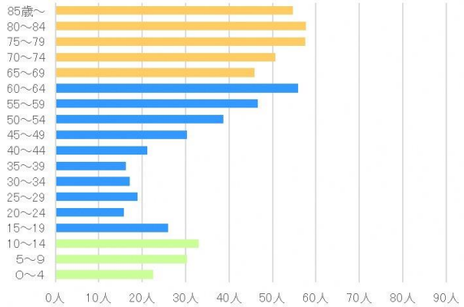
凡例
60人/ha以上
50人/ha以上-60人/ha未満
40人/ha以上-50人/ha未満
30人/ha以上-40人/ha未満
20人/ha以上-30人/ha未満
10人/ha以上-20人/ha未満
5人/ha以上-10人/ha未満
5人/ha未満
500m
1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

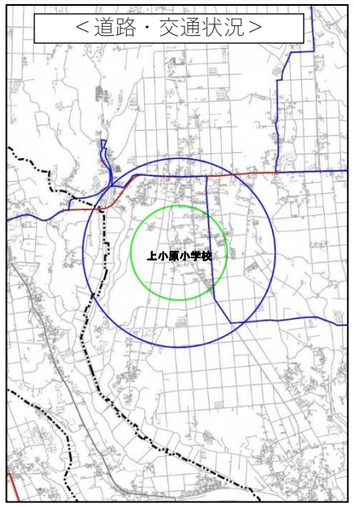
＜人口ピラミッド(2015 年) 954 人＞



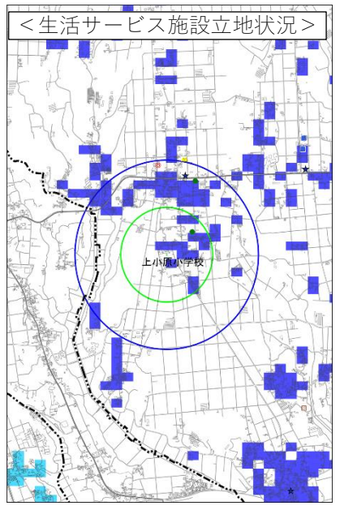
＜人口ピラミッド(2040 年) 639 人＞



■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



+	バス停
━	串良地区くるりんバス
━	路線バス



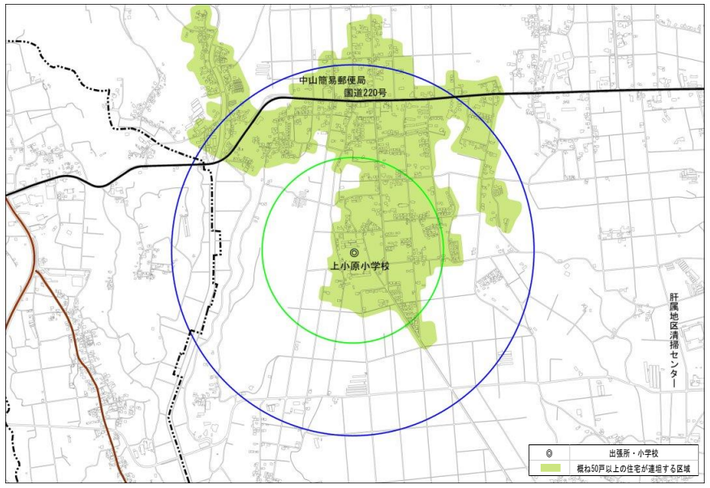
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

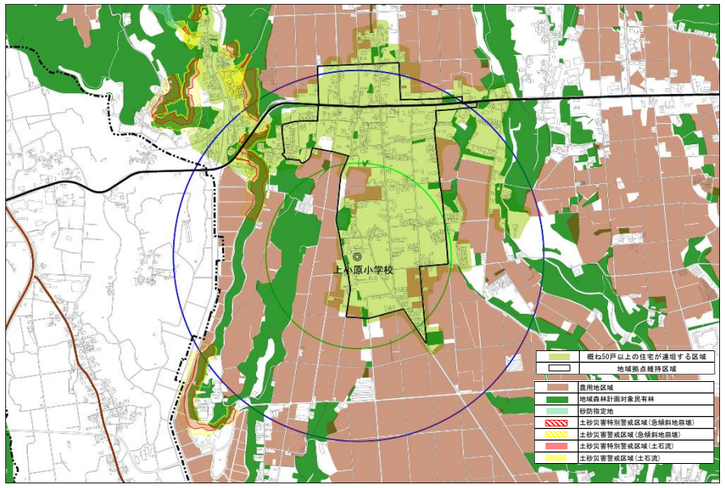
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度(人/ha)	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	2	2	3.5	2.3
高齢者福祉施設	3	0	0.8	0.7
子育て支援施設	2	2	0.3	0.1
商業施設(全体)	3	0	3.9	2.5
商業地域(スーパー)	0	0	0.0	0.0
商業地域(コンビニ)	3	1	3.9	2.5
金融施設	1	1	4.1	2.8
公共施設	1	0	4.2	2.8

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

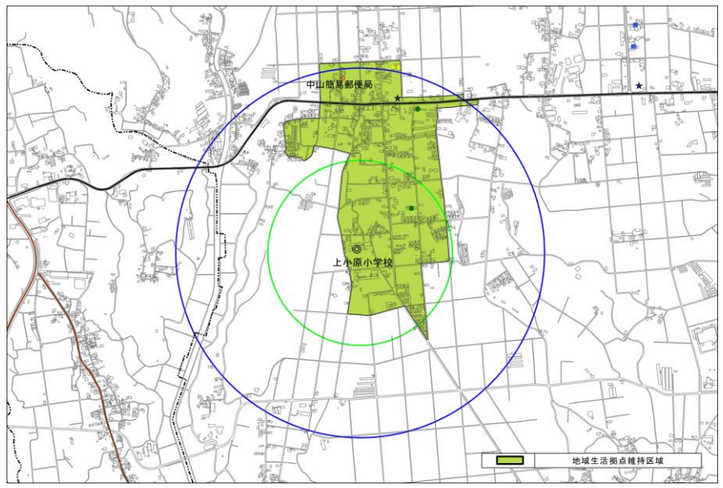
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

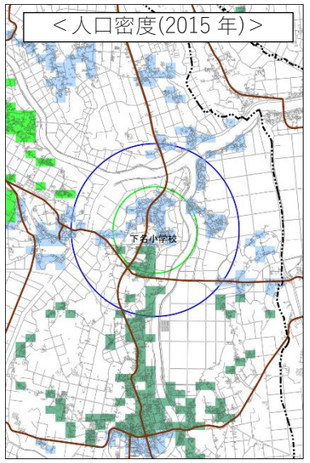


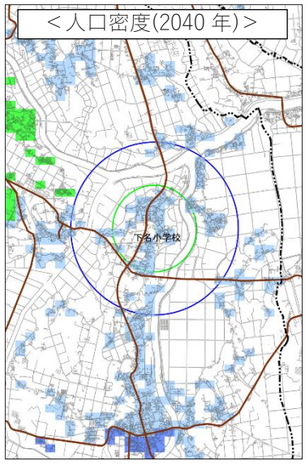
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

16 下名地区

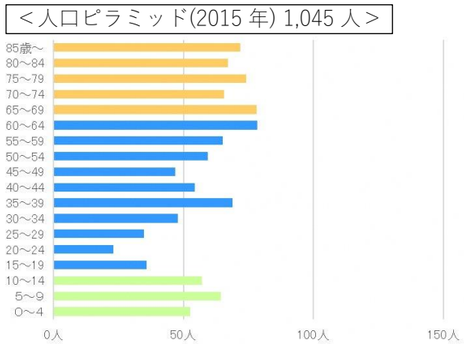
■人口関係

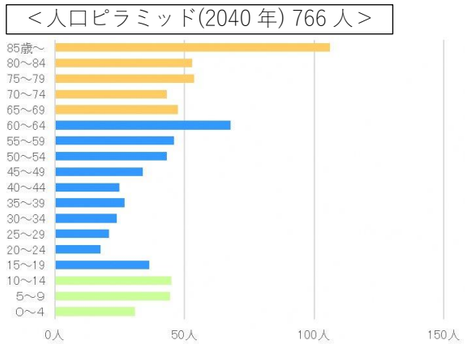




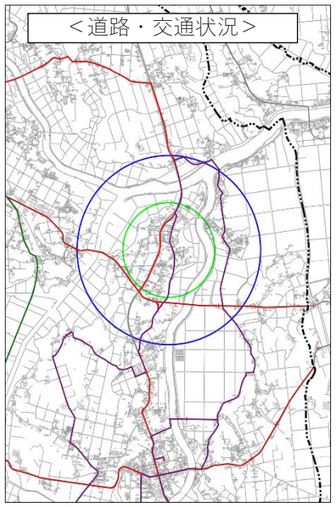
凡例
- 60人/ha以上
- 50人/ha以上-60人/ha未満
- 40人/ha以上-50人/ha未満
- 30人/ha以上-40人/ha未満
- 20人/ha以上-30人/ha未満
- 10人/ha以上-20人/ha未満
- 5人/ha以上-10人/ha未満
- 5人/ha未満
- 500m
- 1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

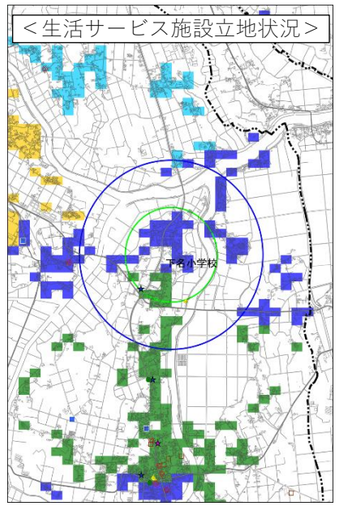




■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



- バス停
- 吾平地区くるりんバス
- 大姶良地区くるりんバス
- 路線バス



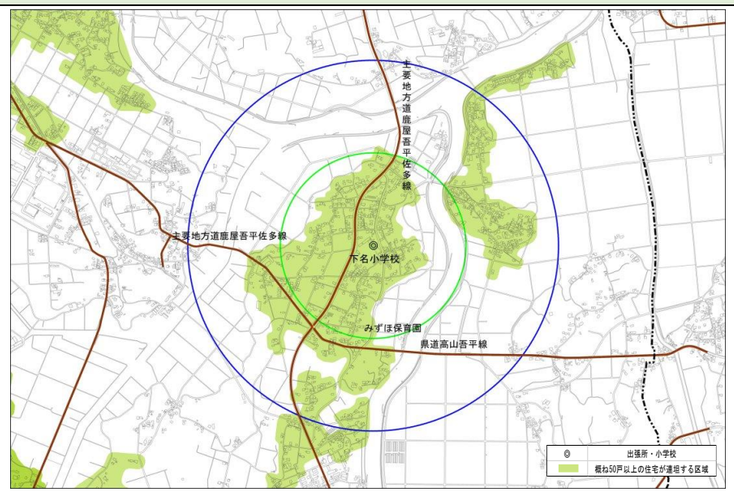
凡例
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 商業施設（スーパー）
- 商業施設（コンビニ）
- 金融機関
- 公共施設

凡例（人口増減率）
- 30%以上減少
- 20～30%未満減少
- 10～20%未満減少
- 0～10%未満減少
- 0～10%未満増加
- 10～20%未満増加
- 20～30%未満増加
- 30%以上増加

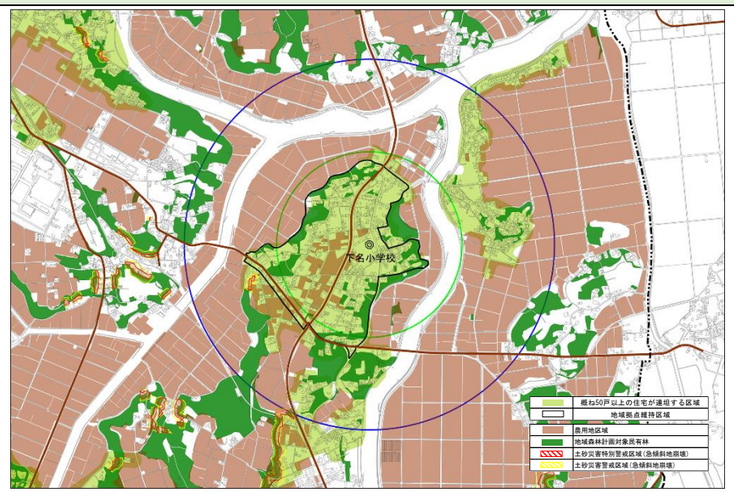
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	1	0	9.0	6.5
高齢者福祉施設	3	0	1.9	2.2
子育て支援施設	3	0	0.4	0.2
商業施設（全体）	4	0	5.6	4.2
商業地域（スーパー）	1	0	8.3	6.3
商業地域（コンビニ）	3	1	5.6	4.2
金融施設	7	0	5.4	4.3
公共施設	5	0	5.2	3.8

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

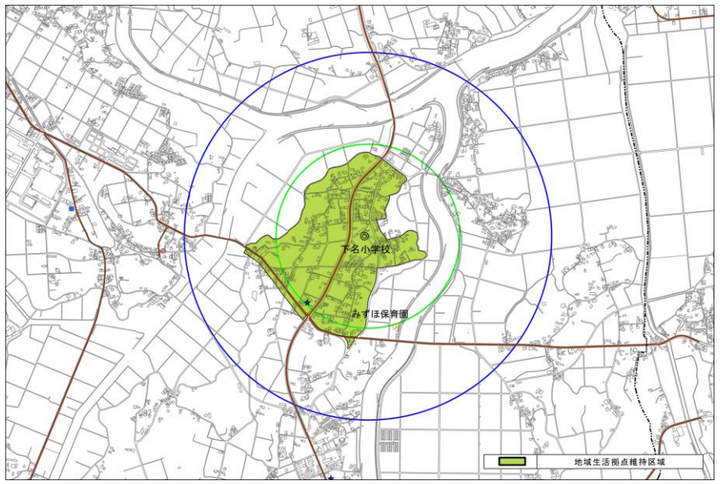
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

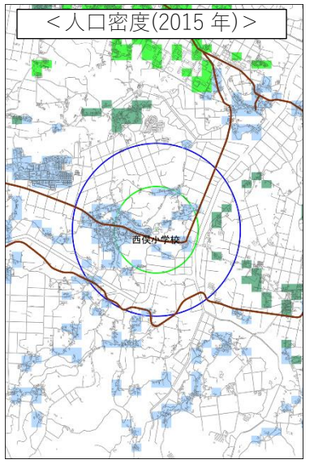


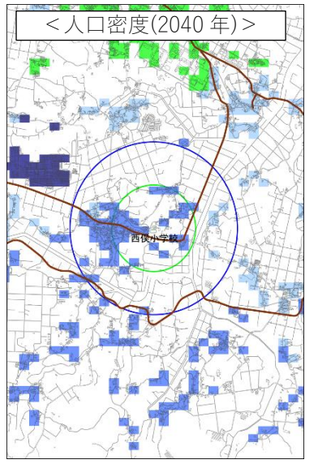
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

17 飯隈地区

■人口関係

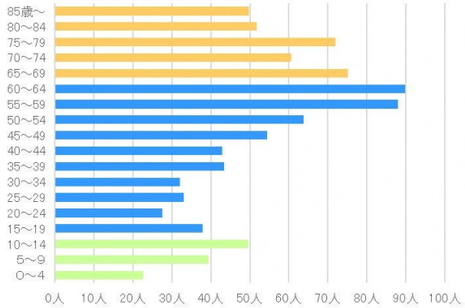




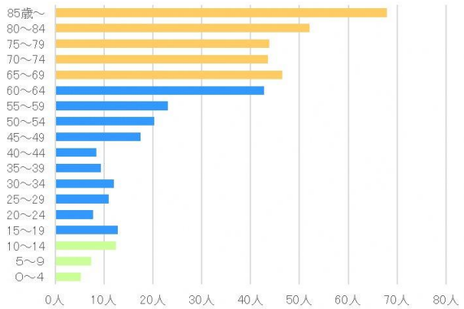
凡例
60人/ha以上
50人/ha以上-60人/ha未満
40人/ha以上-50人/ha未満
30人/ha以上-40人/ha未満
20人/ha以上-30人/ha未満
10人/ha以上-20人/ha未満
5人/ha以上-10人/ha未満
5人/ha未満
500m
1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

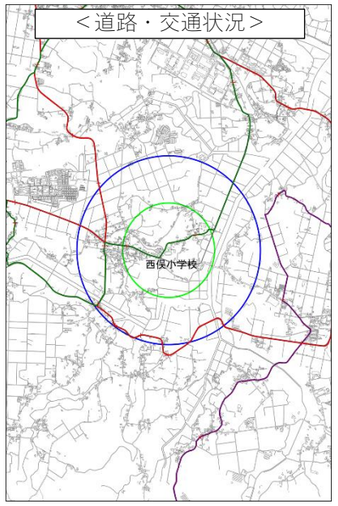
＜人口ピラミッド(2015 年) 934 人＞



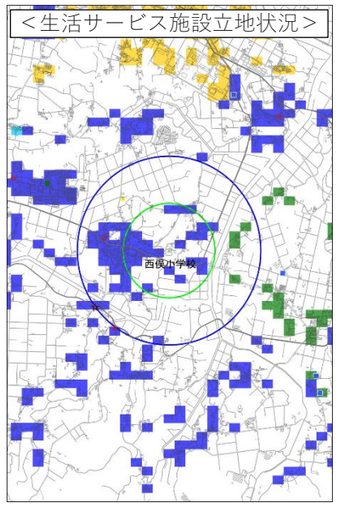
＜人口ピラミッド(2040 年) 444 人＞



■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



+	バス停
	菅平地区くるりんバス
	大姶良地区くるりんバス
	路線バス



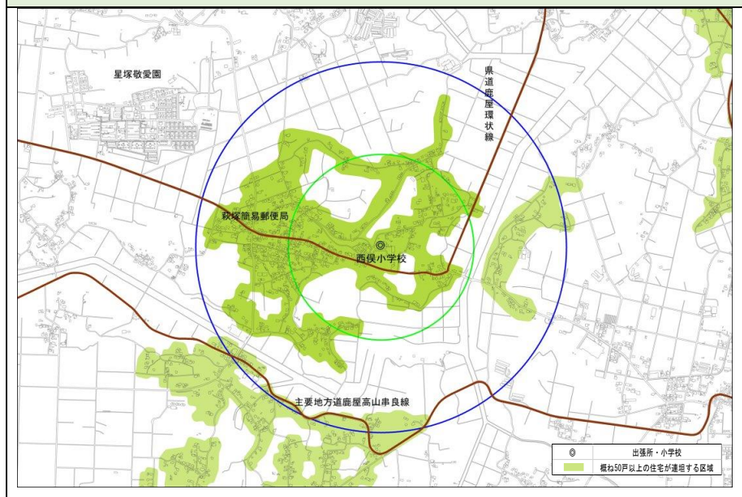
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

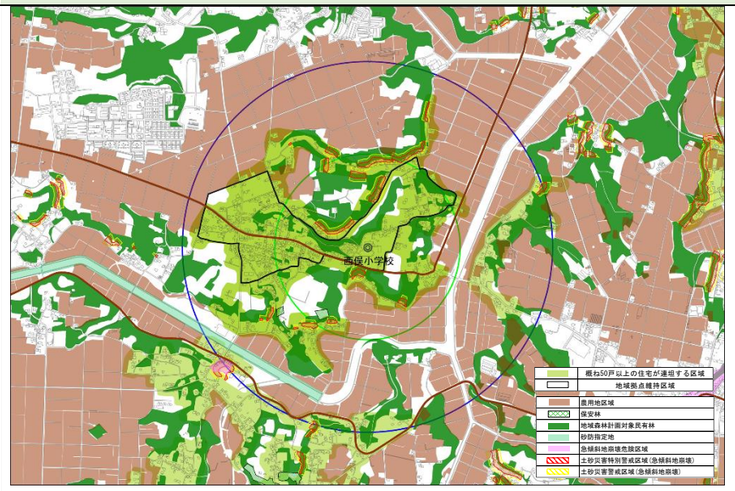
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	1	0	2.2	1.0
高齢者福祉施設	4	0	1.0	1.0
子育て支援施設	2	0	0.3	0.3
商業施設（全体）	1	0	3.5	1.5
商業地域（スーパー）	1	0	3.5	1.5
商業地域（コンビニ）	0	0	0.0	0.0
金融施設	4	1	3.0	1.8
公共施設	1	0	12.1	12.5

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

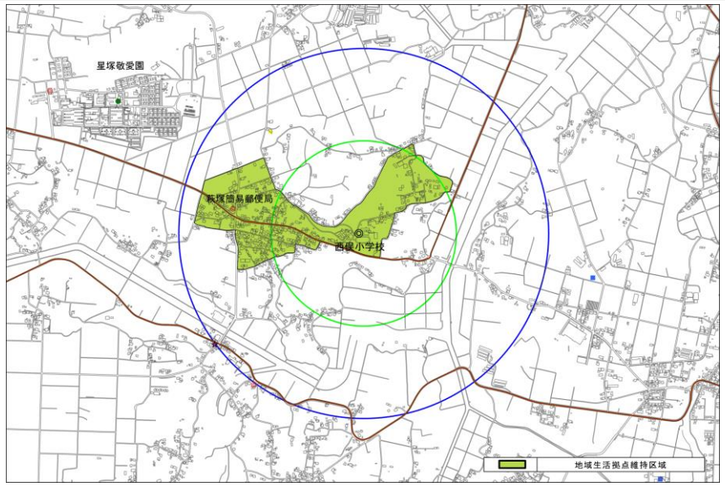
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

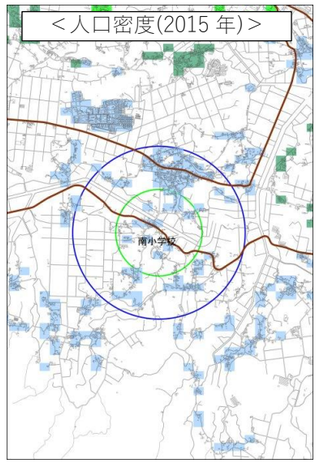


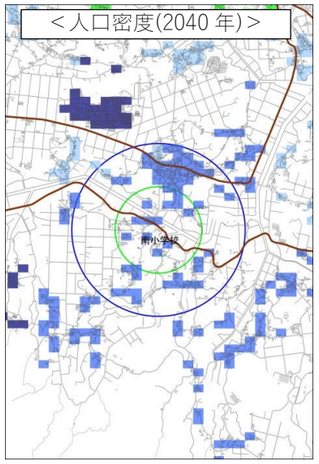
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

18 南地区

■人口関係

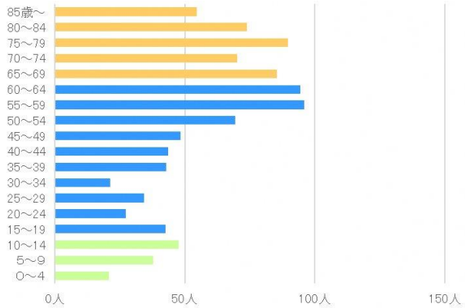




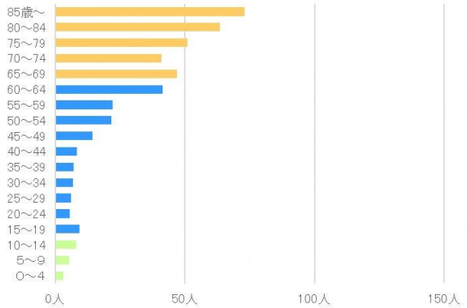
凡例
- 60人/ha以上
- 50人/ha以上-60人/ha未満
- 40人/ha以上-50人/ha未満
- 30人/ha以上-40人/ha未満
- 20人/ha以上-30人/ha未満
- 10人/ha以上-20人/ha未満
- 5人/ha以上-10人/ha未満
- 5人/ha未満
- 500m
- 1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

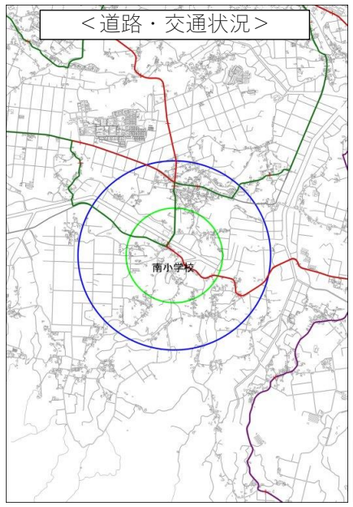
＜人口ピラミッド(2015 年) 999 人＞



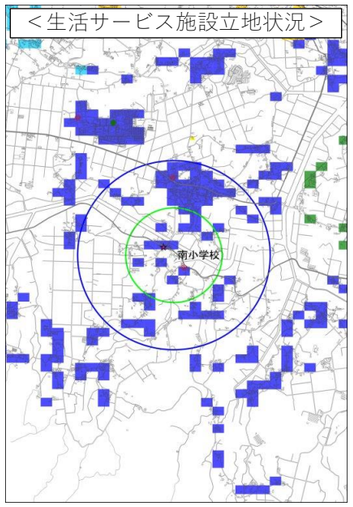
＜人口ピラミッド(2040 年) 436 人＞



■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



- バス停
- 吾平地区くるりんバス
- 大姶良地区くるりんバス
- 路線バス



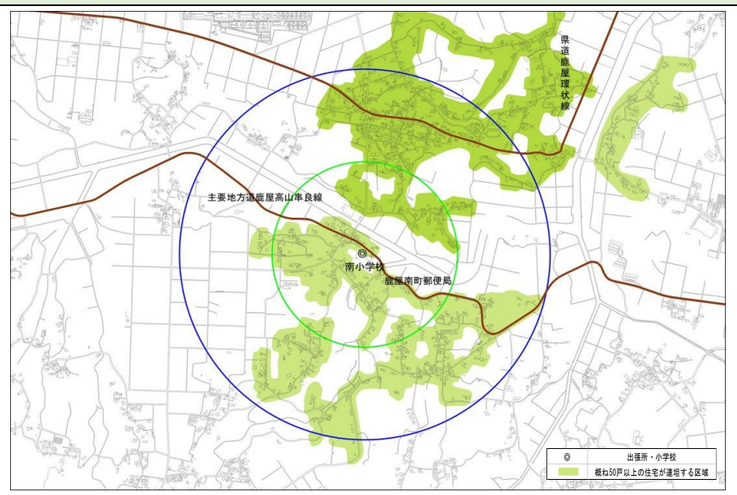
凡例
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 商業施設（スーパー）
- 商業施設（コンビニ）
- 金融機関
- 公共施設

凡例（人口増減率）
- 30%以上減少
- 20～30%未満減少
- 10～20%未満減少
- 0～10%未満減少
- 0～10%未満増加
- 10～20%未満増加
- 20～30%未満増加
- 30%以上増加

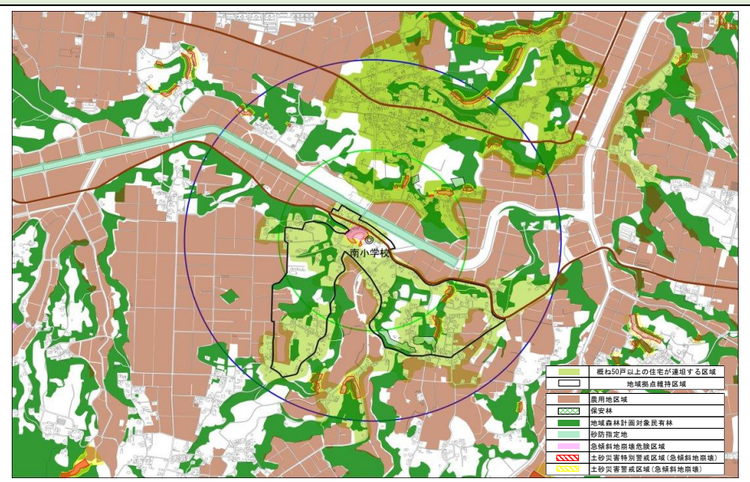
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	1	0	2.2	1.0
高齢者福祉施設	1	0	1.7	1.9
子育て支援施設	1	0	0.0	0.0
商業施設（全体）	1	0	3.5	1.5
商業地域（スーパー）	1	1	3.5	1.5
商業地域（コンビニ）	0	0	0.0	0.0
金融施設	3	1	2.7	1.2
公共施設	0	0	0.0	0.0

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

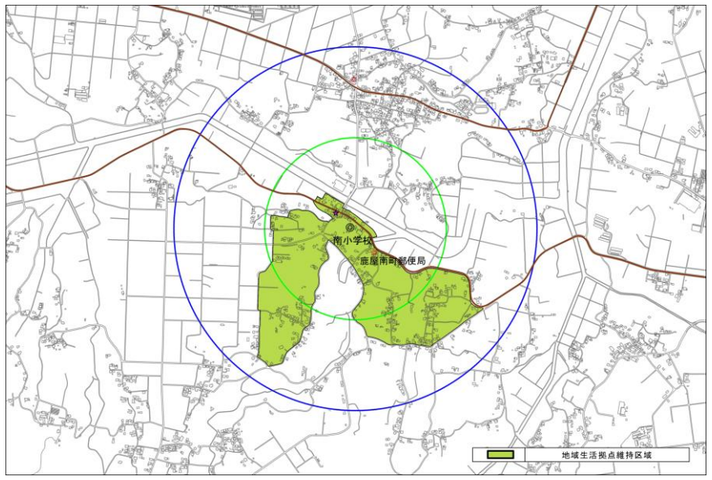
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）

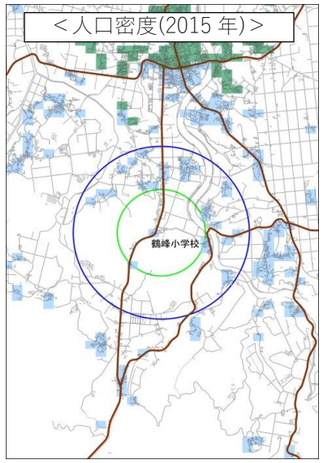


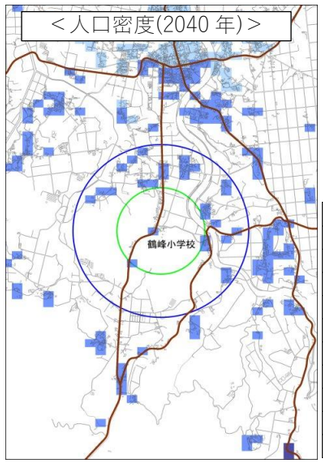
※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。

19 上名地区

■人口関係

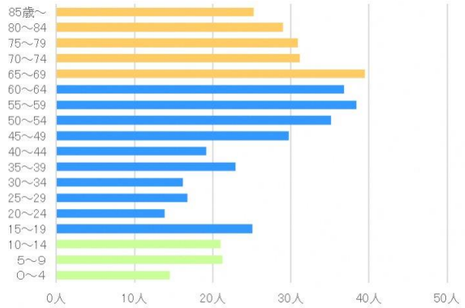




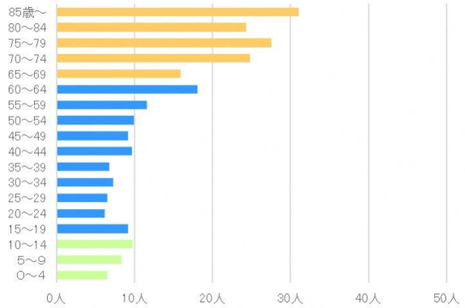
凡例
60人/ha以上
50人/ha以上-60人/ha未満
40人/ha以上-50人/ha未満
30人/ha以上-40人/ha未満
20人/ha以上-30人/ha未満
10人/ha以上-20人/ha未満
5人/ha以上-10人/ha未満
5人/ha未満
500m
1,000m

注 1)
人口ピラミッドは半径 1km に位置するメッシュを合計

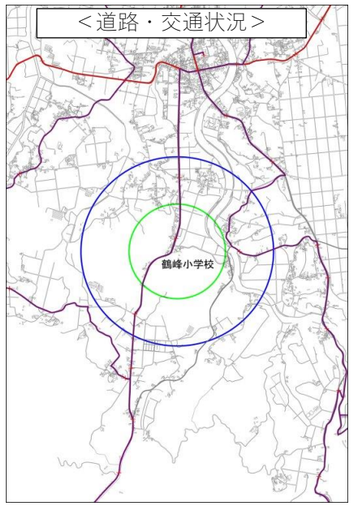
＜人口ピラミッド(2015 年) 467 人＞



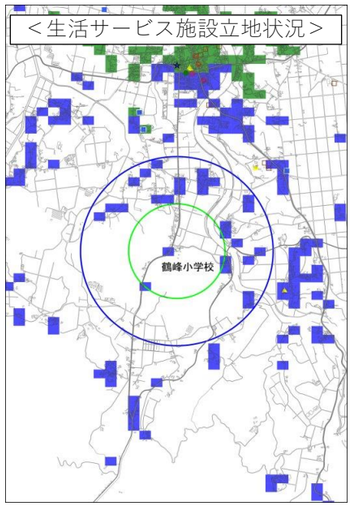
＜人口ピラミッド(2040 年) 243 人＞



■道路・交通状況及び生活サービス施設（医療、福祉、商業等）の立地状況



+	バス停
	吾平地区くるりんバス
	路線バス



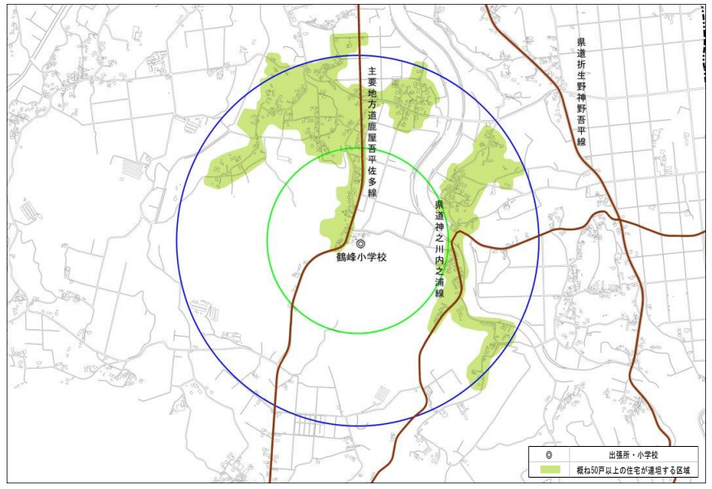
凡例
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
商業施設（スーパー）
商業施設（コンビニ）
金融機関
公共施設

凡例（人口増減率）
30%以上減少
20～30%未満減少
10～20%未満減少
0～10%未満減少
0～10%未満増加
10～20%未満増加
20～30%未満増加
30%以上増加

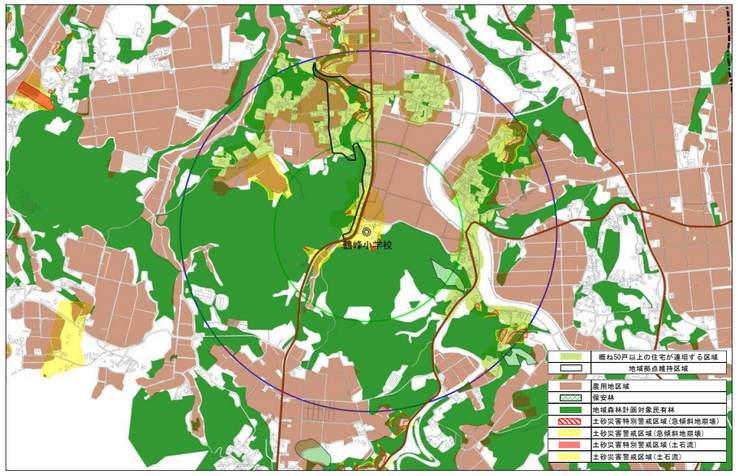
施設	施設数		徒歩圏カバー内人口密度（人/ha）	
	図枠内	地域生活拠点維持区域	2015年	2040年
医療施設	1	0	9.0	6.5
高齢者福祉施設	5	0	1.3	1.4
子育て支援施設	5	0	0.3	0.1
商業施設（全体）	2	0	7.4	5.5
商業地域（スーパー）	1	0	8.3	6.3
商業地域（コンビニ）	1	0	8.5	6.2
金融施設	5	0	7.1	5.2
公共施設	8	0	4.2	3.0

注 1)徒歩圏カバー内人口密度は図枠内全体を計測
注 2) 徒歩圏区域は、「高齢者福祉施設」及び「子育て支援施設」は半径 500m 圏内。それ以外は、半径 800m圏内
注 3) 施設が対象とする人口区分は、「高齢者福祉施設」は 65 歳以上、「子育て支援施設」は 0～4 歳、それ以外は、全てを対象

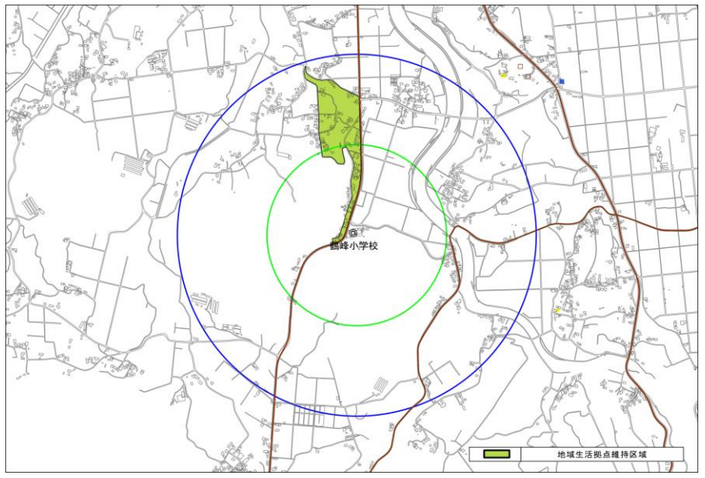
■住宅が多く集まる区域



■誘導に適さない区域の除外



■地域生活拠点維持区域（案）



※ハザードエリア、農用地区域、保安林及び地域森林計画対象民有林を除く。

※当カルテは、2015 年の情報を基に作成してあります。